

令和2年度 静岡市全自治会・町内会アンケート  
結果報告資料

静岡市市民局市民自治推進課



# 目 次

## 1 単位自治会等アンケート結果

1	基礎情報	P 1	8	活動の見直し	P 6
2	会長について	P 2	9	加入促進	P 7
3	運営	P 3	10	担い手の確保	P 7
4	活動内容の状況	P 4	11	他団体との連携	P 8
5	課題	P 5	12	幅広い世代の参加促進	P 8
6	新型コロナウイルスの影響	P 5	13	情報伝達・広報活動の課題	P 9
7	行政からの支援	P 6			

## 2 連合自治会等アンケート結果

1	基礎情報	P 10	9	活動の見直し	P 15
2	会長について	P 11	10	高齢者に対する活動	P 16
3	運営	P 12	11	引継ぎ	P 17
4	現在の活動について	P 13	12	行政や外部組織からの支援	P 17
5	今後の活動について	P 13	13	他団体との連携	P 18
6	新型コロナウイルスの影響	P 14	14	幅広い世代の参加促進	P 18
7	単位と連合の効果について	P 14	15	情報伝達・広報活動の課題	P 19
8	課題	P 15			

## 3 単位自治会等アンケート3区比較資料

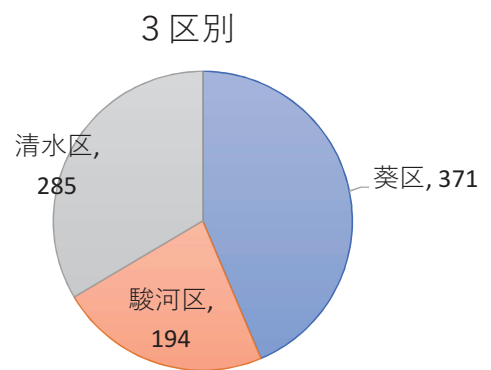
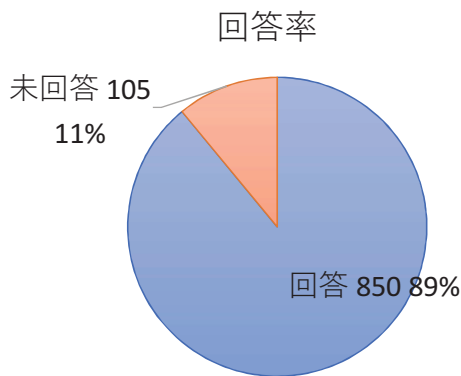
1	基礎情報	P 20	8	行政や外部組織からの支援	P 29
2	会長について	P 21	9	活動の見直し	P 31
3	運営	P 22	10	加入促進	P 32
4	現在の活動について	P 23	11	担い手の確保	P 34
5	今後の活動について	P 25	12	幅広い世代の参加促進	P 35
6	課題	P 26	13	情報伝達・広報活動の課題	P 37
7	新型コロナウイルスの影響	P 28			



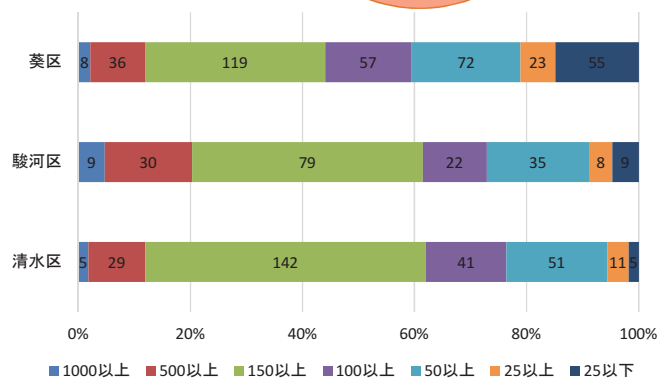
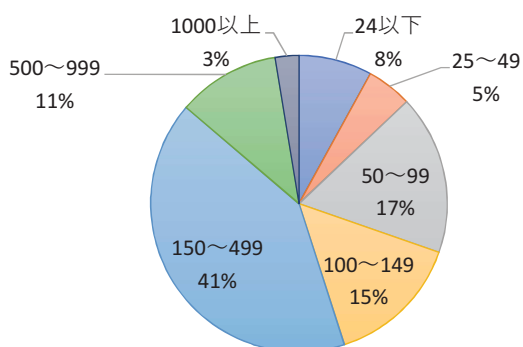
# 静岡市 全自治会・町内会 アンケート結果報告資料 (単位自治会等アンケート)

## 令和2年8月実施

### ★自治会・町内会の基礎情報



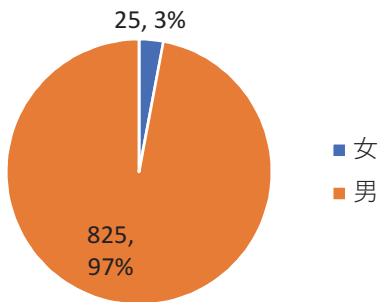
回答者自治会の加入世帯数



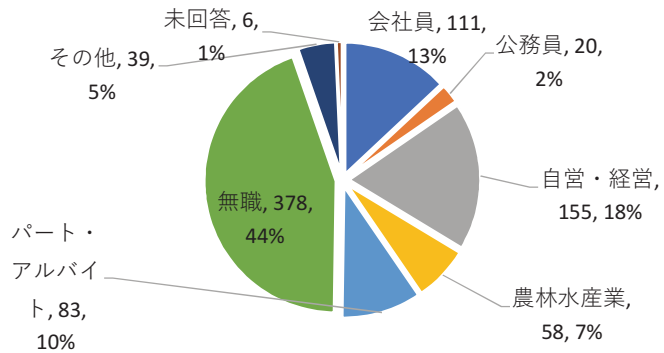
- ・単位自治会の中央値は154世帯。
- ・最も大きい自治会は1800世帯、最も小さい自治会は2世帯。
- ・50世帯以下の自治会が110あり、1割以上を占める。
- ・葵区が25世帯以下の自治会が他の区と比較すると多い。

## ★自治会長・町内会長の属性

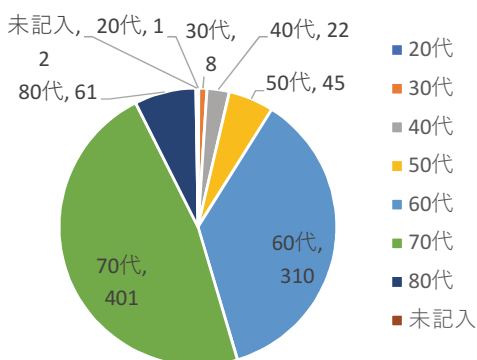
男女別



職業別



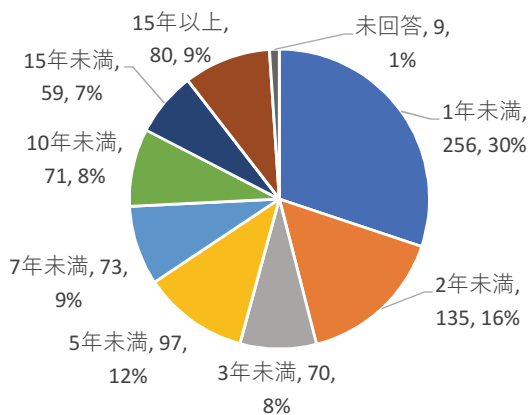
年代別



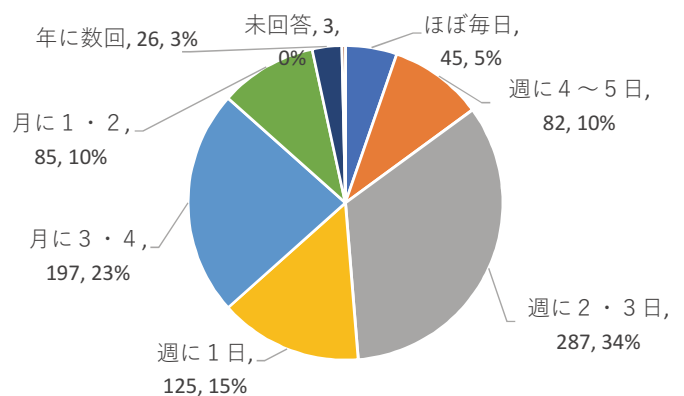
- ・単位自治会長は、ほぼ男性が占めている。女性は3%にとどまっている。
- ・職業では無職、パート・アルバイト、自営・経営などが多い。会長職は平日等に活動があり、勤め人では難しいとの声も。
- ・60代以上が9割を占め、半数が70代以上である。

## ★自治会長・町内会長の属性 2

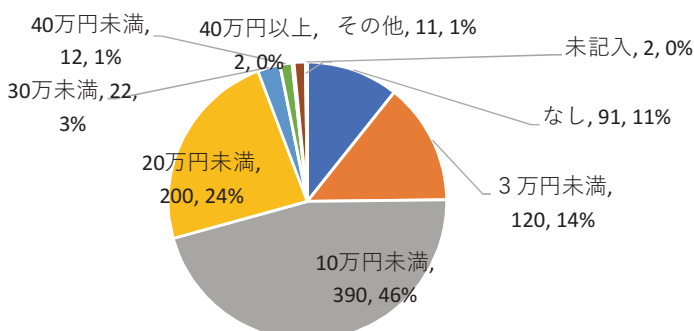
在職年数



従事日数



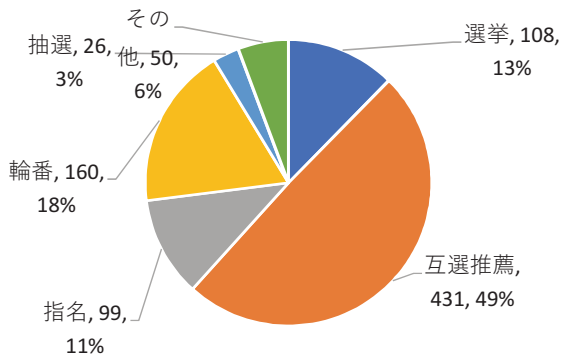
会長手当の年額



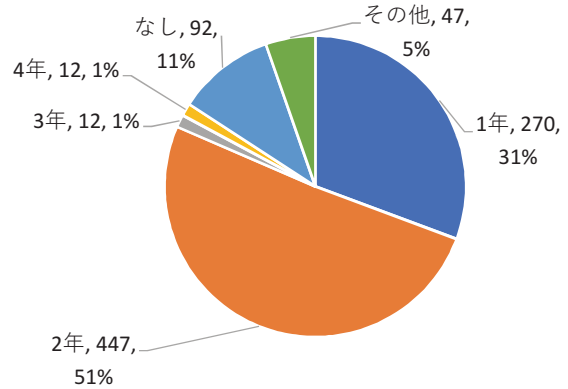
- ・在職年数は2年未満が約半数。1年未満が30%を占めており、会長が頻繁に交代していることがわかる。
- ・従事日数においては、週に2・3日以上、従事している会長が約半数いる一方、月に1回以下の会長もあり、自治会ごとの差が大きいことがわかる。
- ・会長手当については、半数近くの会長が年額10万円未満であった。「なし」と回答した会長も11%おり、自治会ごとの差が大きいことがわかる。

## ★自治会・町内会の運営

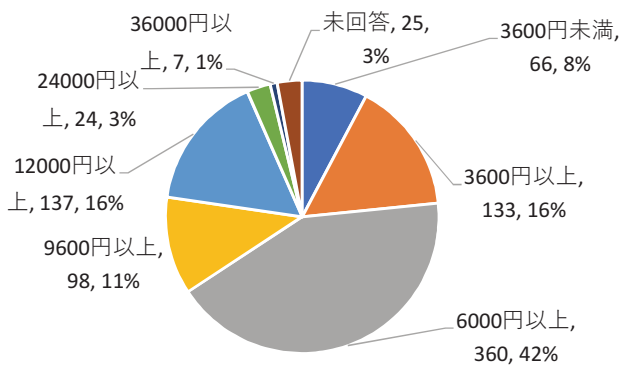
### 会長の選出方法



### 会長の任期



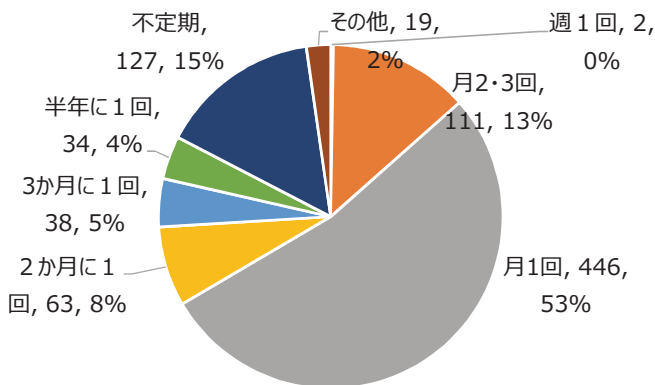
### 自治会費(世帯あたり)の年額



- ・選出方法は、約半数の自治会が互選・推薦であった、輪番や抽選での選出も2割ほどであり、多様な選出がされていることがわかるとともに、互選等で役員決定の負担のある自治会が多いことが想像される。
- ・任期は、半数が2年、3割が1年であり、短期間で会長が交代することが前提となっていることがわかる。
- ・1世帯あたりの自治会費は、年間6000円～9600円が多かった。
- ・年間24000円以上の自治会もあり、自治会で差が大きいことがわかる。

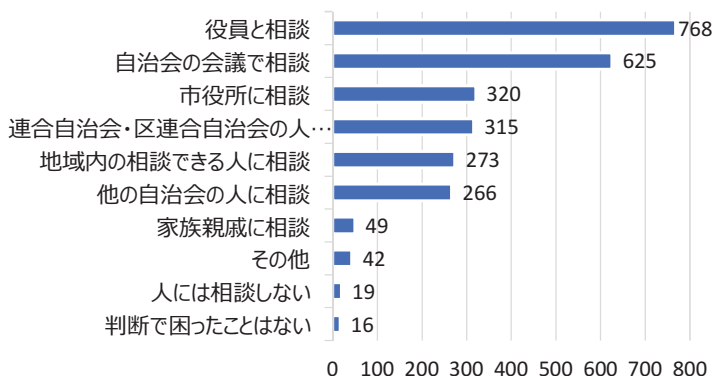
## ★自治会・町内会の運営2

### 定例会の開催頻度



- ・定例会の開催頻度は、約半数の自治会が月1回であった。
- ・15%の自治会が不定期となっており、必要のある時に開催するという点で定例的な会議を減じていくという在り方は今後増加する可能性を感じる。

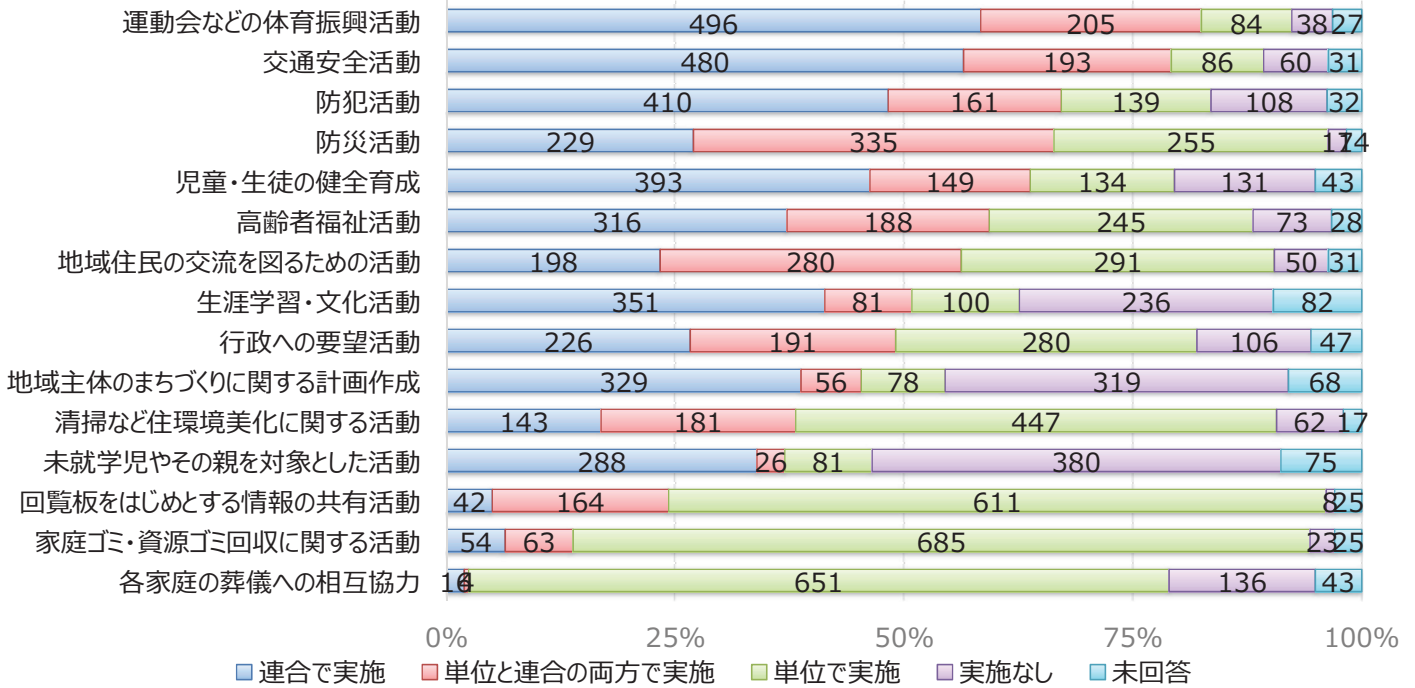
### 問4 困ったとき誰に相談するか(複数回答あり)



- ・困ったときは「役員と相談」「自治会の会議で相談」が多く、自らの自治会の中で相談し、判断していることがわかる。
- ・「市役所の人」、「連合自治会や区連合自治会」などの外部の人に相談はそれぞれ3割程度であるが、少なくない数であるため、相談でき、解決のヒントなどを得られる仕組みは必要であると考えられる。

## ★自治会・町内会における活動内容の状況

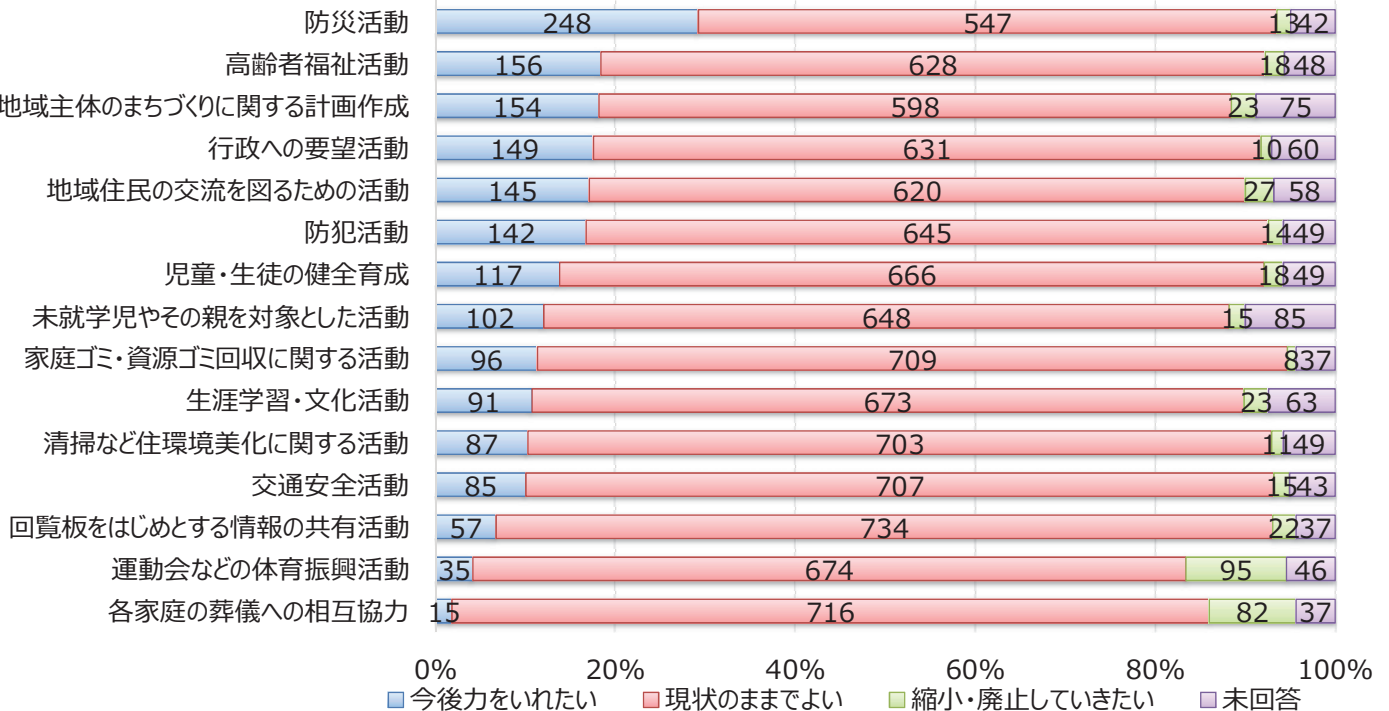
問5 自治会・町内会では、現在どのような活動をしていますか。



連合自治会で実施していると回答した自治会が多いのは、「体育振興活動」「交通安全」「防犯」「児童生徒健全育成」であった。単位自治会を中心に実施されているのは、「葬儀への協力」「ゴミ回収に関する活動」「回覧板などの情報共有」「環境美化」であった。高齢化や世帯数が減少していくと、単位自治会の活動として、絞られた活動にならざるを得ず、連合自治会主体の活動との役割分担が、一層、進むことが考えられます。

## ★自治会・町内会における活動内容の状況

問5 自治会・町内会での活動の、今後の意向は？



今後、力をいれたいと考えている自治会が最も多い活動は「防災」であった。次に多い「高齢者福祉」「防犯」「地域住民交流」「行政への要望活動」は、これまでやってきているが、さらに力をいれる必要がでてくるものと考えられる。

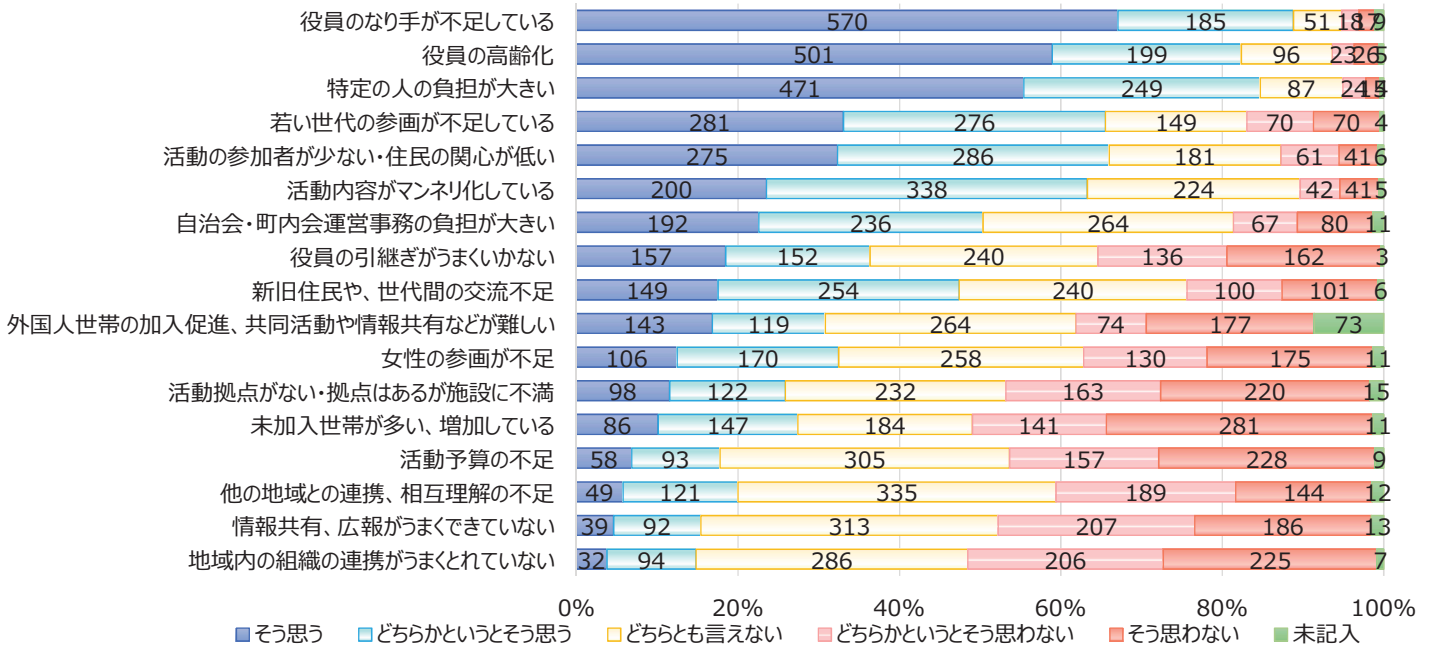
「地域主体のまちづくり計画作成」は、これまであまり実施していない活動である。

逆に、「縮小・廃止していきたい」というものは、少ないながらも、「体育振興活動」「葬儀への協力」など、時代の変化により、目的や必要性などの再考が必要となっているものが上がりました。



## ★自治会・町内会における課題

問6 自治会・町内会の運営で、課題となっていることは何ですか？



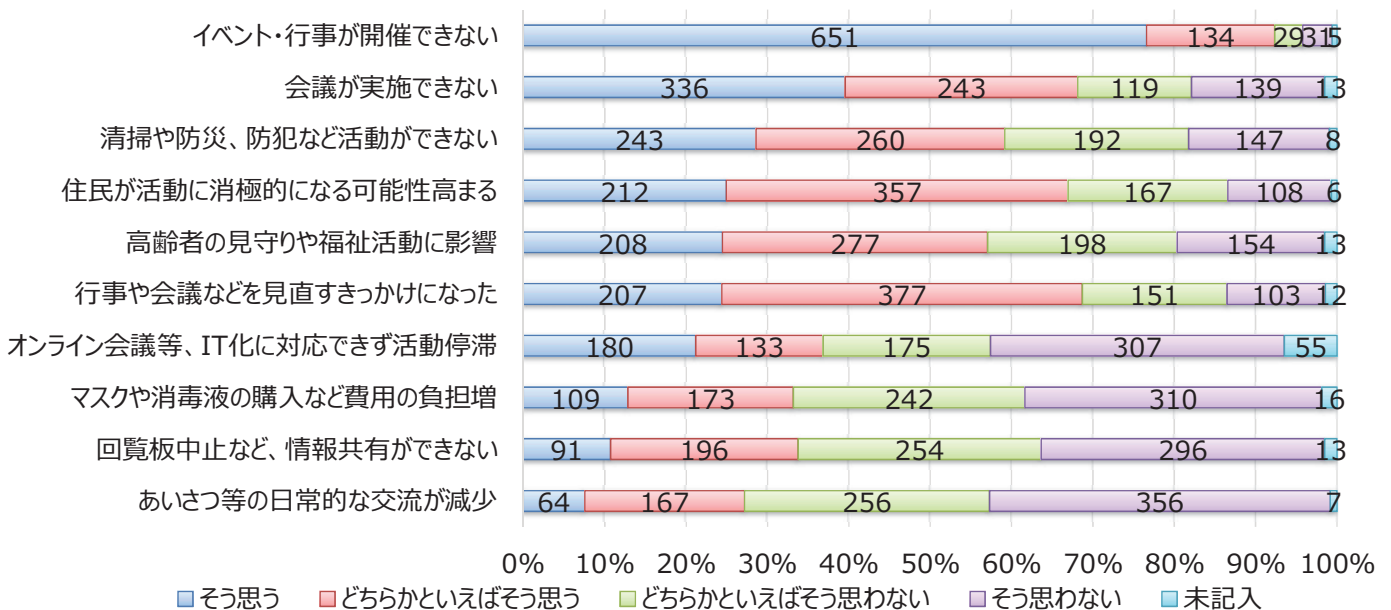
「とてもそう思う」の回答が多かった順に、「役員の成り手が不足」「役員の高齢化」「特定の人の負担が大きい」という、役員や主要な活動の担い手に対するものであった。

続いて、「若い世代の参画が不足」「活動の参加者が少ない」という参加者に関する課題が挙げられた。

逆に、「そう思わない」「どちらかというと思わない」が多かった課題として、「未加入世帯が多い」「外国人世帯の加入促進、共同活動などが難しい」「活動拠点が無い・不満」があがり、これらの課題は、実際の課題感で大きく異なることが推測され、該当する自治会においては深刻な課題になっていることも想像できる。

## ★自治会・町内会の活動における新型コロナウイルスの影響

問7 自治会・町内会の活動における新型コロナウイルスの影響はありますか？

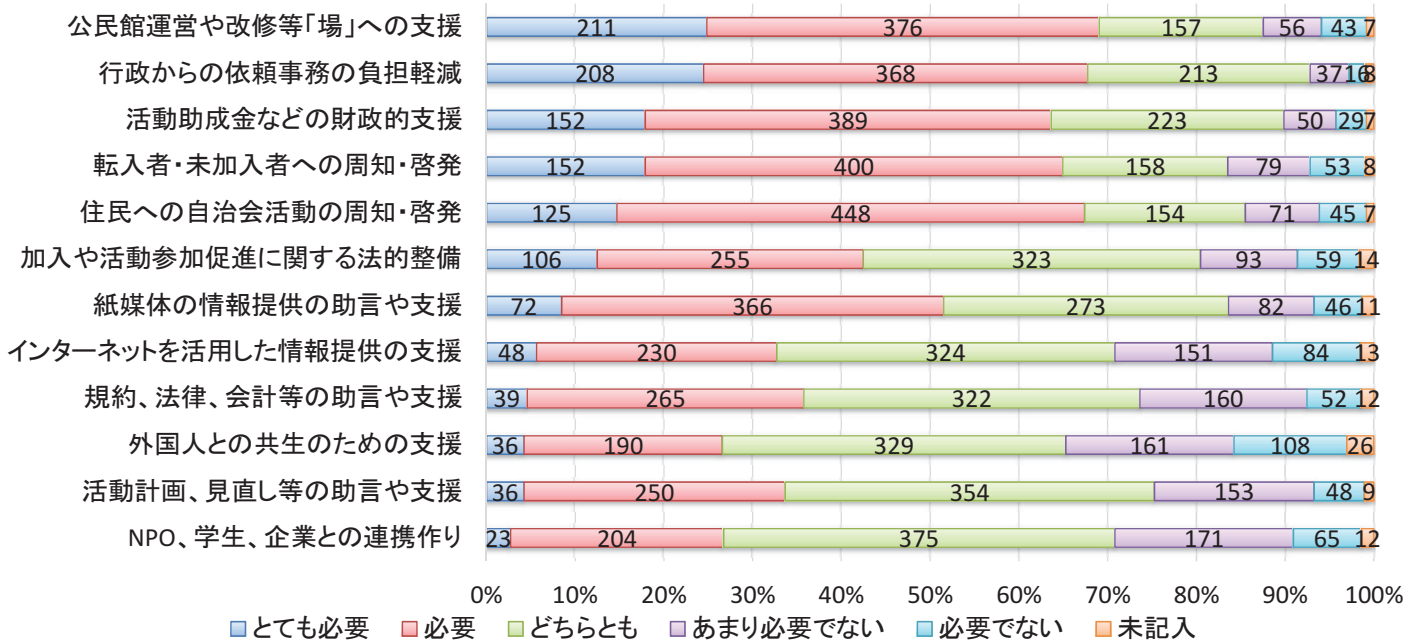


「行事・イベントが開催できない」ということを、9割をこえる自治会が思っており、「会議が実施できない」「清掃や防災の活動ができない」「高齢者の福祉活動に影響が出ている」なども半数以上の自治会が感じており、自治会活動に大きな影響を及ぼしていることが伺える。

一方、「行事や会議などの運営方法を見直すきっかけとなっている」と思っている自治会も6割以上あり、コロナ禍だからこそといった傾向もうかがえる。

## ★自治会・町内会に対する行政等からの支援

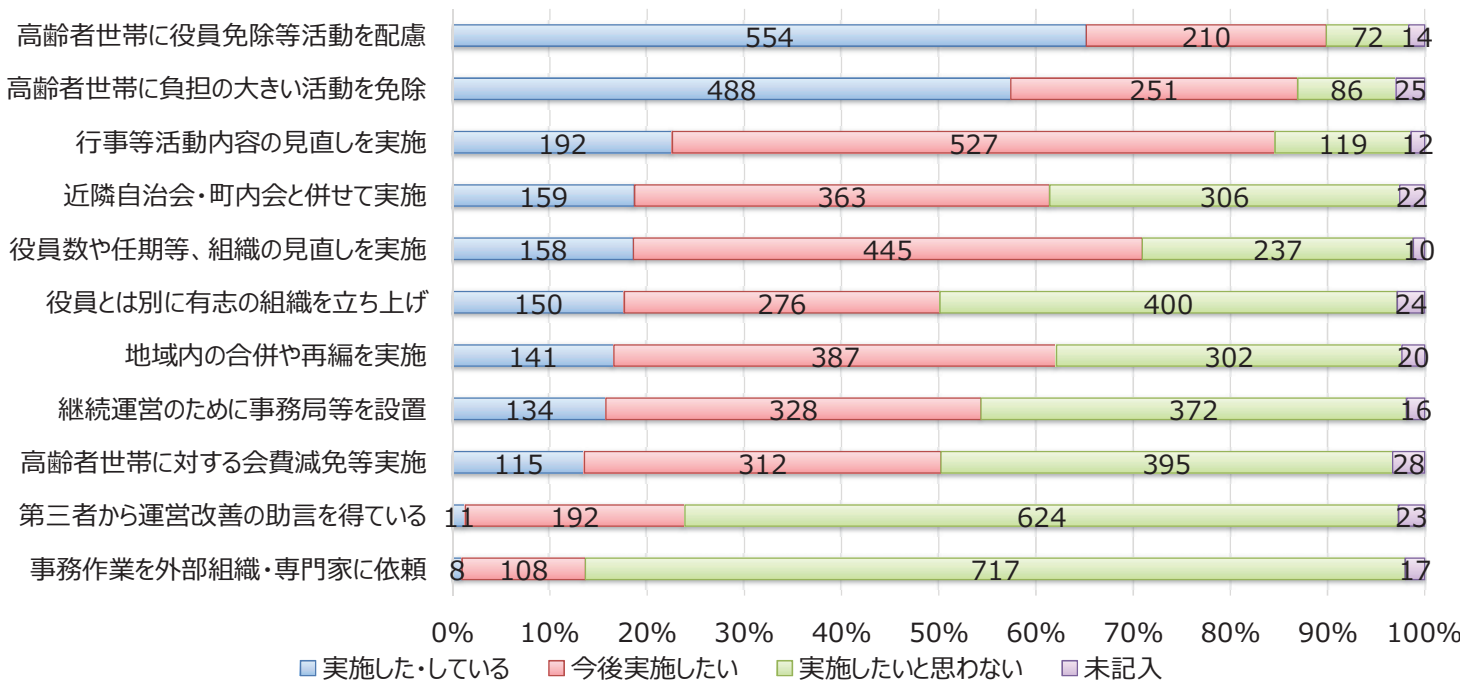
問8 自治会・町内会が、行政や外部組織から必要だと思う支援はなんですか？



「とても必要」「必要」をあわせると、自治会が最も多かったのは、「公民館運営や改修など、活動場所など「場」についての支援」であった。続いて、「行政からの依頼事項の負担軽減」であり、自治会においては、行政からの依頼が負担と感じている意見も多数あり、見直すことは必須であると考えられる。「新規転入者等への自治会活動の周知」「住民への自治会活動への周知」も上位にあり、自治会加入や活動への参加などを促す取組は、自治会だけでなく行政も含めて進めていく必要がある。また、「他団体との連携のきっかけづくり」は、必要性を感じている自治会が少ないため、行政側からの一方的な支援は慎重に行うことが必要と思われる。

## ★自治会・町内会における活動の見直し

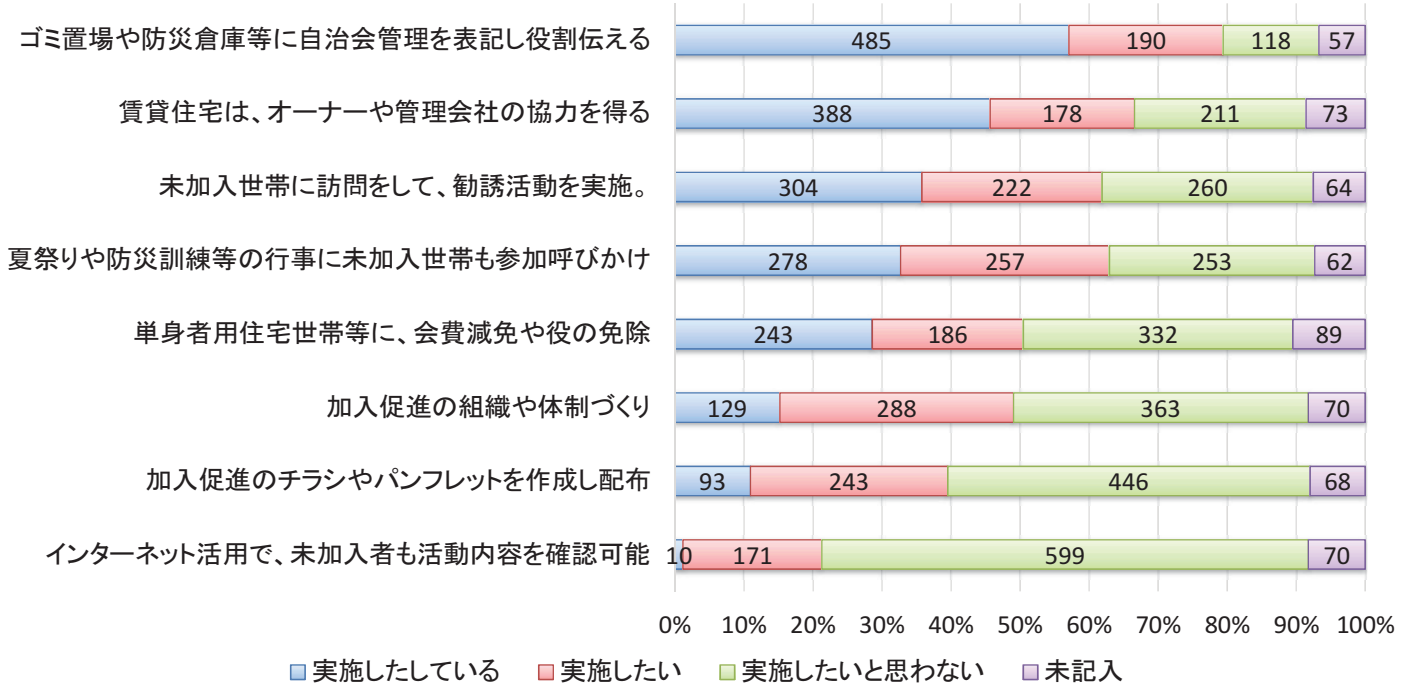
問9 自治会・町内会活動の見直しのために考えられる、下記の活動を行っていますか？



「高齢者の役員免除」「高齢世帯の活動免除」を実施している自治会が6割。一方、「行事や活動の変更・適正化」「役員数や任期など組織の見直し」などを実施しているのは、2割以下にとどまっている。一方、今後実施したい活動を見てみると、「行事や活動の変更・適正化」「役員数や任期など組織の見直し」が上位に来ており、全体の約半数の自治会が実施したいと考えられている状況である。これにより、活動や組織の見直しをしたいが、まだできていないという状況がみとれる。

## ★自治会・町内会における加入促進

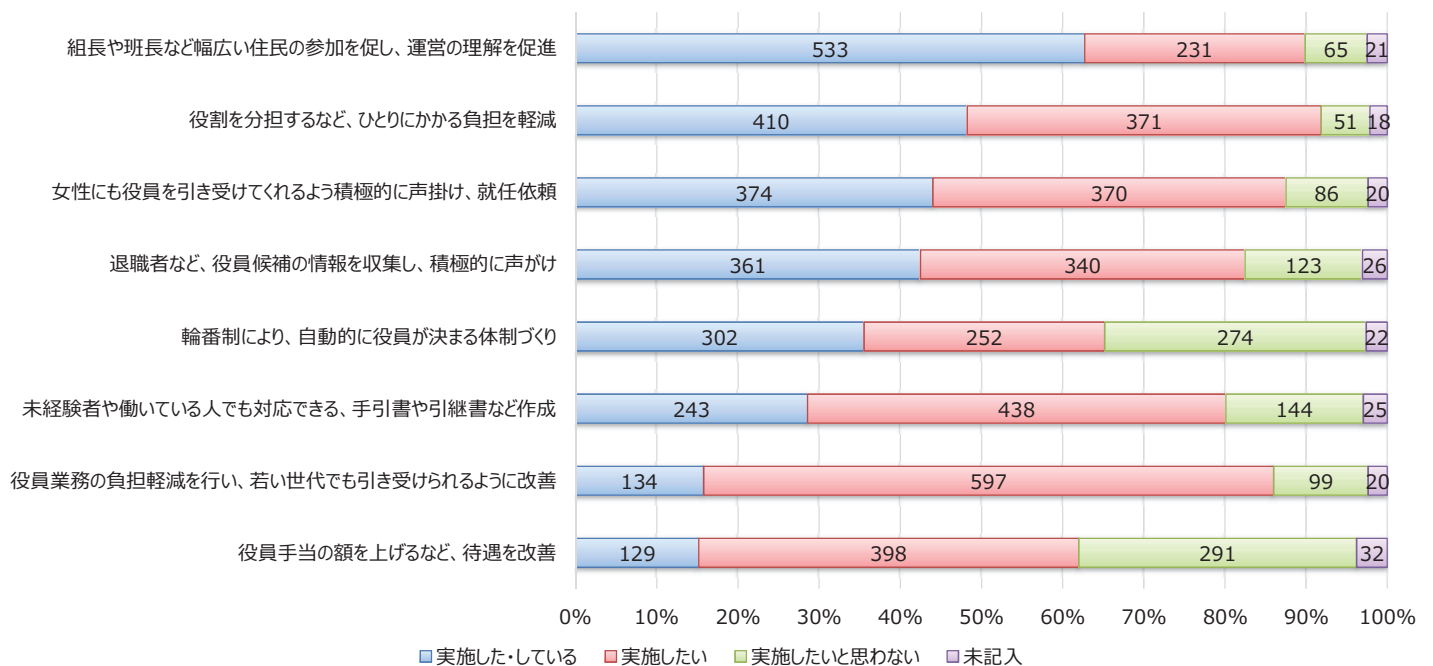
問10 自治会・町内会活動への加入促進のための下記の活動を行っていますか？



「ゴミ集積所や防災倉庫などに、自治会・町内会で管理していることを表記し、役割を伝えている」は半数を超える自治会で実施されていた。未加入世帯に訪問して勧誘活動を実施している自治会は約3割にとどまった。また、「加入促進のためのチラシやパンフレットを配布」は約1割が実施しているにとどまっている。今後実施したいを選択した自治会が多い活動は、「加入促進の組織や体制を作り、取り組んでいる。」「夏祭りや防災訓練などの大型行事に、未加入世帯も参加できるように宣伝している」であり、全体の1/4にあたる自治会が実施したいと選択している。

## ★自治会・町内会における担い手の確保

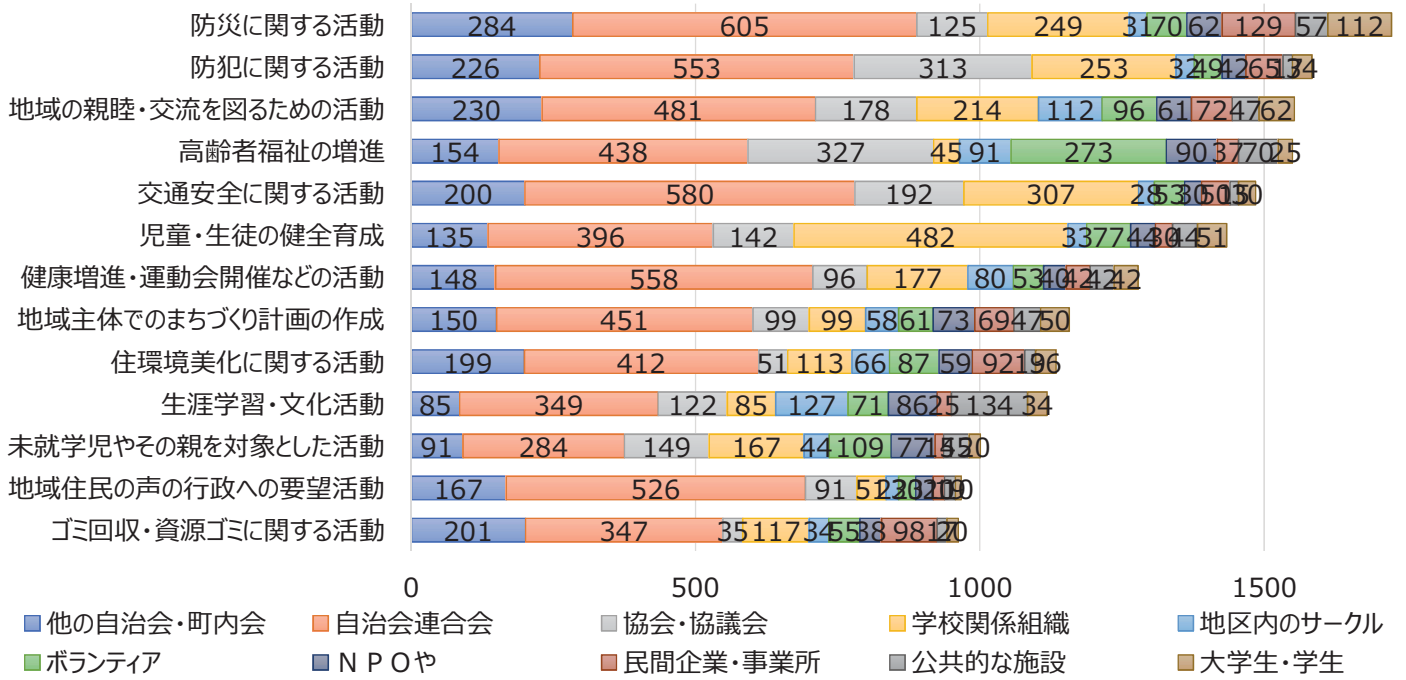
問11 自治会・町内会の担い手確保のための下記の活動を行っていますか？



「組長や班長など幅広い住民の参加を促し、運営の理解促進をしている」「ひとりにかかる負担の軽減を図っている」を選択した自治会が半数を超えており、担い手確保のための負担軽減に各自治会が取り組んでいることがわかる。実施したい項目では、「役員業務の負担軽減を行い、仕事をしている若い世代でも引き受けられるように、改善をおこなっている。」「未経験者や働いている人でも安心して対応できるよう、手引書や引継書などを作成している。」が半数近い自治会で回答しており、負担を軽減につながる改善を進めたいという意向がうかがえる。

## ★自治会・町内会における活動と他団体との連携

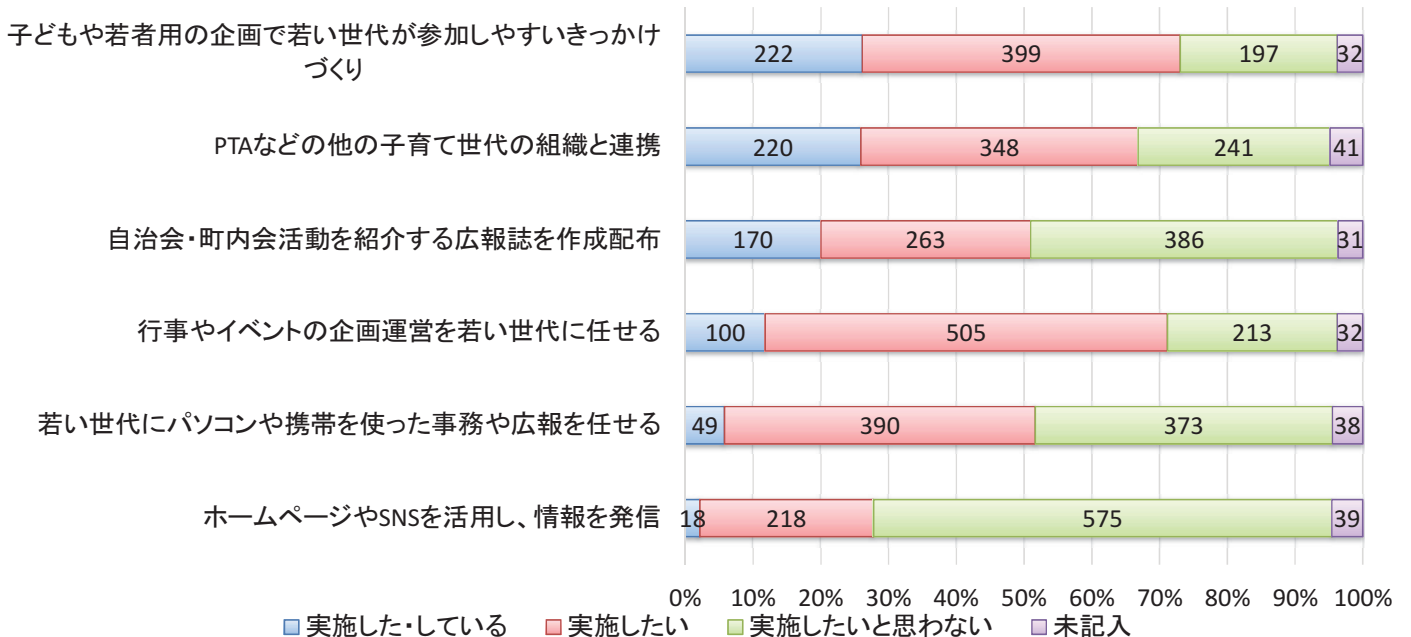
問12 活動の推進にあたって、連携を強くしたいと考えている団体



連携先の延べ数が最も多かったのは、「防災」で、「防犯」「地域住民との交流」「高齢者福祉活動」「交通安全」と続いており、多くの住民が関わる、安全や安心、住みよいくらしづくりには、他団体や他の組織との連携も重要視されることがわかる。団体側からみると、連携したい団体としては、「連合自治会」「学校関係」「他の自治会」「協会、協議会」が上位にあり、現在も密接に関連し、連携を行っている団体が挙げられているものと考えられる。一方、NPOや大学生などとの連携は、他と比較して少ないという結果であった。

## ★自治会・町内会における幅広い世代の参加促進

問13 自治会・町内会活動への関心を高めたり、幅広い世代の参加を促したりする取組



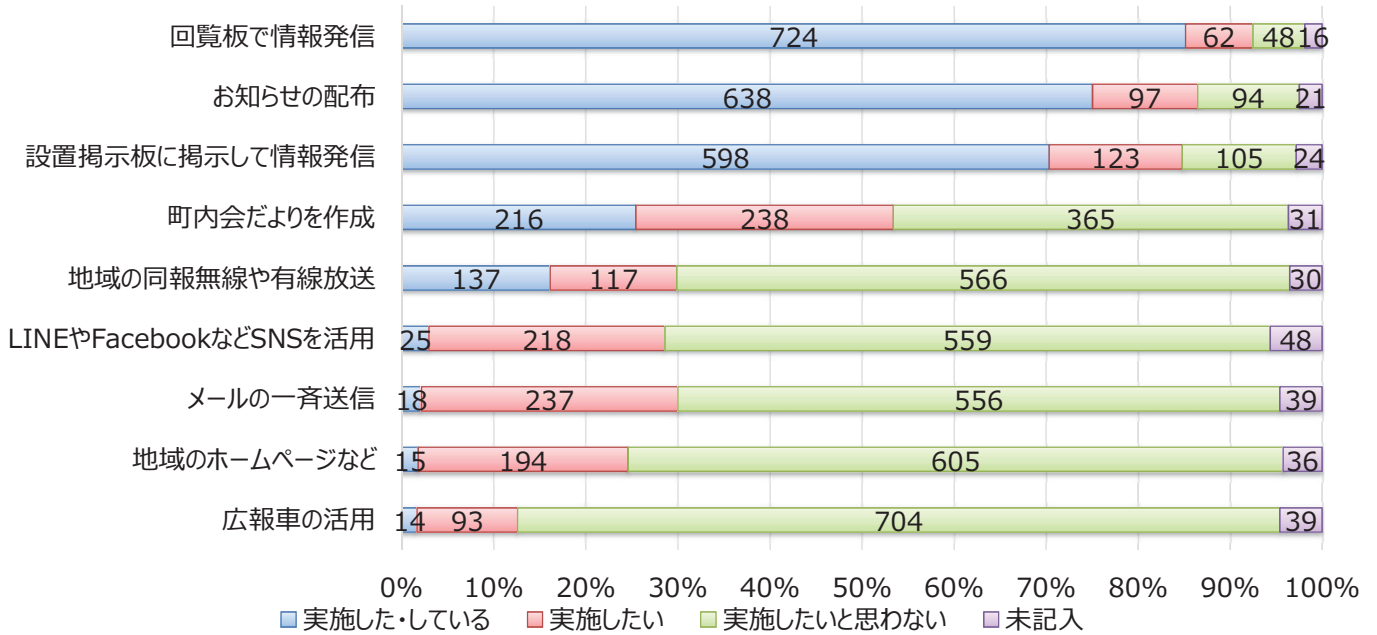
### 【住民参加の工夫】

「行事に子どもや若者用の企画を盛り込み、若い家族が参加しやすいきっかけを作っている」が最も多くの自治会が実施している。一方、「若い世代に任せる」取組が、まだできていない自治会が多いことがわかる。特に「行事やイベントの企画運営を若い世代に任せている」という項目は、全体の半数以上の自治会が「今後実施したい」と考えている。



## ★自治会・町内会における幅広い世代の参加促進（情報共有）

問13 自治会・町内会活動への関心を高めたり、幅広い世代の参加を促したりする取組

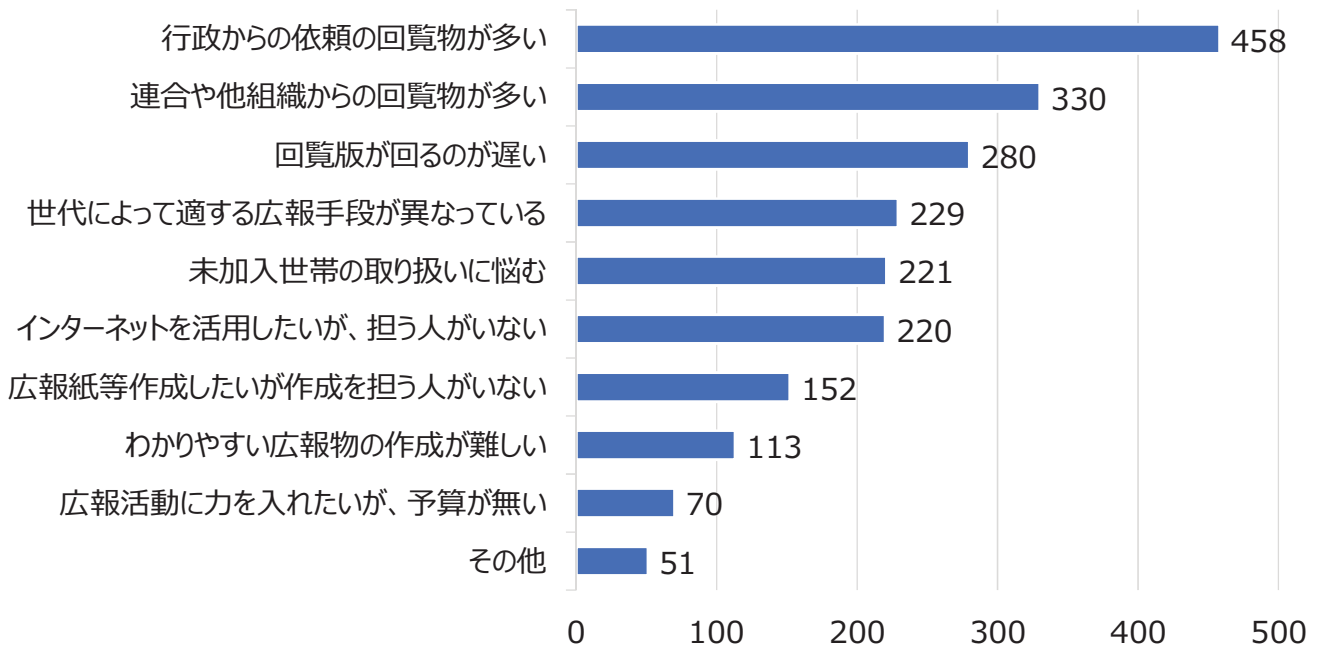


### 【広報】

「回覧板」「個別配布」「掲示板」などは多くの自治会で実施されているが、特にITといわれるホームページやLINEなどの広報はほとんど実施されていないことがわかる。実施したいと思わない。との回答も多くITを活用した広報は、まだまだハードルが高いものと想像できる。ただ、今後実施したいと回答した自治会も2割以上あった。

## ★自治会・町内会における情報伝達・広報活動の課題

問14 自治会・町内会における情報伝達や広報活動について、感じている課題



多かったのは、「行政からの依頼が多い」「連合や他組織からの回覧が多い」があげられ、自治会の負担の一員になっていることが想像できる。

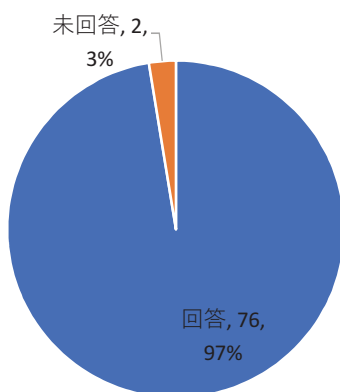
世代によって適する広報手段が異なっている、との回答も比較的多く、広報手段の多様化が影響してきていると思われる。

# 静岡市 全自治会・町内会 アンケート結果報告資料 (連合自治会等アンケート)

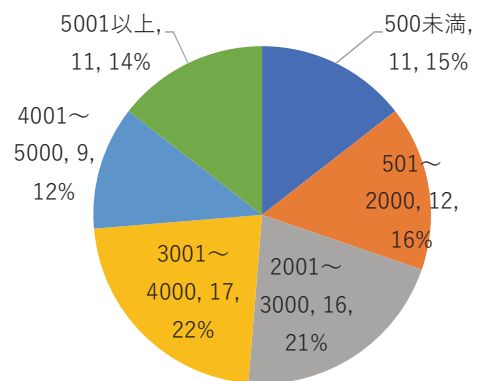
令和2年8月実施

## ★連合自治会会の基礎情報

回答率



連合自治会の加入世帯数

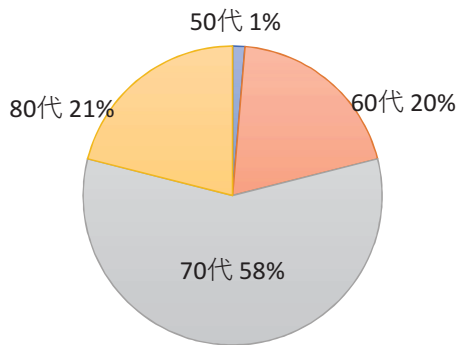


### 【加入世帯数】

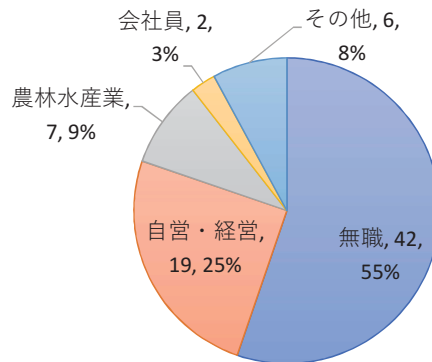
- ・連合自治会の加入世帯数の中央値は2980世帯。
- ・最も大きい自治会は10975世帯、最も小さい自治会は152世帯。
- ・単位町内会で最も大きい1800世帯以下の連合自治会が21あり、約3割を占める。

★連合自治会 会長について

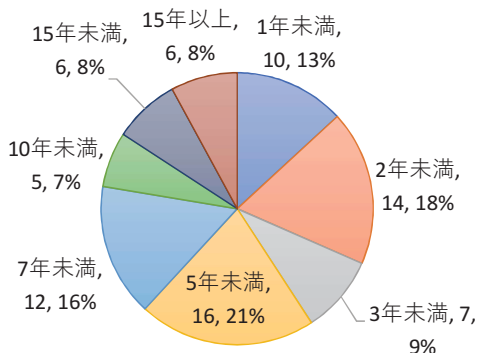
会長の年代



会長の職業



会長の在職年数

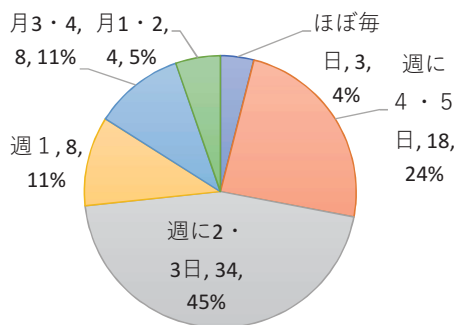


【連合自治会 会長について】

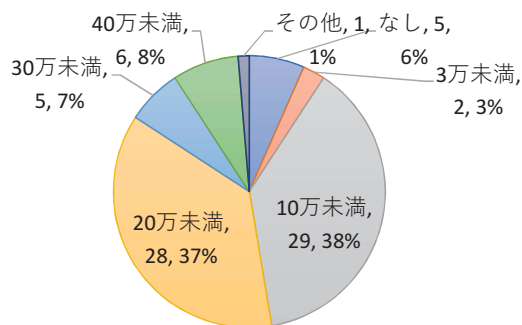
- ・年代では70代が最も多く、58%を占める。
- ・職業では、半数以上が、無職。会社員は2名。3%であった。
- ・在職年数では、2年以上在職している人が7割を占め、5年以上の人約4割いることから比較的長期間継続する人が多いことが推測できる。

★連合自治会 会長について2

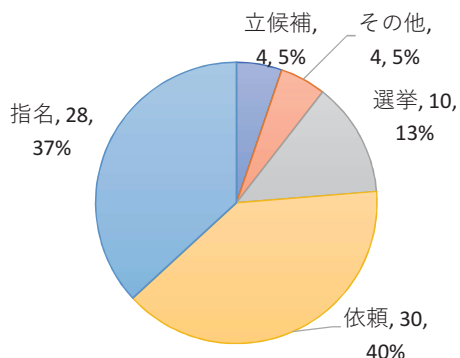
会長の従事日数



会長の手当（年額）



会長への就任経緯

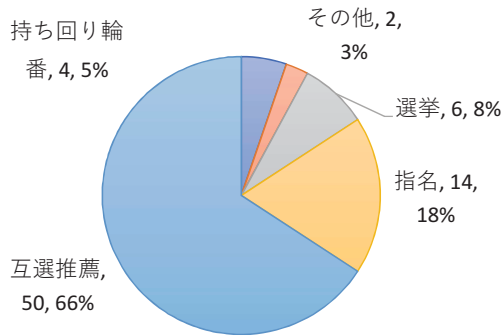


【連合自治会 会長について】

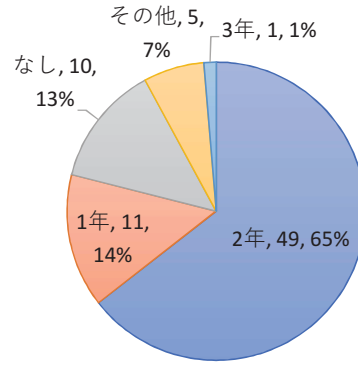
- ・週に2・3日以上の人が7割以上。
- ・会長手当は、10万円未満というのが、半数であった。
- ・連合自治会長に就任した経緯は、指名や依頼がほとんどであり、立候補というのは、4名のみであった。

## ★連合自治会の運営

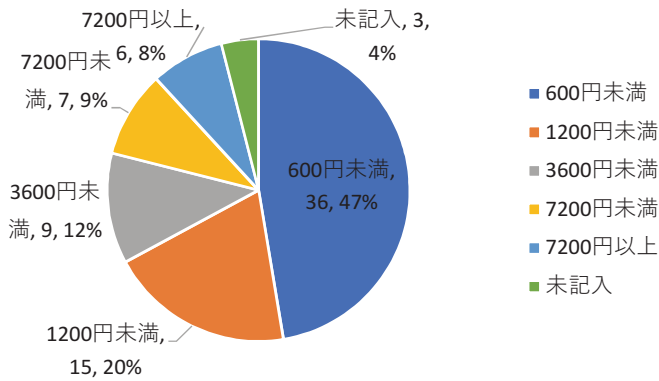
### 会長の選出方法



### 会長の任期



### 連合自治会の年会費(世帯あたり)

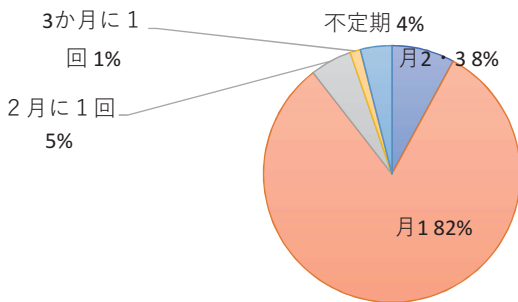


### 【連合自治会の運営】

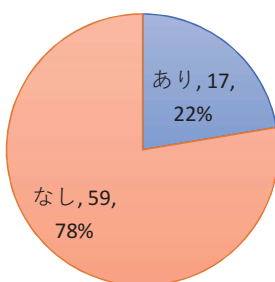
- ・選出方法は、ほとんどが互選、推薦となっている。
- ・会長の任期は6割以上が2年となっている。
- ・1世帯当たりの連合自治会の年会費は、約半数が年間600円未満となっている。
- ・一方、7200円以上という連合自治会もあるので、差が大きいと言える。

## ★連合自治会の運営

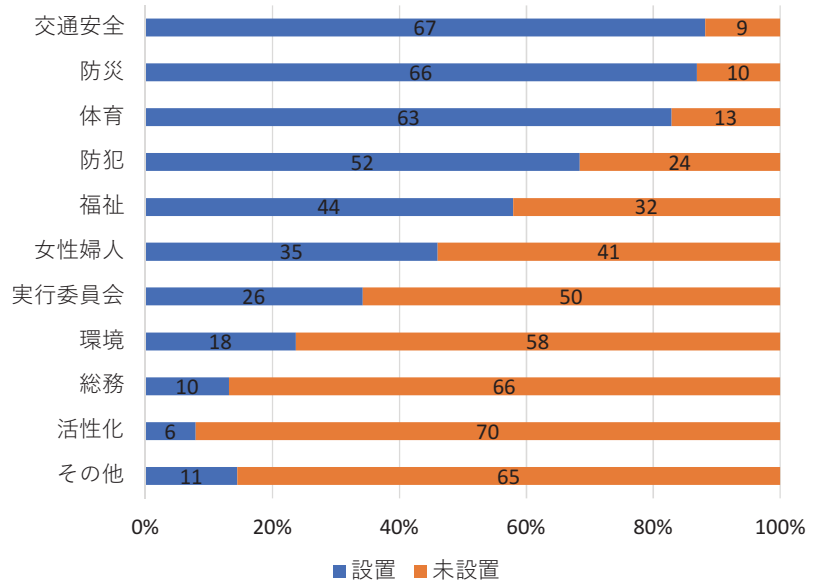
### 定例会の開催頻度



### 事務要員の雇用



### 連合自治会への部会等の設置状況

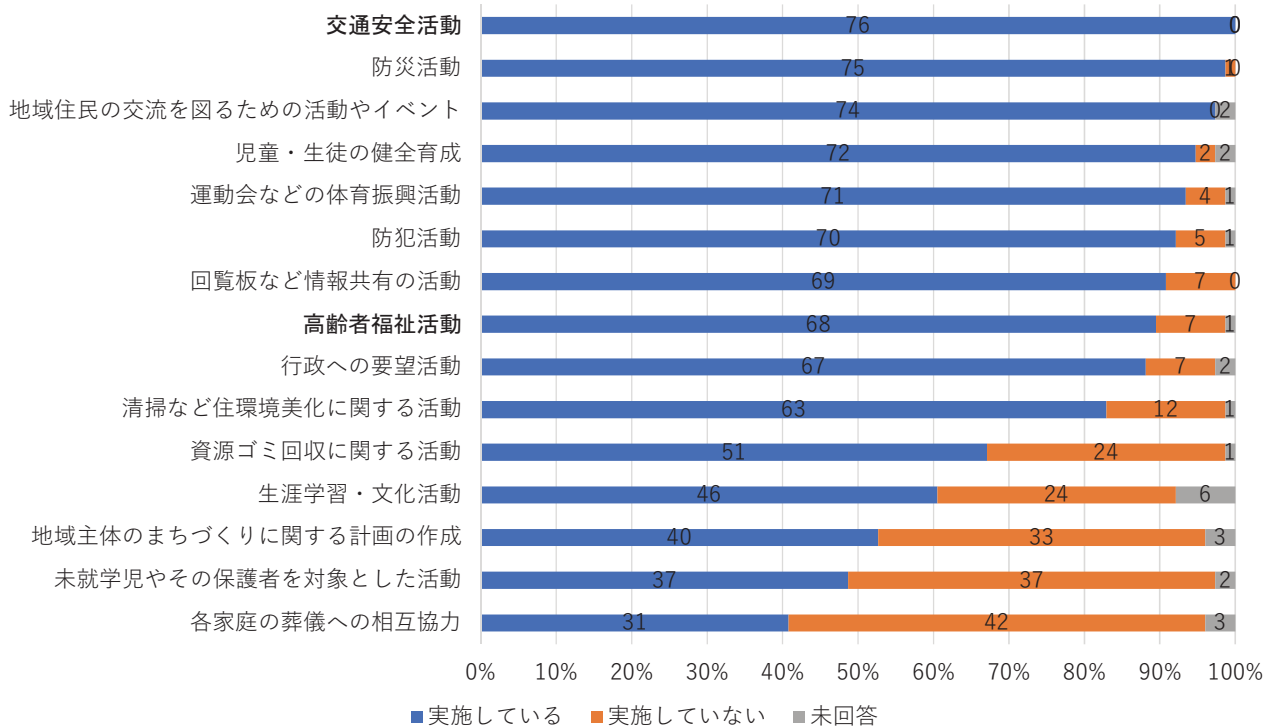


### 【連合自治会の運営】

- ・定例会の開催頻度は8割以上が月1回となっている。
- ・事務作業要員の雇用は、17連合が雇用している。
- ・連合自治会内の部会活動や分野別の活動などについて交通安全、防災、体育は、8割以上の連合が部会を設置している。
- ・福祉や婦人に関する部会は半数程度になっており、設置が分かれている。



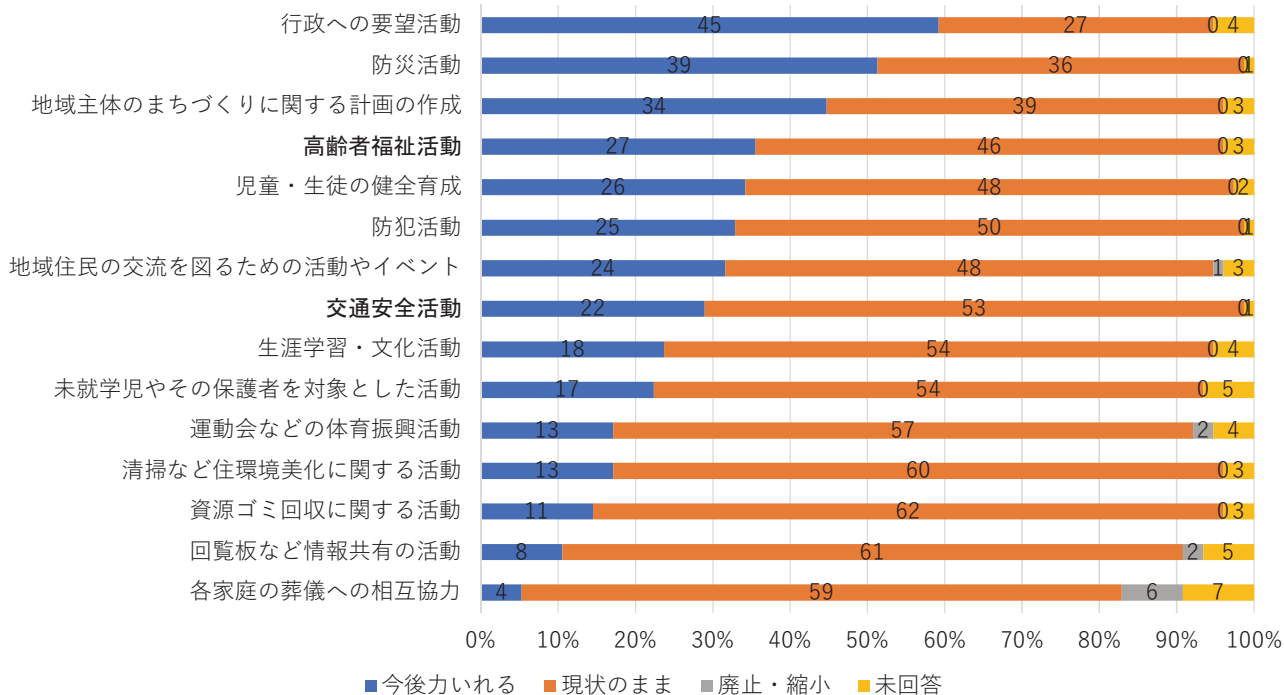
問4 連合自治会では、現在どのような活動をしていますか。



【活動内容】

- ・ほとんどの連合で交通安全や防災などの活動が行われていることがわかる。逆に実施している連合が半数以下なのが未就学児童への活動、葬儀への協力であった。
- ・これらは、他の組織や単位自治会での活動が主に行われていることが読み取れる。

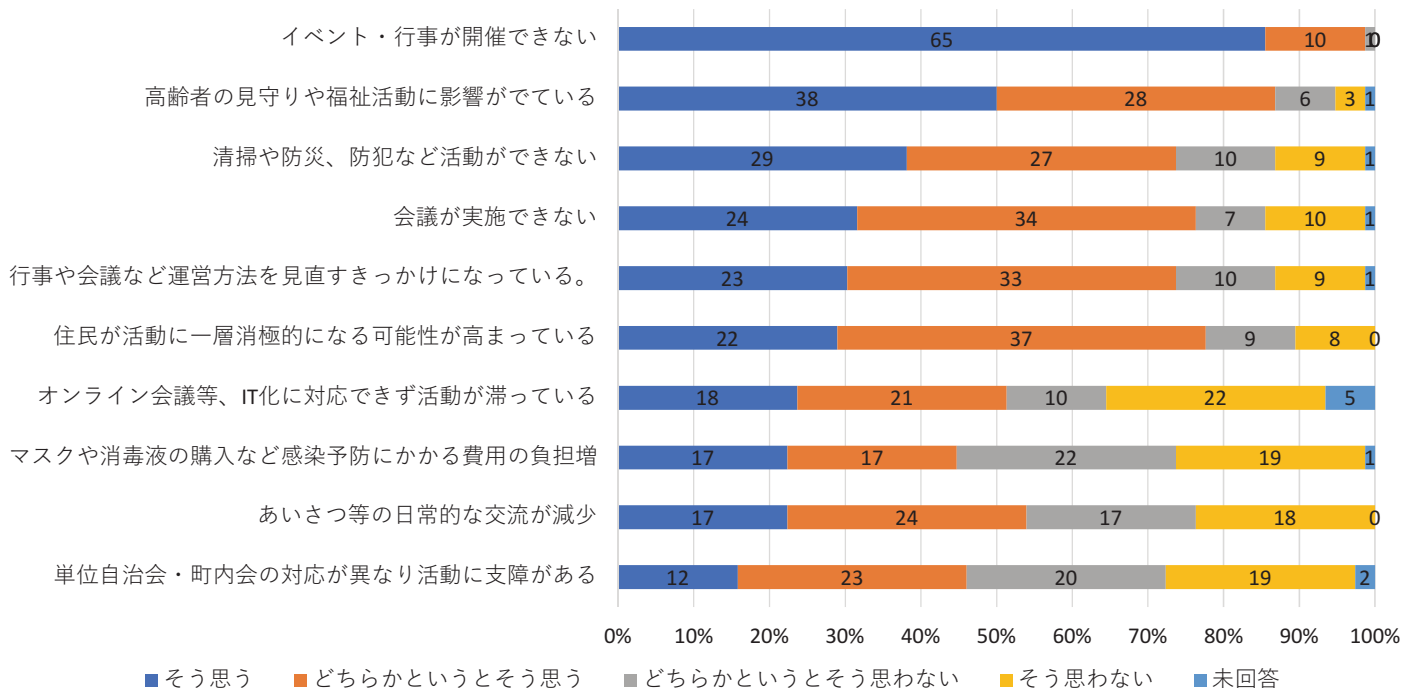
問4 連合自治会では、今後、それぞれの活動をどのようにしていきますか？



【今後、力をいれたい活動】

- ・多かったのは「行政への要望活動」「防災」「まちづくり計画作成」「高齢者福祉」であった。
- ・廃止縮小はほとんどなかったが、葬儀への協力、回覧板、運動会があげられた。

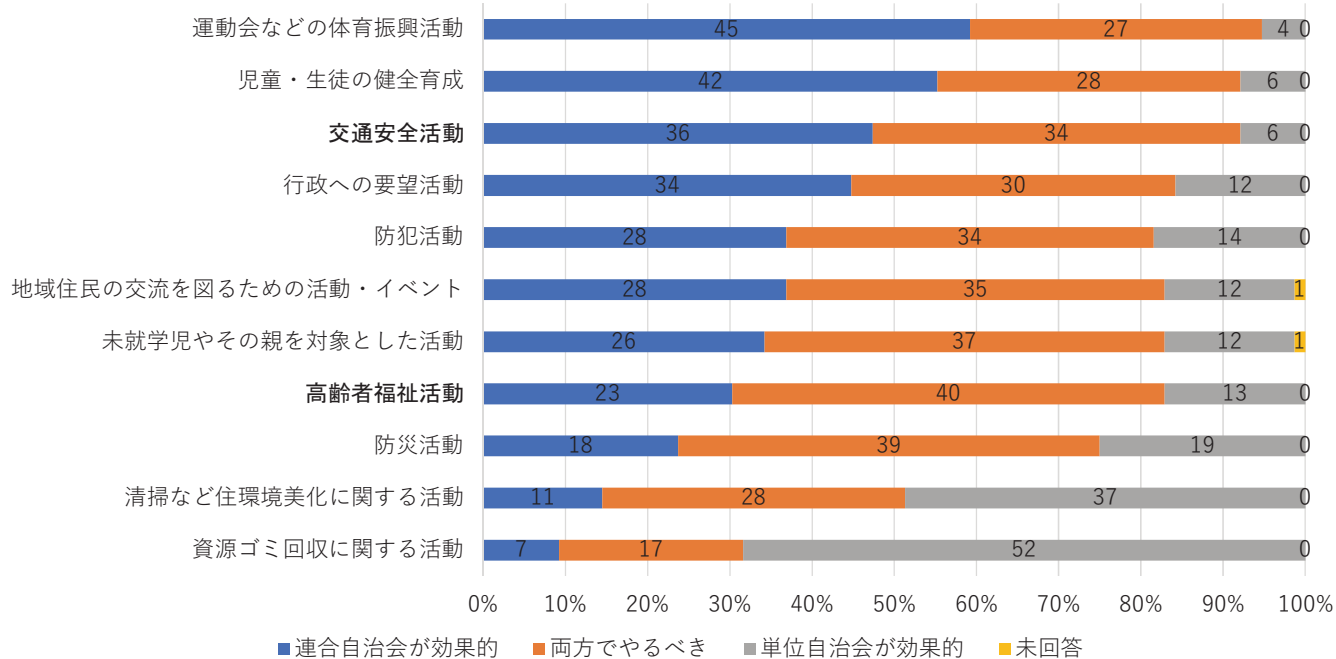
## 問5 連合自治会活動における新型コロナウイルスの影響



### 【新型コロナウイルスの影響】

・回答のあった全ての連合自治会で、「イベント行事が開催できない」という、少なからずコロナの影響があったと回答「高齢者の福祉活動に影響がでている」という回答が続いた。

## 問6 次の活動を行うのは、単位自治会（町内単位）と連合自治会（地区単位）のどちらが効果的だと思いますか？



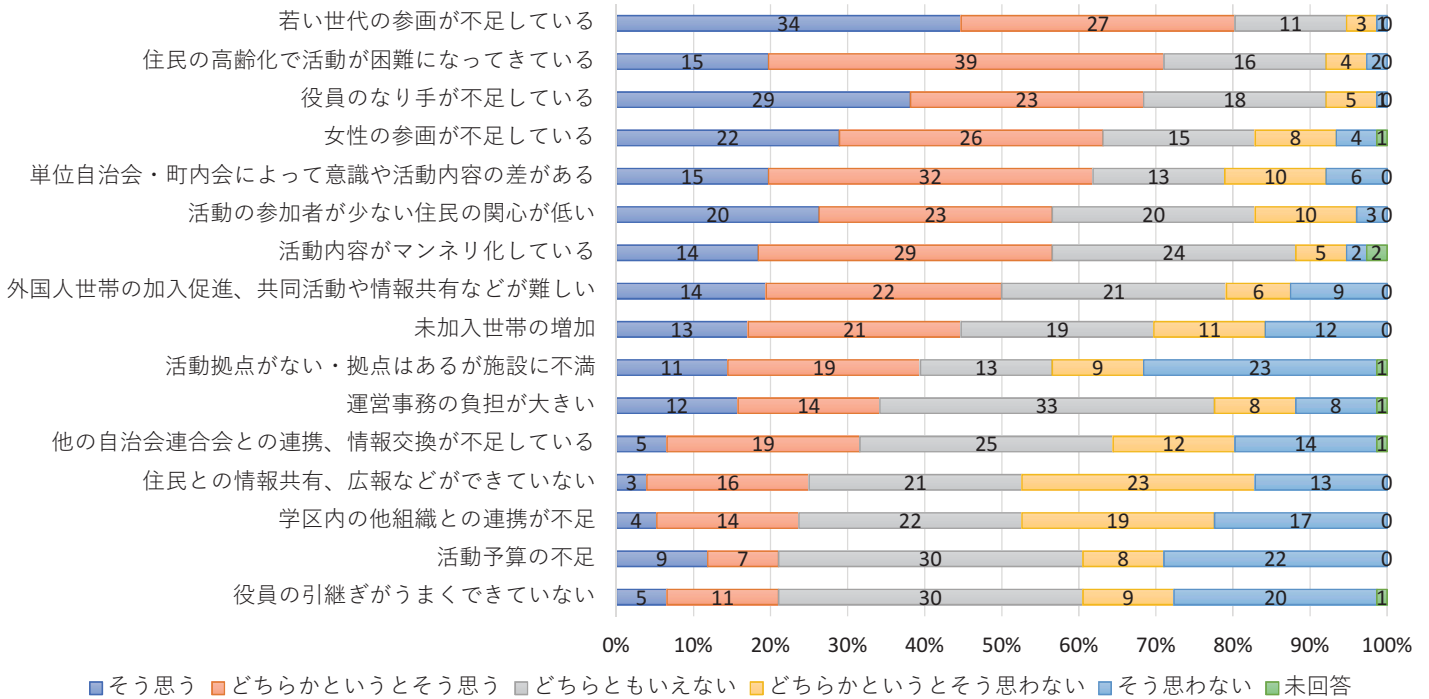
### 【単位自治会と連合自治会のどちらが効果的か】

・連合が実施することが効果的と回答が多かったのは、「運動会などの体育振興」「児童生徒の健全育成」「交通安全活動」が続いた。

・単位と連合の両方で実施するべき、との回答が多かったのは、「高齢者福祉」「防災」「地域交流」「防犯」「未就学児や親向け活動」であった。

・逆に単位でやるほうが効果的との回答が多かったのが、「環境美化」「資源ごみなどの回収」であった。

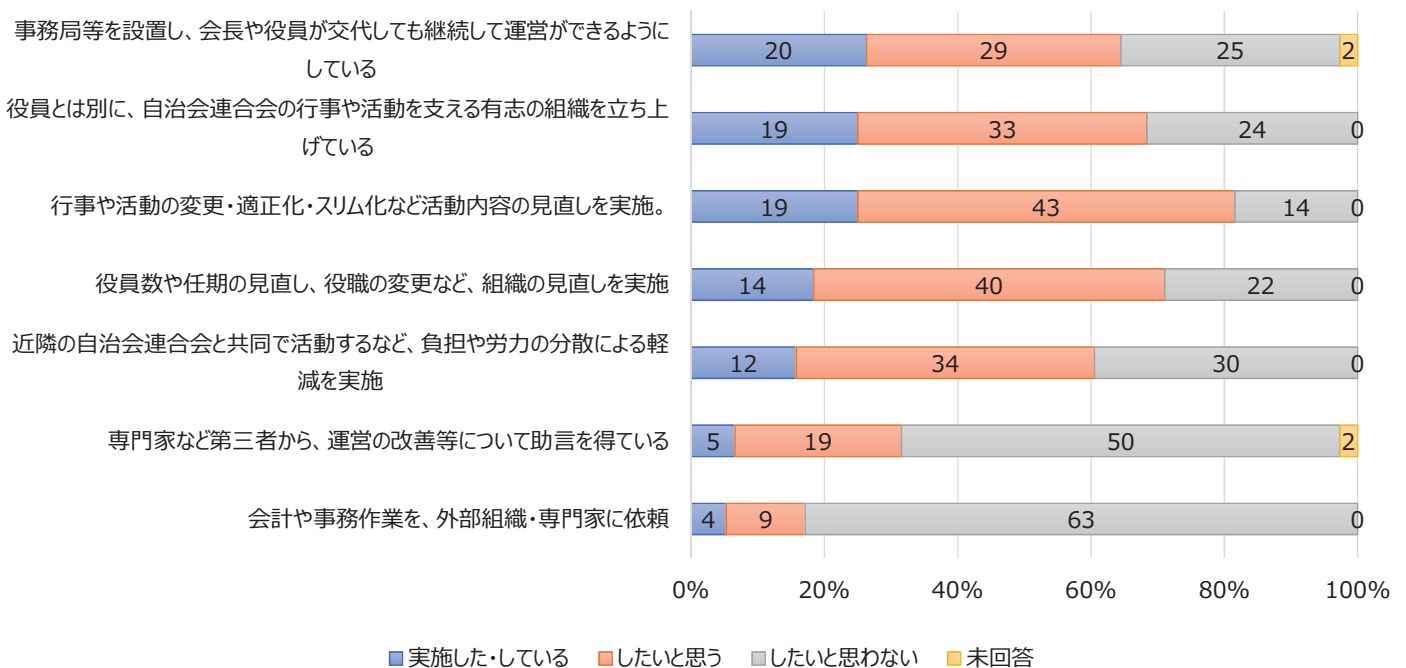
## 問8 連合自治会の運営で、課題となっていることは？



### 【運営上の課題】

- ・とてもそう思う、そう思う、が多かったのは、「若い世代の参画が不足」「住民の高齢化で活動困難」「役員の成り手が不足」であった。
- ・半数以上の連合が感じているのは、他に「女性の参画が不足」「単位自治会によって活動内容に差」「参加者少ない、関心低い」「活動がマンネリ化している」であった。

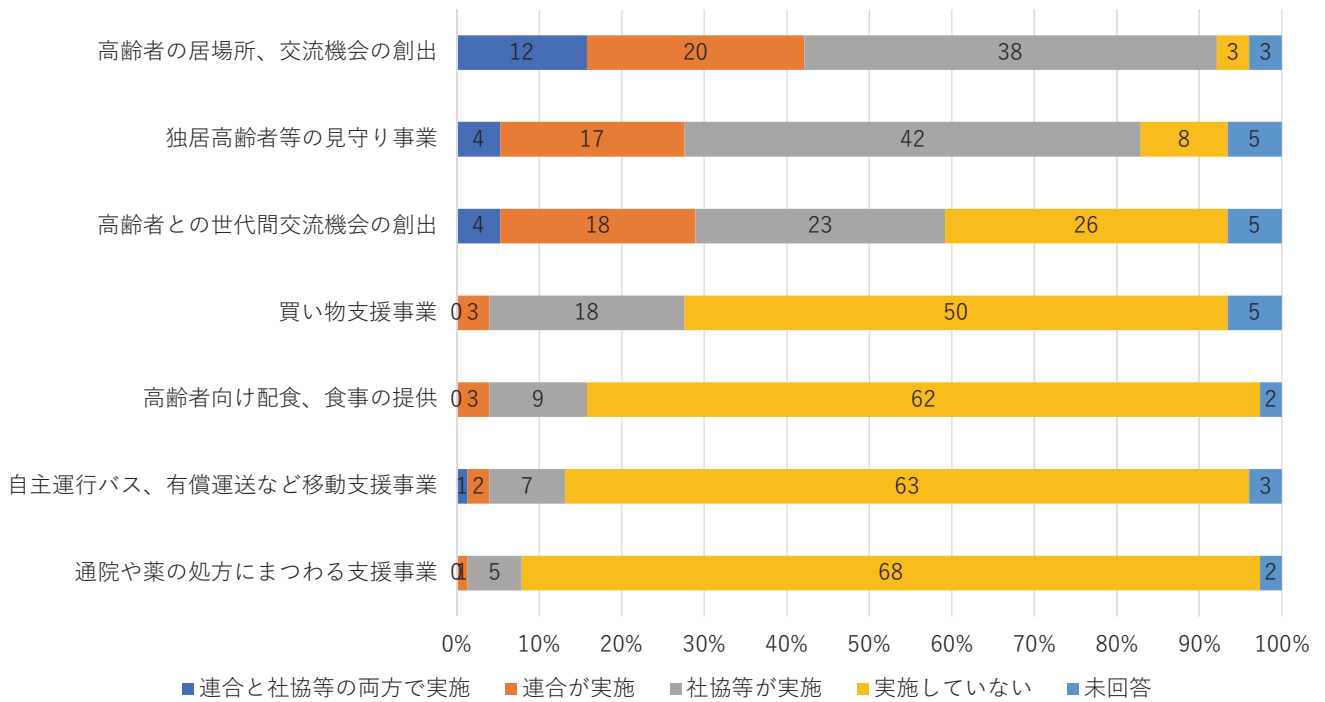
## 問9 連合自治会において、活動の見直しなどの活動を実施しているか？ また、実施したいか？



### 【活動の見直し】

- ・実施している見直しで多かったのは、「事務局等の設置」「有志組織の立ち上げ」「活動内容のスリム化」であった。
- ・今後実施したいの回答が多かったのは、「活動内容のスリム化」「組織の見直し」であった。

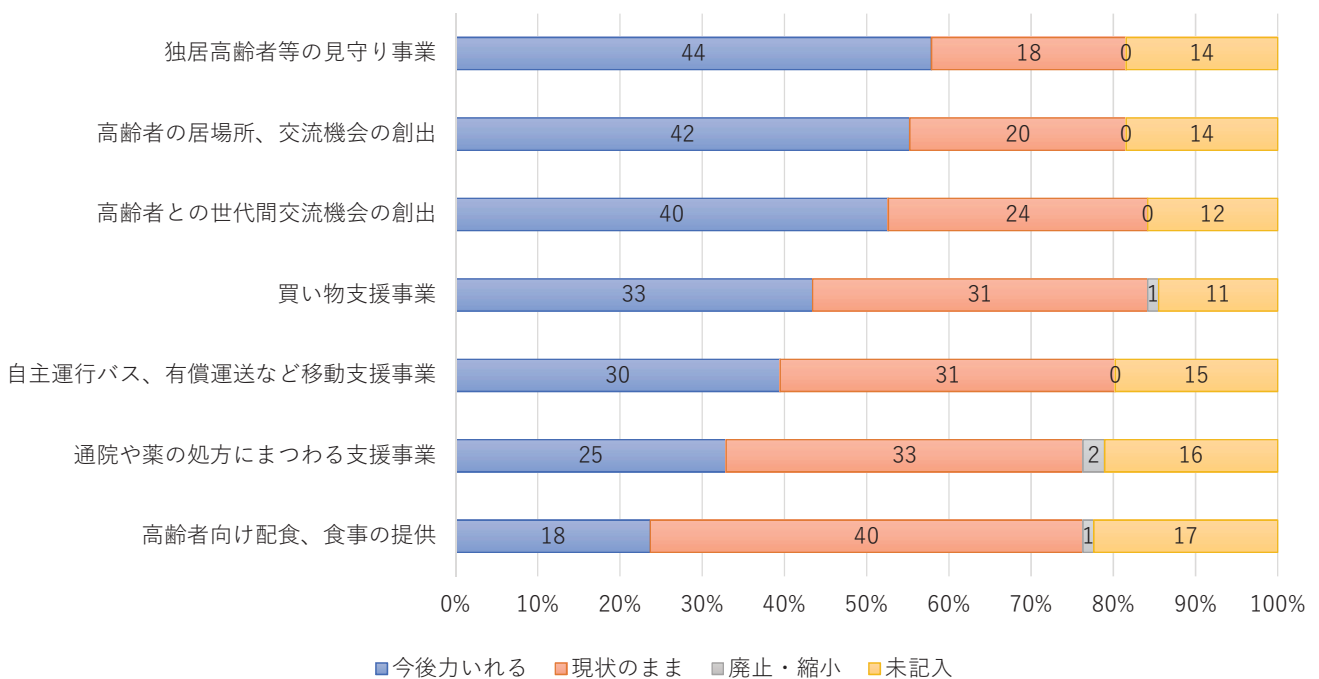
問 1 0 高齢者に対する下記の活動を実施していますか？



【高齢者に対する活動】

- ・「高齢者の居場所づくり」は、社協や連合での実施で、ほぼすべての地区で実施されている。
- ・「買い物支援」や「高齢者向けの配食」、「移動支援」などは、まだまだ実施されていないことがわかる。
- ・全体的に社協等が実施している連合が多いことがわかる。

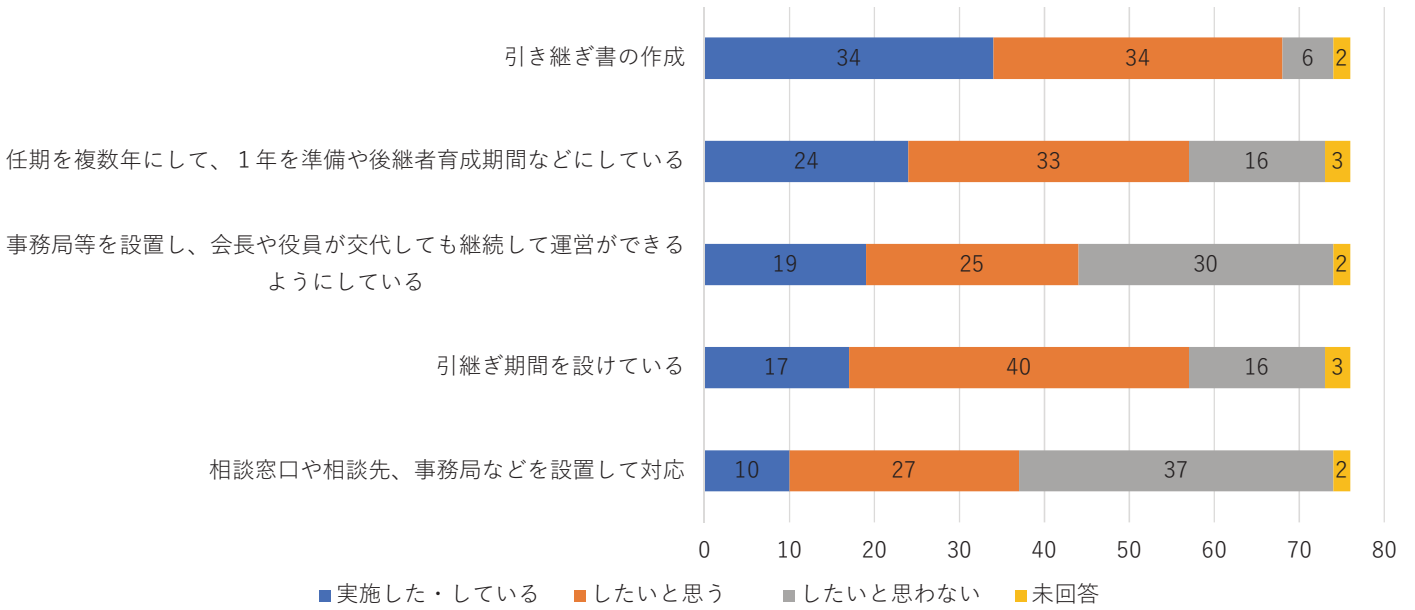
問 1 0 高齢者に対する下記の活動について、どう考えていますか？



【高齢者に対する活動】

- ・今後力をいれるとの回答が多かったのは、「見守り事業」「居場所」「世代間交流」であった。

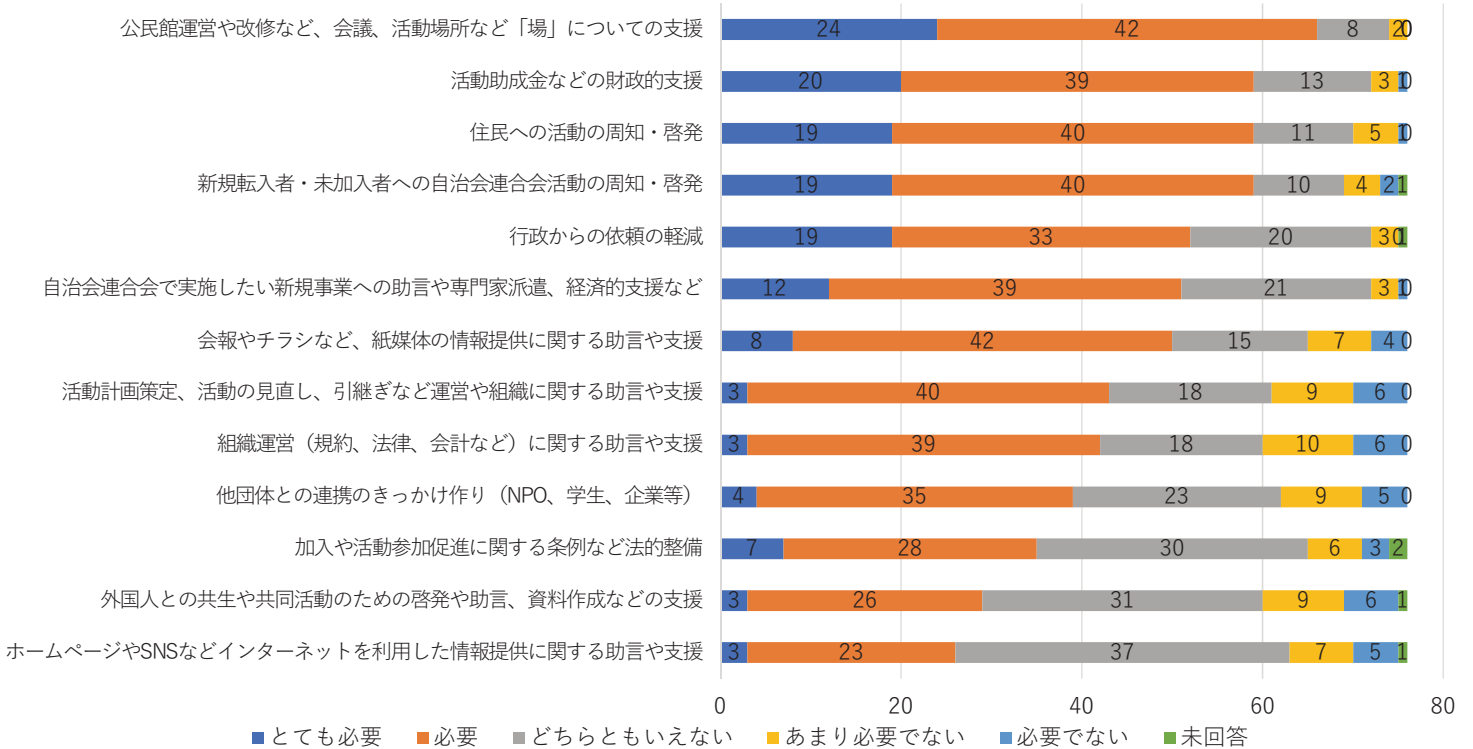
問 1 1 連合自治会の活動の引継ぎに関する事項を実施しているか？今後の考えは？



【活動の引継ぎ】

- ・最も多かったのは、「引き継ぎ書の作成」であった。
- ・今後実施したいと多く回答したのは、「引継ぎ期間を設けている」であり、半数以上の連合自治会が実施したいと考えている。

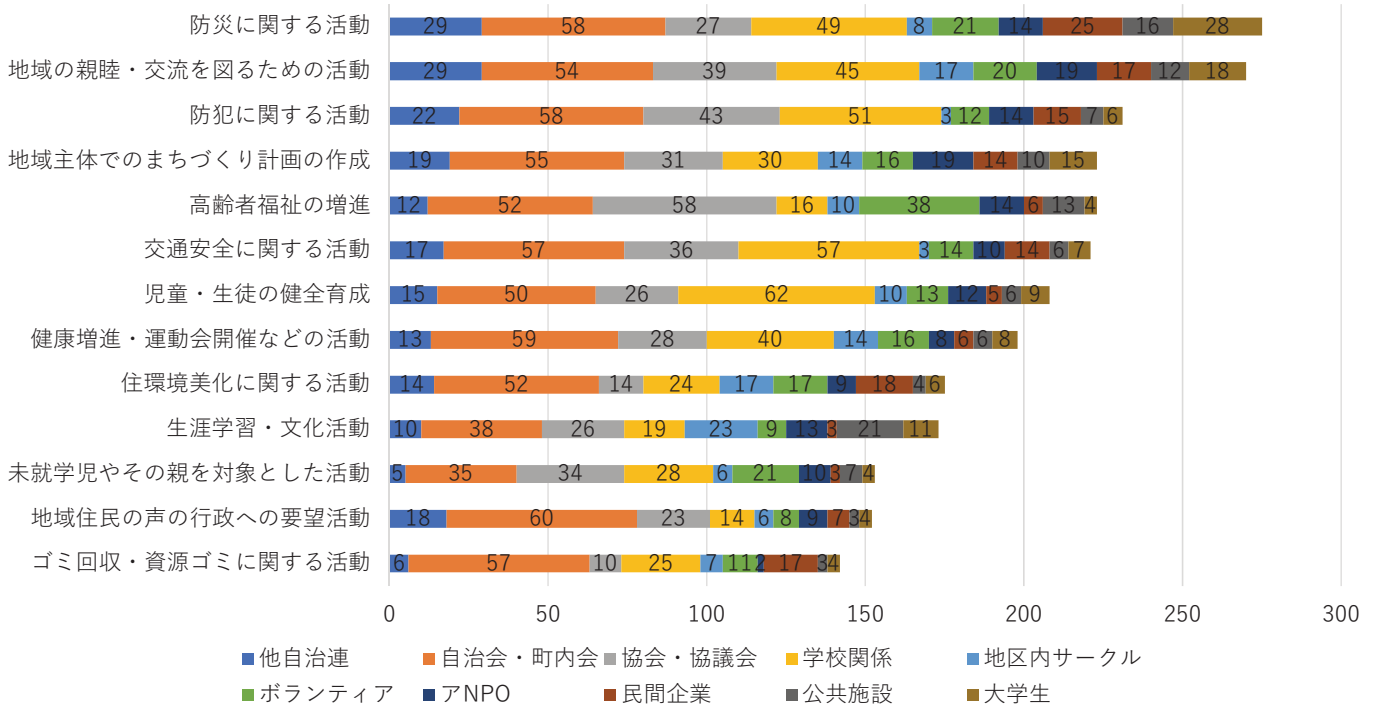
問 1 2 連合自治会が、行政や外部組織から必要だと思う支援は？



【行政・外部組織からの支援】

- ・「公民館改修などの場の支援」が最も多かった。「財政的支援」「住民への活動の周知」「新規転入者等への連合自治会活動の周知・啓発」が続いた。
- ・ITを使用した情報提供などの必要性は、そこまで要望が高くないことがわかる。

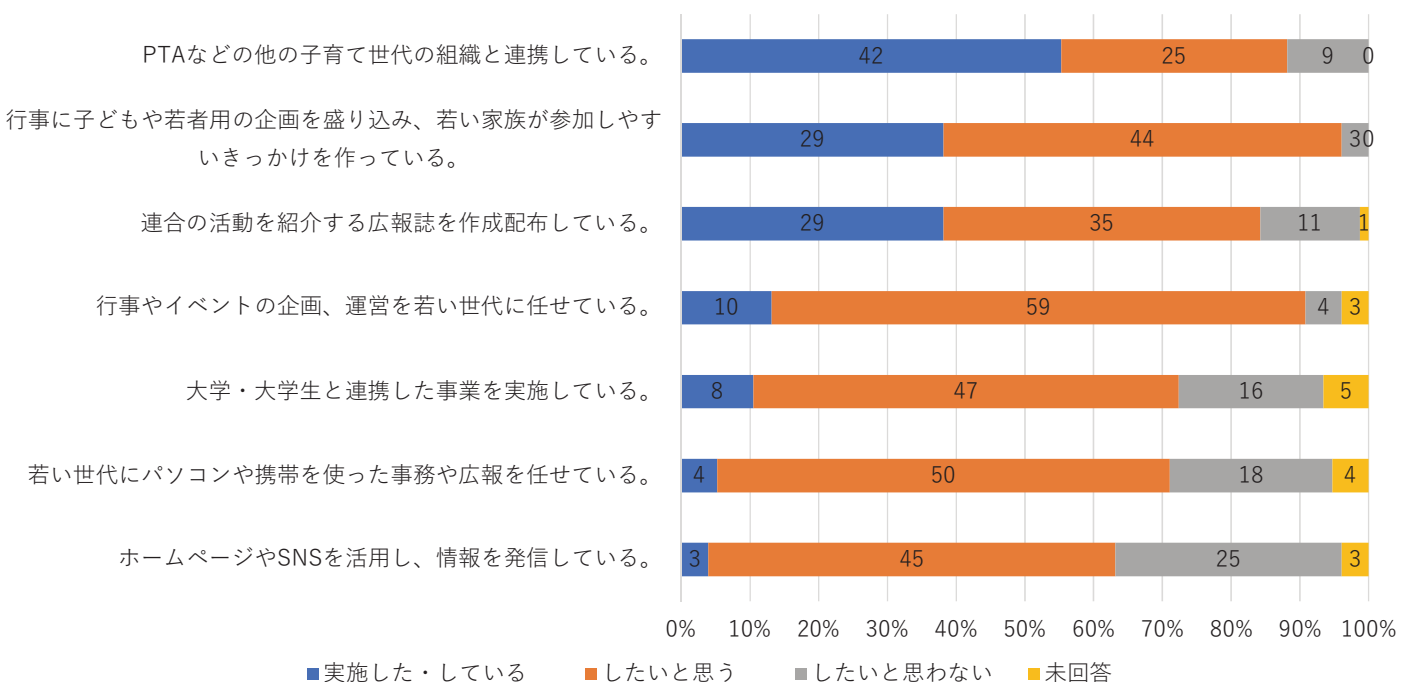
問13 活動の推進にあたって、今後、新しく連携したい、連携を強くしたいと考えている団体は？



【連携希望、連携強化】

- ・多くの自治会が連携を考えているのは、「防災」「地域の親睦交流」「防犯」「まちづくり計画の作成」であった。連携先は、自治会・町内会や学校関係、社協などが多かった。
- ・公共施設、大学生などとの連携を考えている自治会は、全体的に少ないといえる。

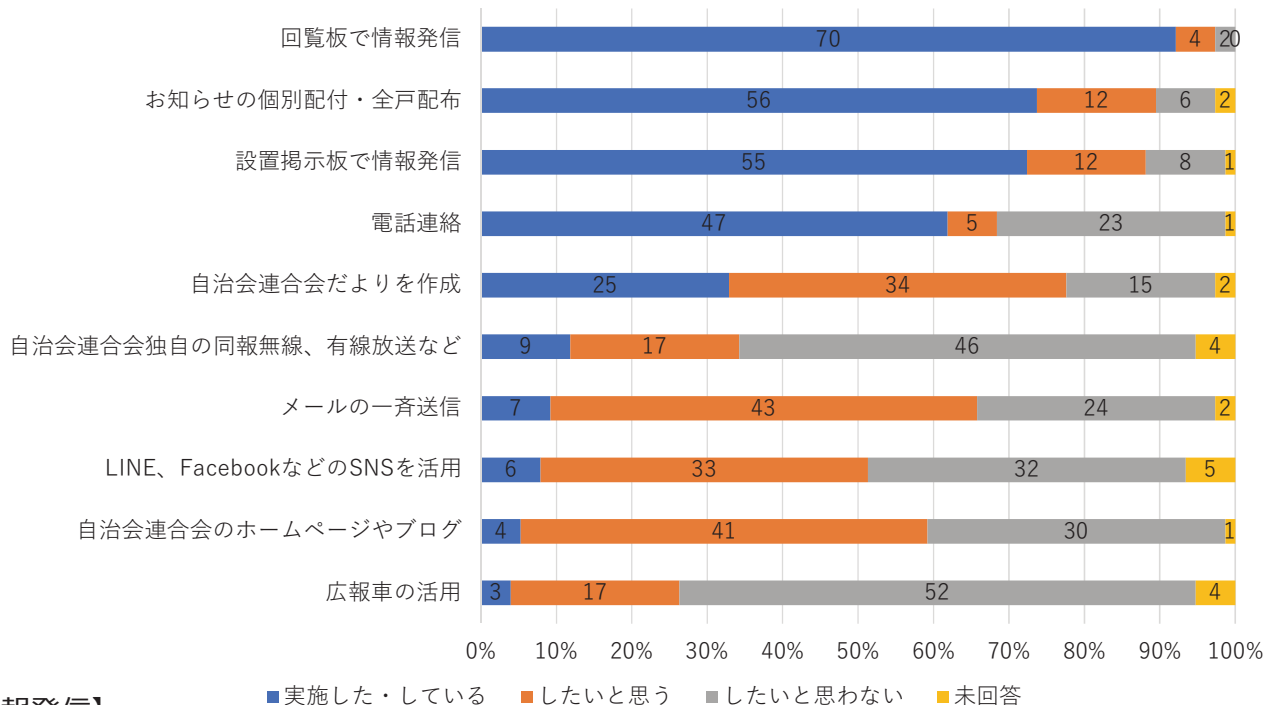
問14 活動への関心を高めたり、幅広い世代の参加を促したりする取組を行っていますか？（住民参加の工夫）



【住民参加の工夫】

- ・子育て世代の組織と連携や若い世代が参加しやすいきっかけ作りなどが行われていることがわかった。
- ・今後実施したい、が最も多かったのは、「行事やイベントの企画運営を若い世代に任せている」「若い世代にパソコン等を使った事務や広報を任せている。」が多い状況であり、これらの期待値が大きいことがわかる。

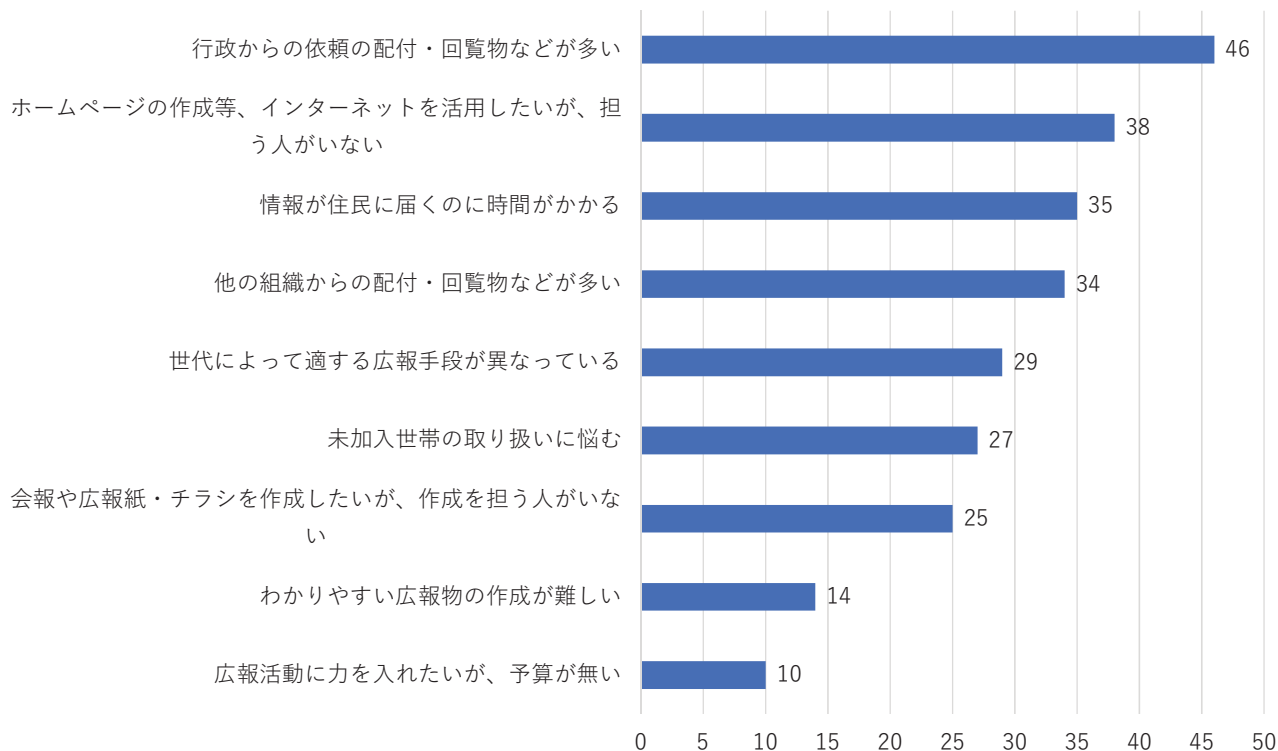
問14 活動への関心を高めたり、幅広い世代の参加を促したりする取組を行っていますか？  
(情報発信)



【情報発信】

・「回覧板」「お知らせ配布」「掲示板」「電話連絡」は、多くの連合自治会で実施しているが、それ以外は、あまり実施されていない状況である。  
 ・今後実施したいが多いのが、「メールの一斉送信」、「自治連のホームページ」、「LINEなどの活用」であり、ITを活用した広報や情報発信が多い状況であった。

問15 連合自治会における情報伝達や広報活動について、感じている課題は？



【情報伝達・広報活動の課題】

・「行政から依頼の配布回覧物が多い」がもっとも多く、次いで「インターネットの担う人がいない」であった。

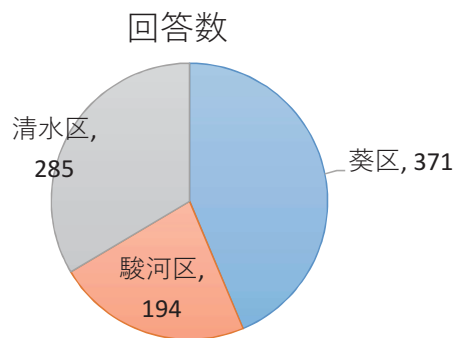


# 静岡市 全自治会・町内会 アンケート結果報告資料

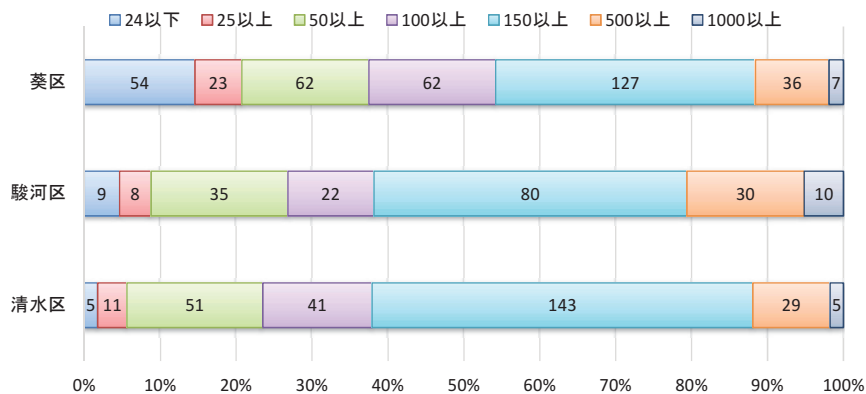
(単位自治会等アンケート3区比較資料)

令和2年8月実施

★自治会・町内会の基礎情報



回答自治会の加入世帯数



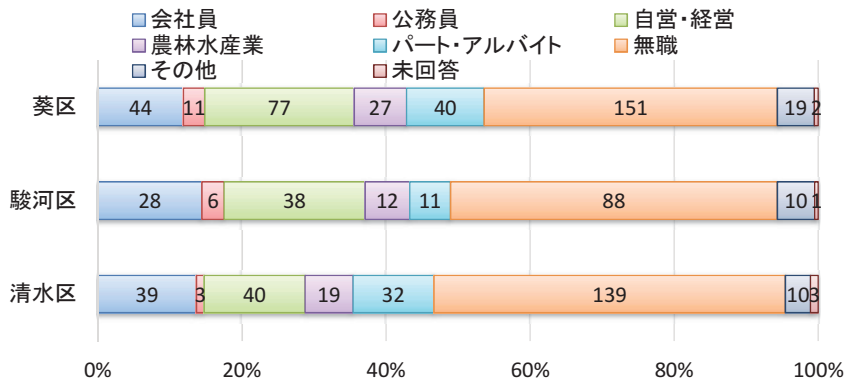
【回答自治会の加入世帯数】

葵区が加入世帯数の少ない自治会が他の区と比較して多く、約20%が50世帯未満の自治会である。



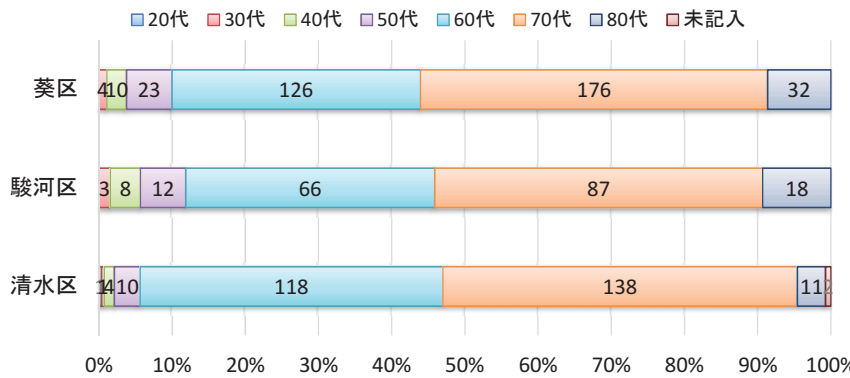
## ★自治会長・町内会長について

### 会長の職業別



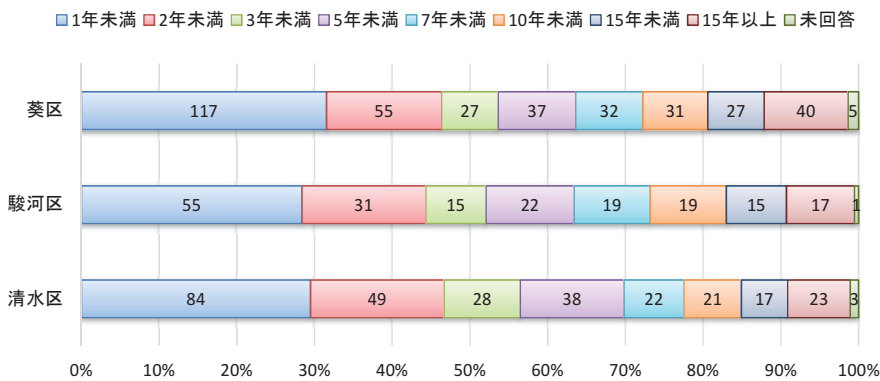
【会長の職業別】  
・3区で特に違いは見られない。

### 会長の年代別



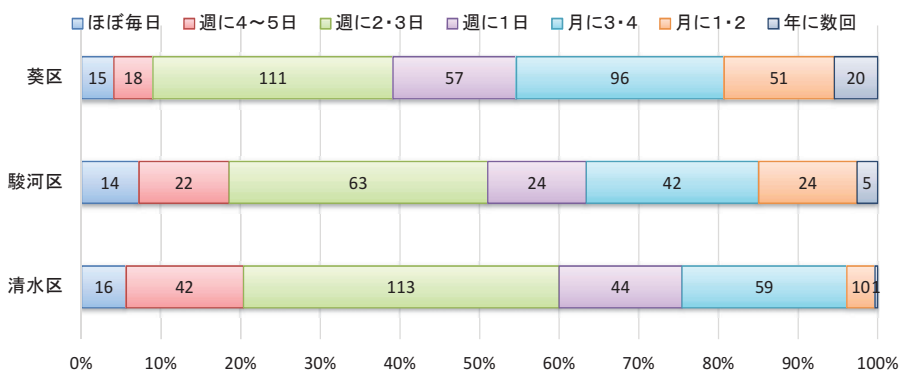
【会長の年代別】  
・清水区は、ほぼ60代70代の会長で占められており、その他の年代は約1割である。

### 在職年数



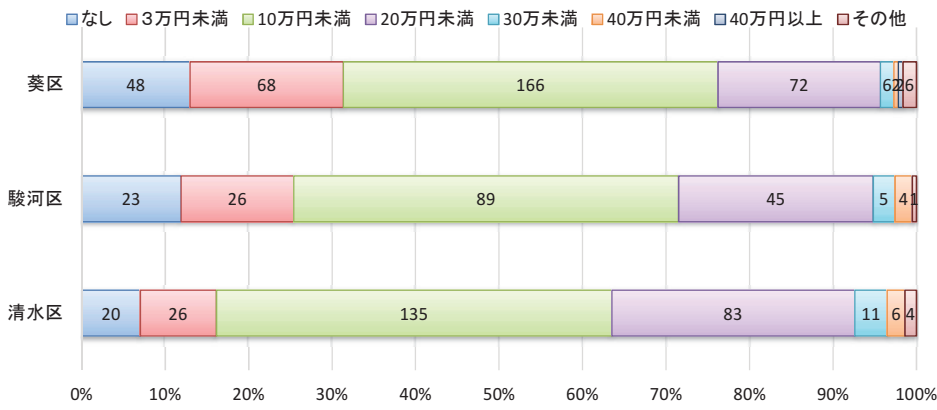
【在職年数】  
・3区で特に違いは見られない。

### 自治会活動の従事日数



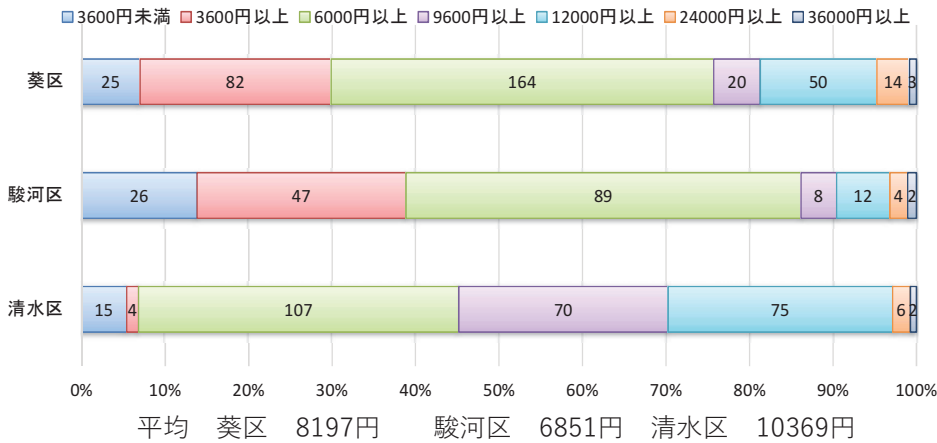
【自治会活動への従事日数】  
・清水区が週2~3日以上活動に従事している会長の割合60%あり、他の区と比較して高い割合である。

## 会長手当の年額



【会長手当の年額】  
 ・清水区が他の区と比較して、大きい傾向がある。  
 ・それでも、清水区の会長の6割以上は年間10万円未満である。

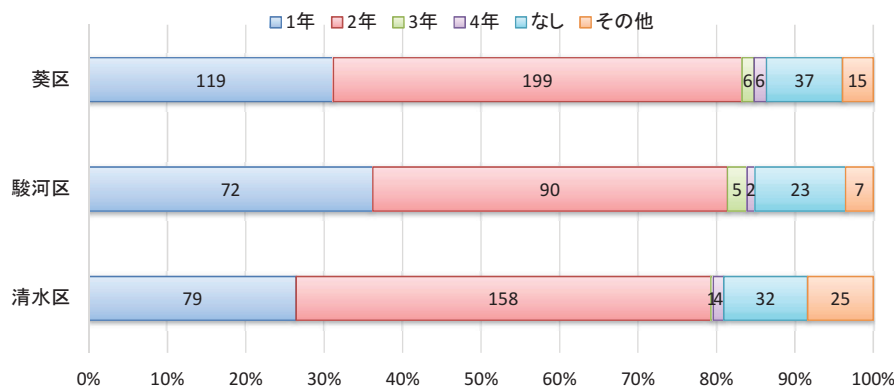
## 自治会費(世帯あたり)の年額



【1世帯あたりの自治会費の年額】  
 ・駿河区→葵区→清水区の順で高くなっている。  
 ・駿河区と清水区を平均額で比較すると3,000円以上差がある。

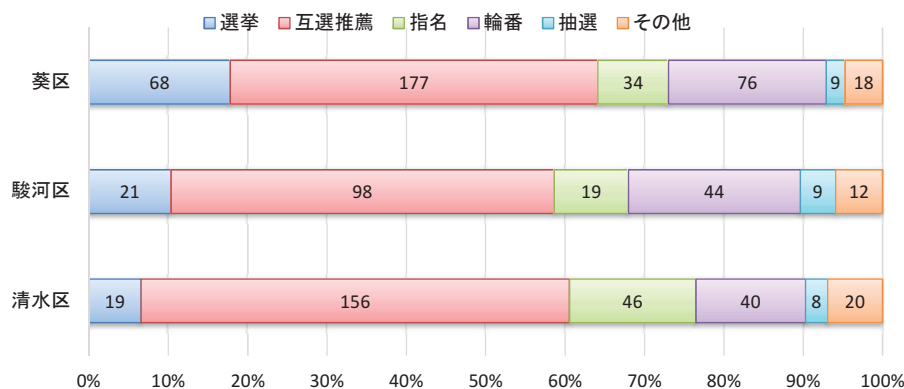
## ★自治会・町内会の運営

### 会長の任期



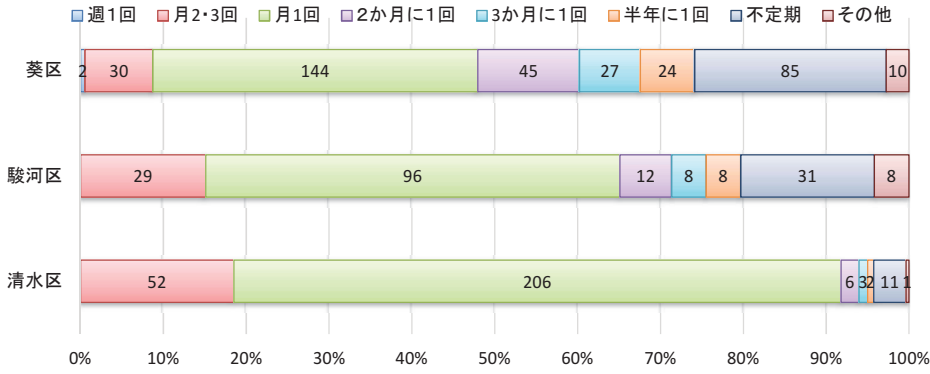
【会長の任期】  
 ・3区での大きな違いはなく、約8割が1年もしくは2年であった。

### 会長の選出方法



【会長の選出方法】  
 ・3区での大きな違いはないが、清水区は「輪番」「選挙」の割合が他の2区と比較して少なく、推薦や指名で選んでいる自治会が多い。

## 定例会の開催頻度



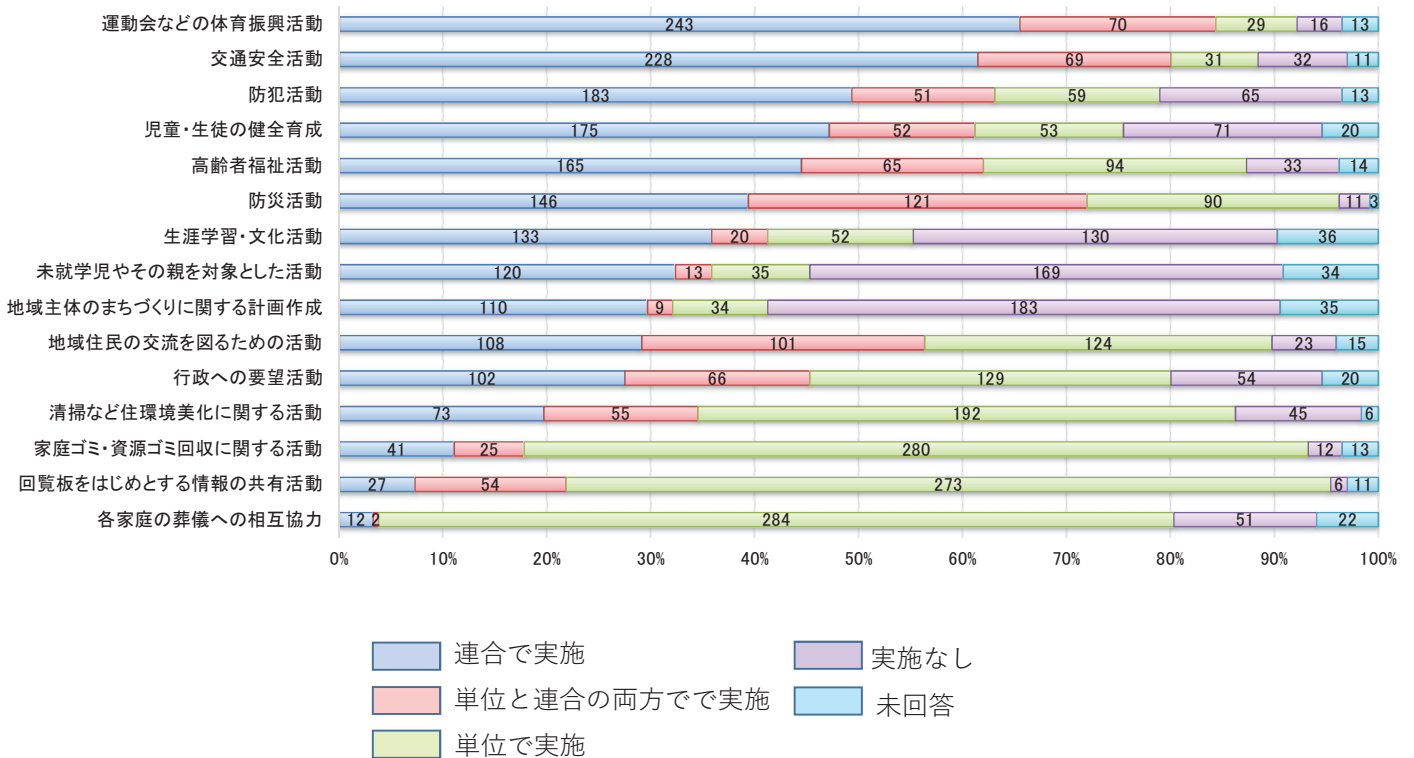
### 【定例会の開催頻度】

清水区が他の区と比較して頻繁に実施している自治会が多いことがわかり、9割以上が月に1回以上開催していることがわかる。

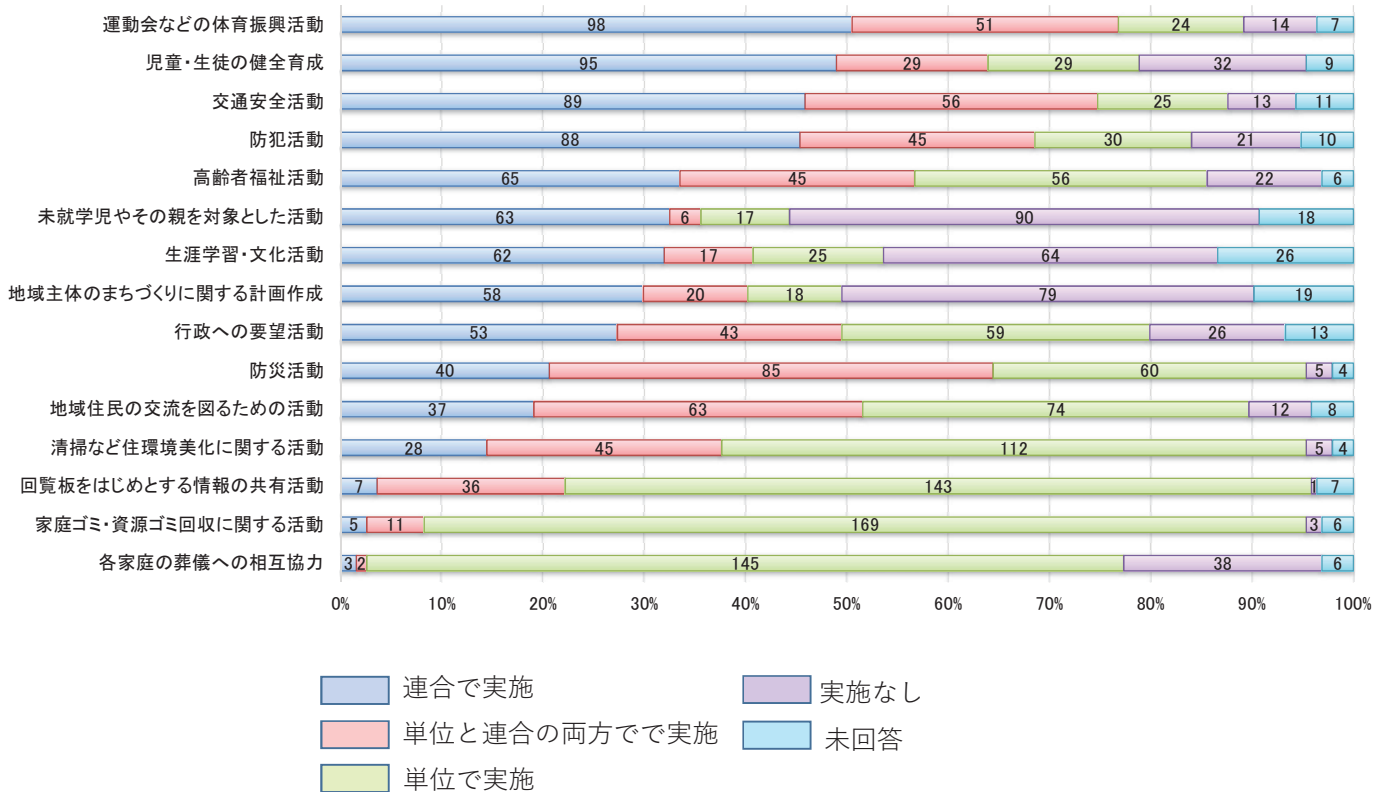
一方、葵区では、月に1回以上の開催は5割以下である。

## 問5 自治会・町内会では、現在どのような活動をしていますか。

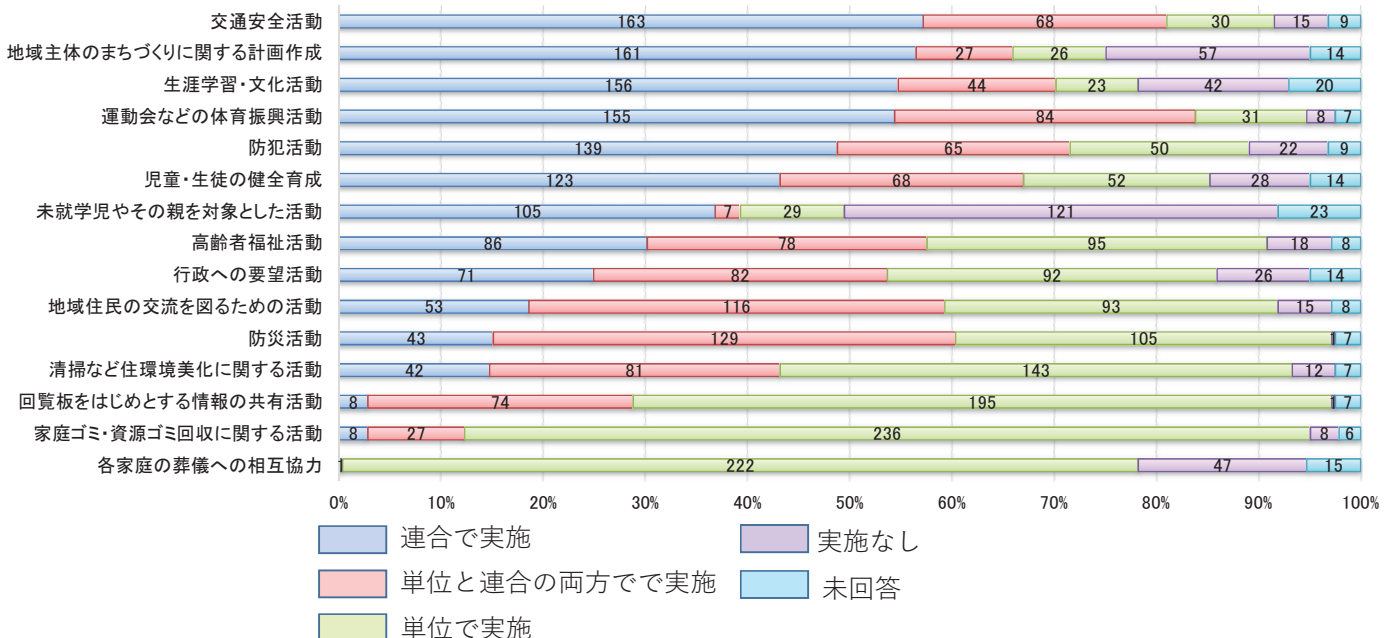
### 〔葵 区〕



## 〔駿河区〕



## 〔清水区〕

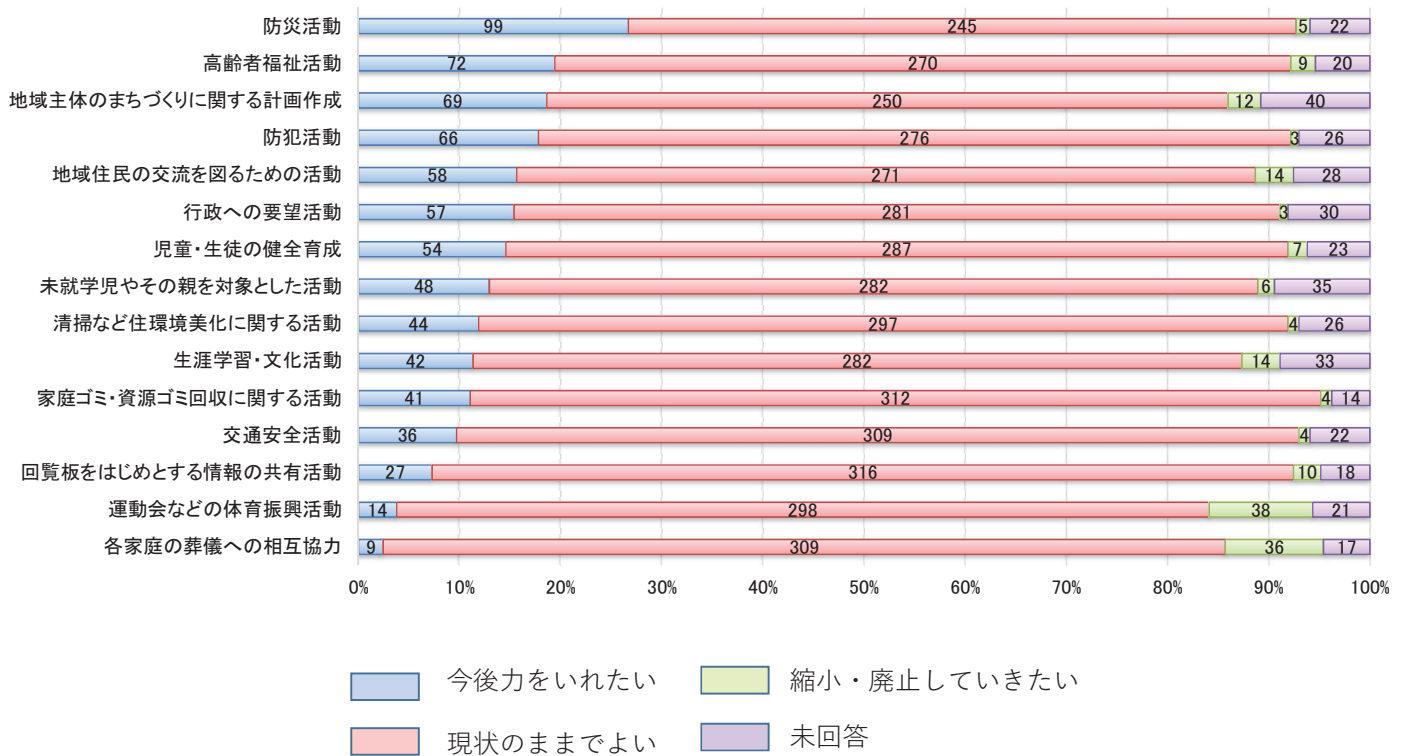


### 【現在の活動状況】

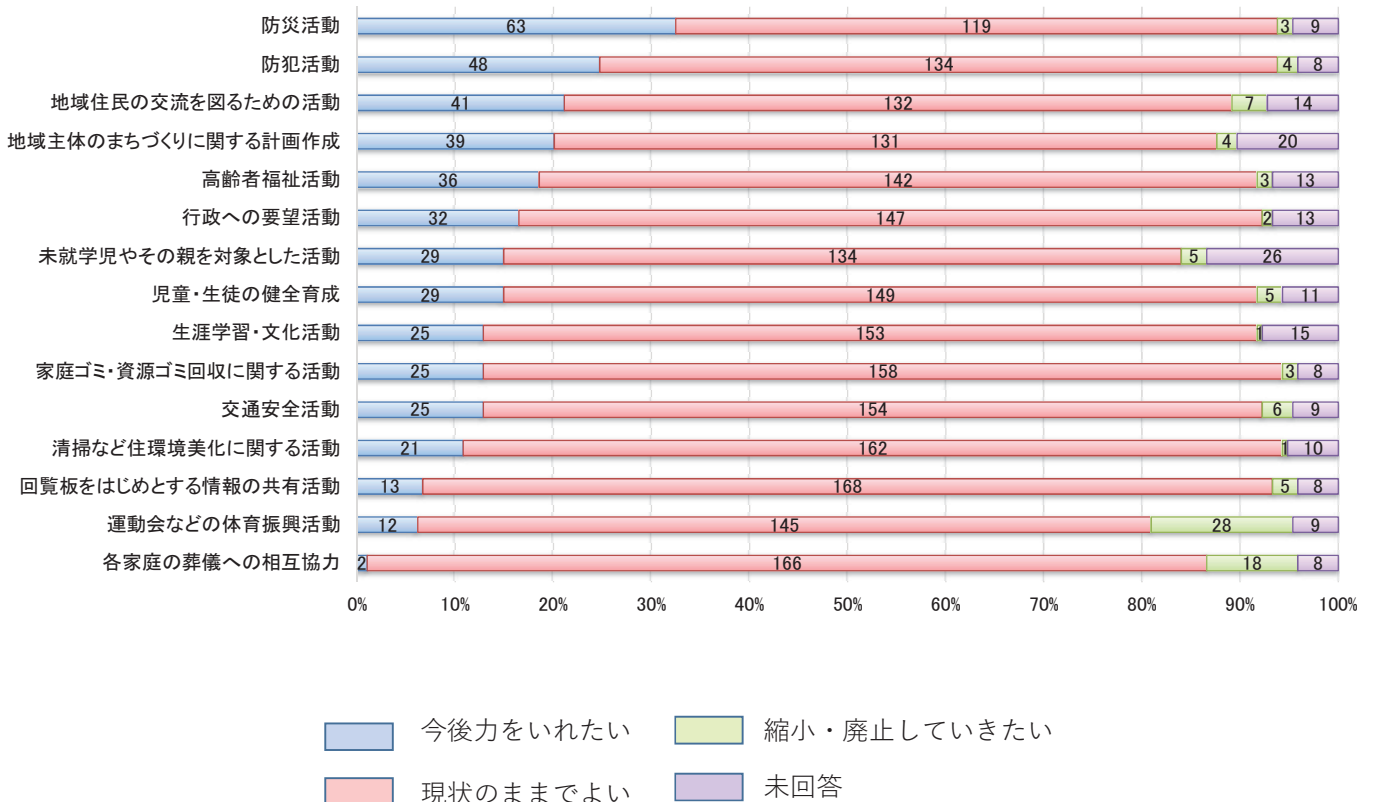
- ・3区とも、「体育振興」、「交通安全」、「防犯」、「児童生徒の健全育成」は、連合が実施していると回答した自治会が多い傾向であった。
- ・そのなかで、清水区では、「地域主体のまちづくりに関する計画作成」が、多くの自治会が「連合で実施している」と回答しており、他の2区では見られない特徴である。
- ・また、清水区は、実施していない活動（紫色の部分）が少ないという特徴がみられた。連合か単位のどちらかで、ほとんどの活動が実施されている状況がうかがえる。

## 問5 自治会・町内会での活動の、今後の意向は？

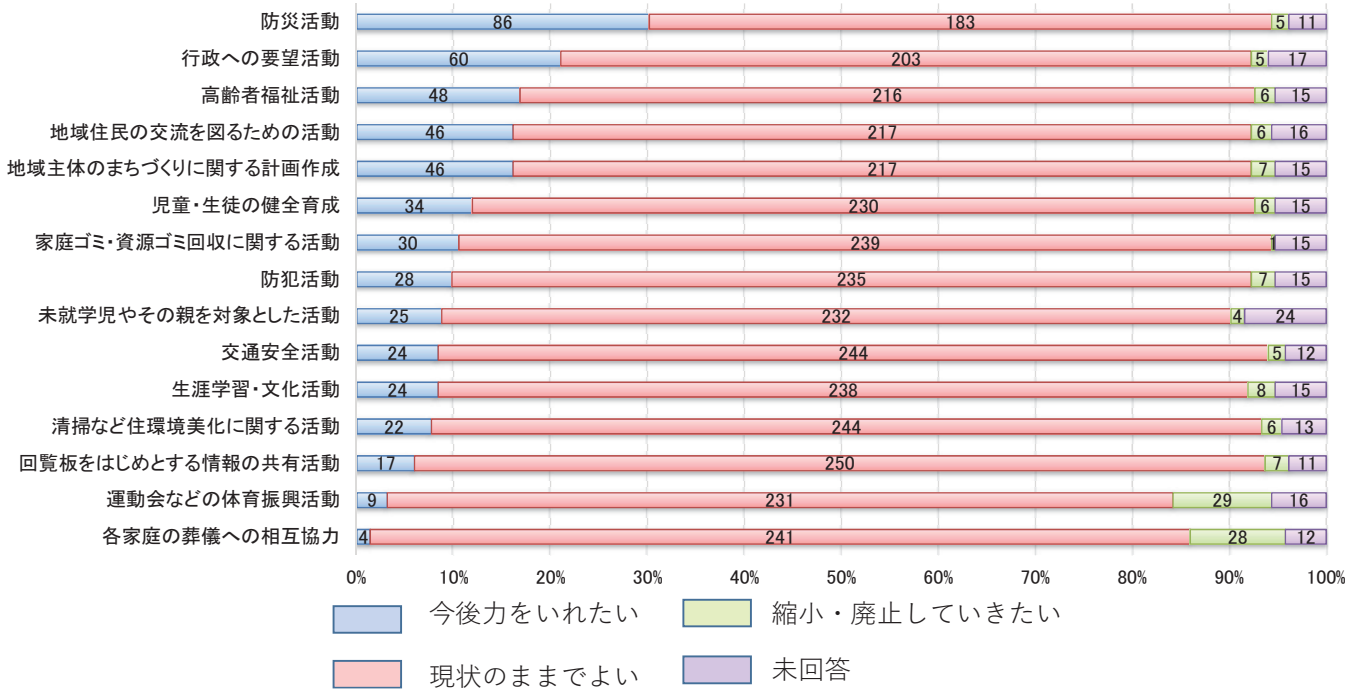
### 〔葵 区〕



### 〔駿河区〕



〔清水区〕

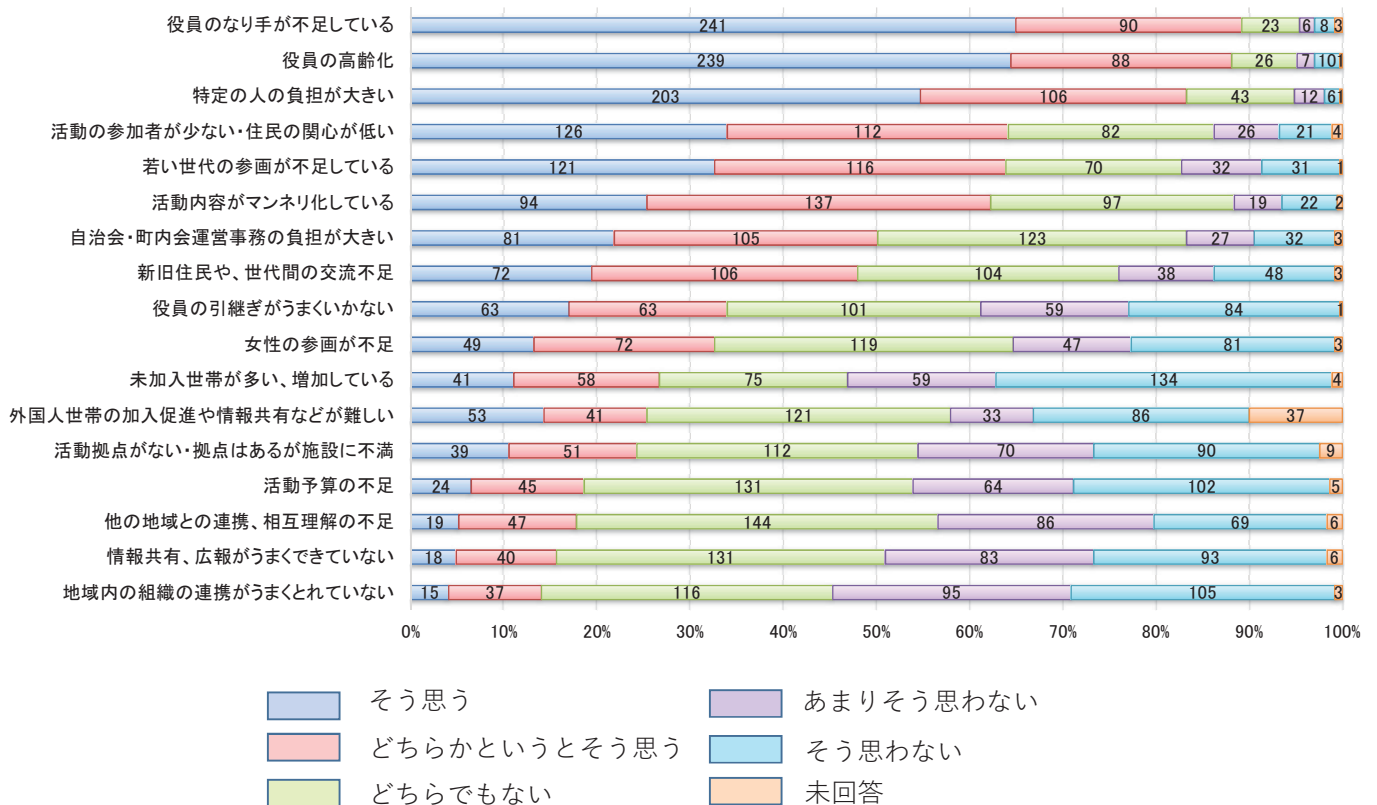


【今後の活動に対する意向】

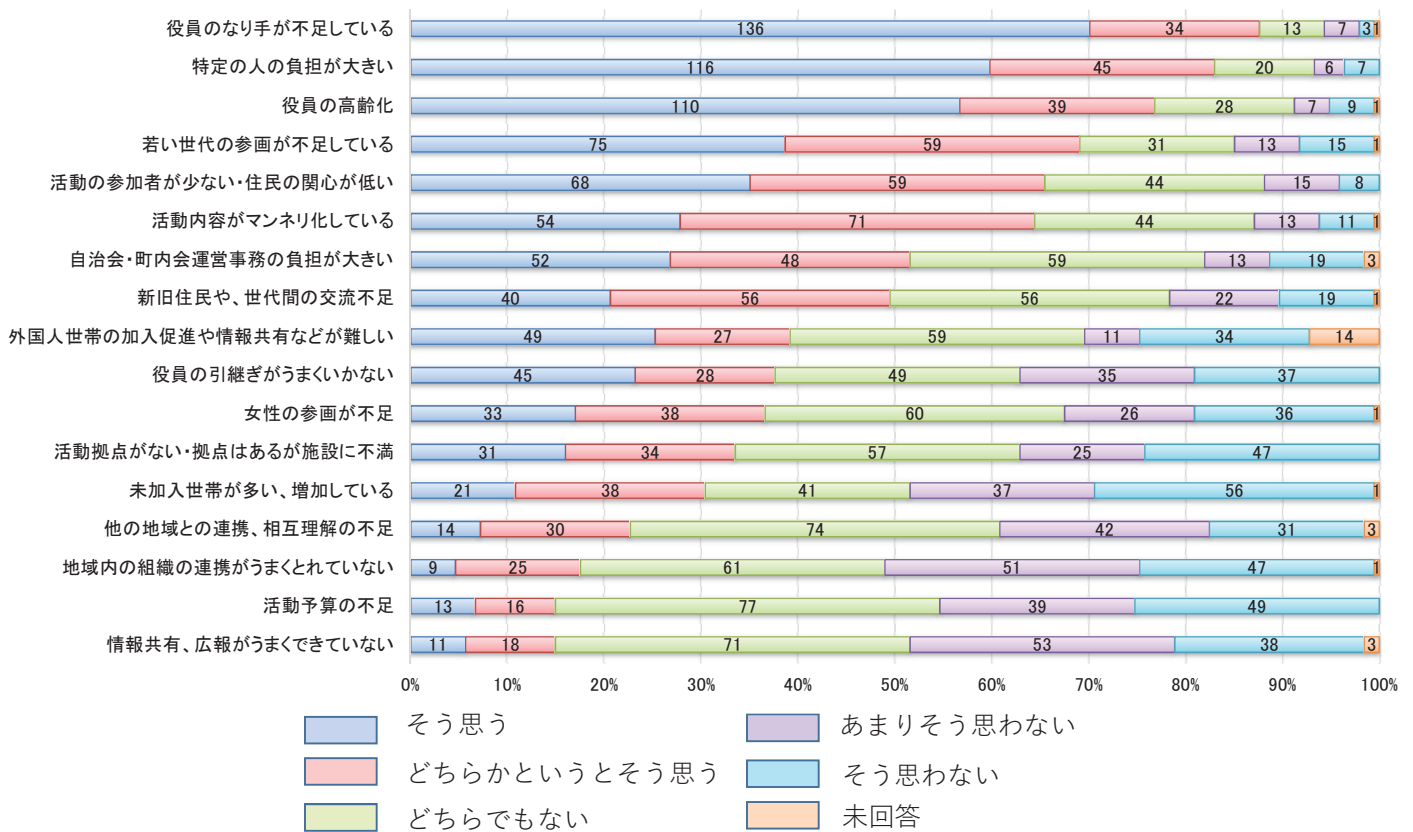
- ・3区とも「防災活動」に力をいれたいと回答した自治会が多かった。
- ・高齢化が進んでいる葵区では、高齢者福祉活動に力をいれたい自治会が多いのが特徴である。
- ・駿河区は防災に加えて、防犯活動に力をいれたいと回答した自治会が多かった。
- ・縮小、廃止していきたいとの意見があった活動は、体育振興活動と葬儀協力であり、これは3区とも共通であった。

問6 自治会・町内会の運営で、課題となっていることは何ですか？

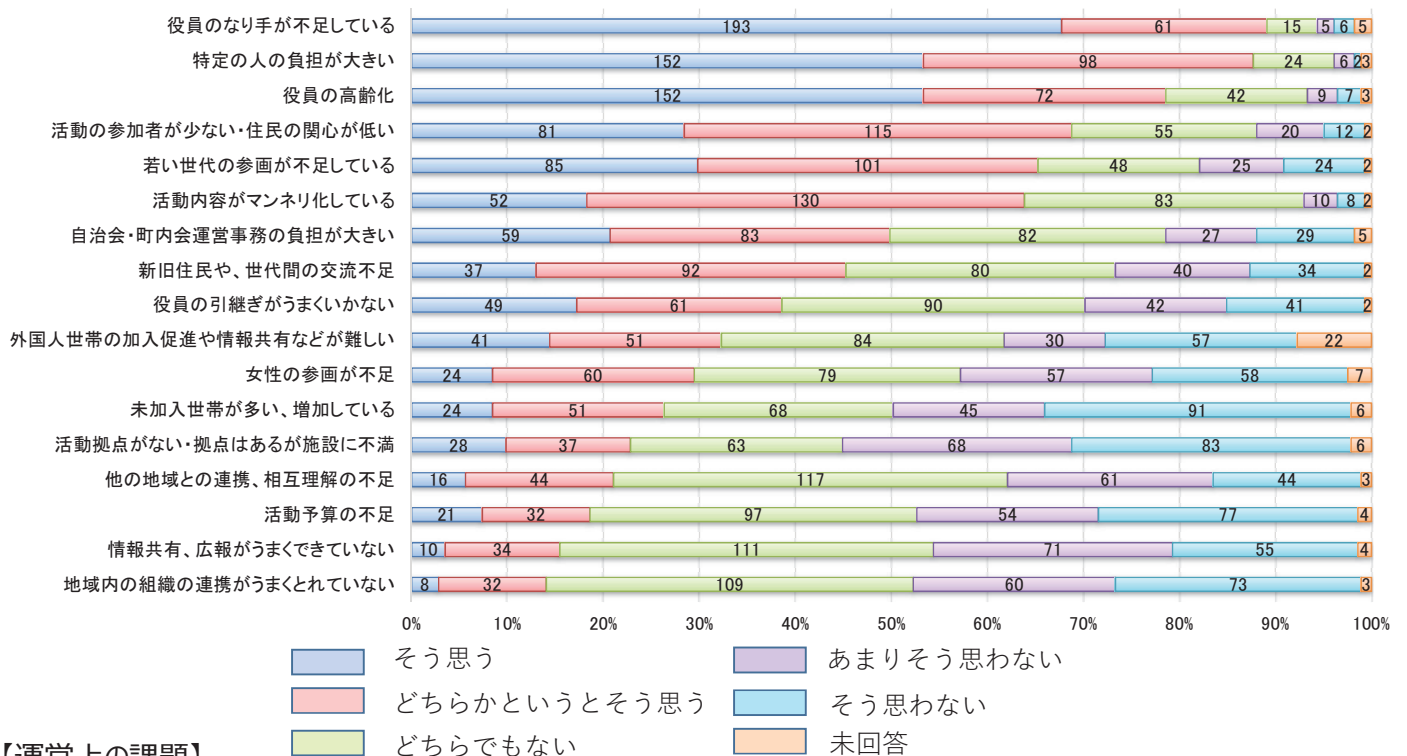
〔葵区〕



## 〔駿河区〕



## 〔清水区〕



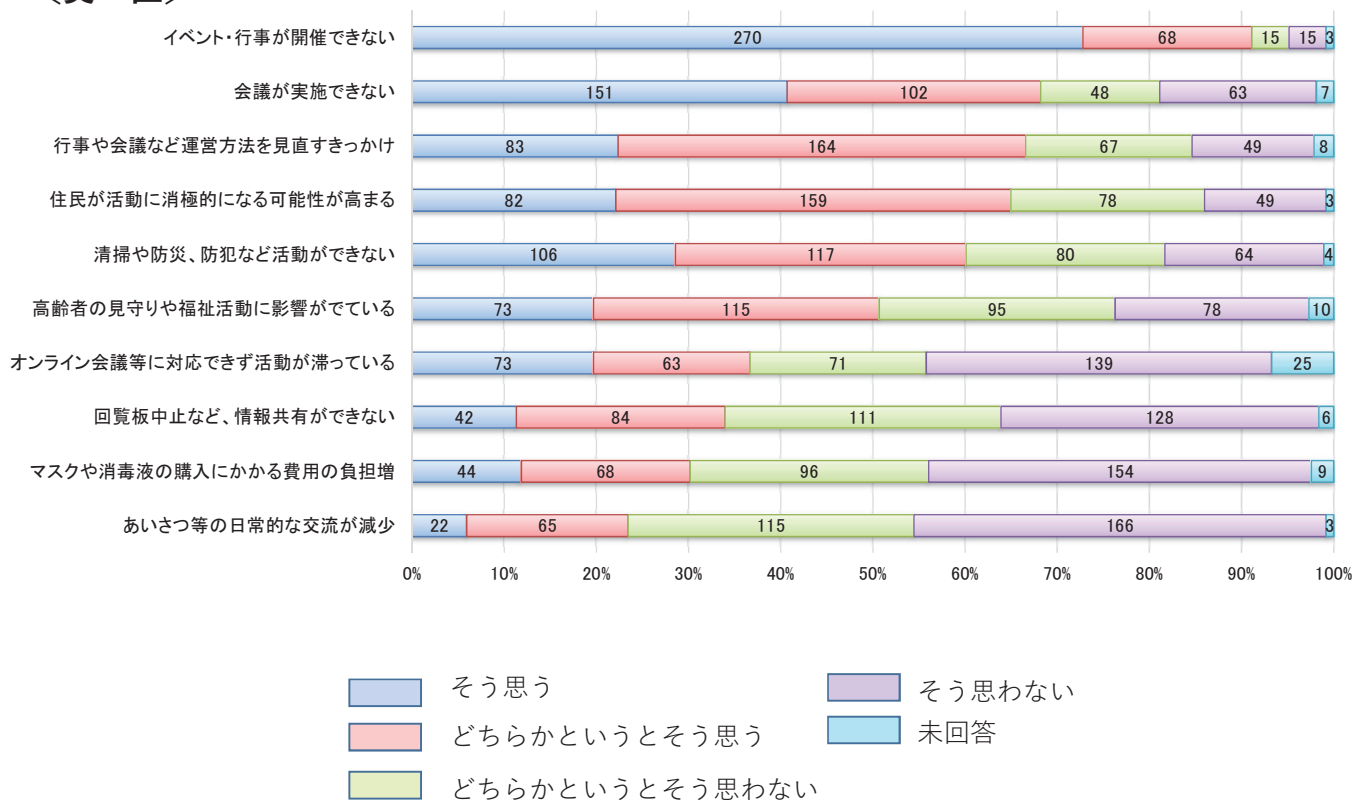
### 【運営上の課題】

- ・3区とも上位は「役員成り手不足」「役員高齢化」「特定の人の負担大」で共通であった。
- ・全体的にも、課題感は3区ともおおむね共通といえる。
- ・その中では、「外国人世帯の加入促進等」について、駿河区の自治会が課題と感じている自治会の割合が他の区よりも多い。

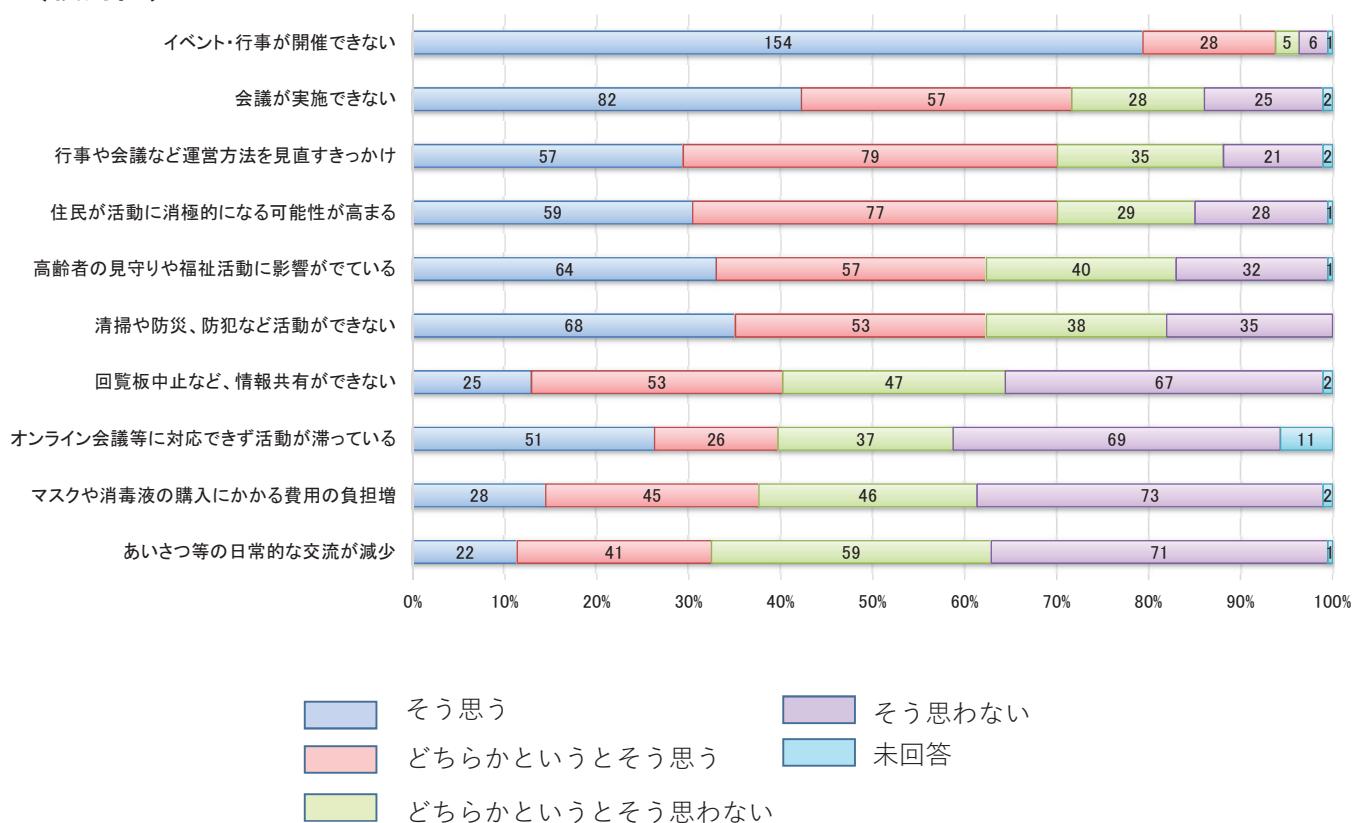


## 問7 自治会・町内会の活動における新型コロナウイルスの影響はありますか？

### 〔葵 区〕

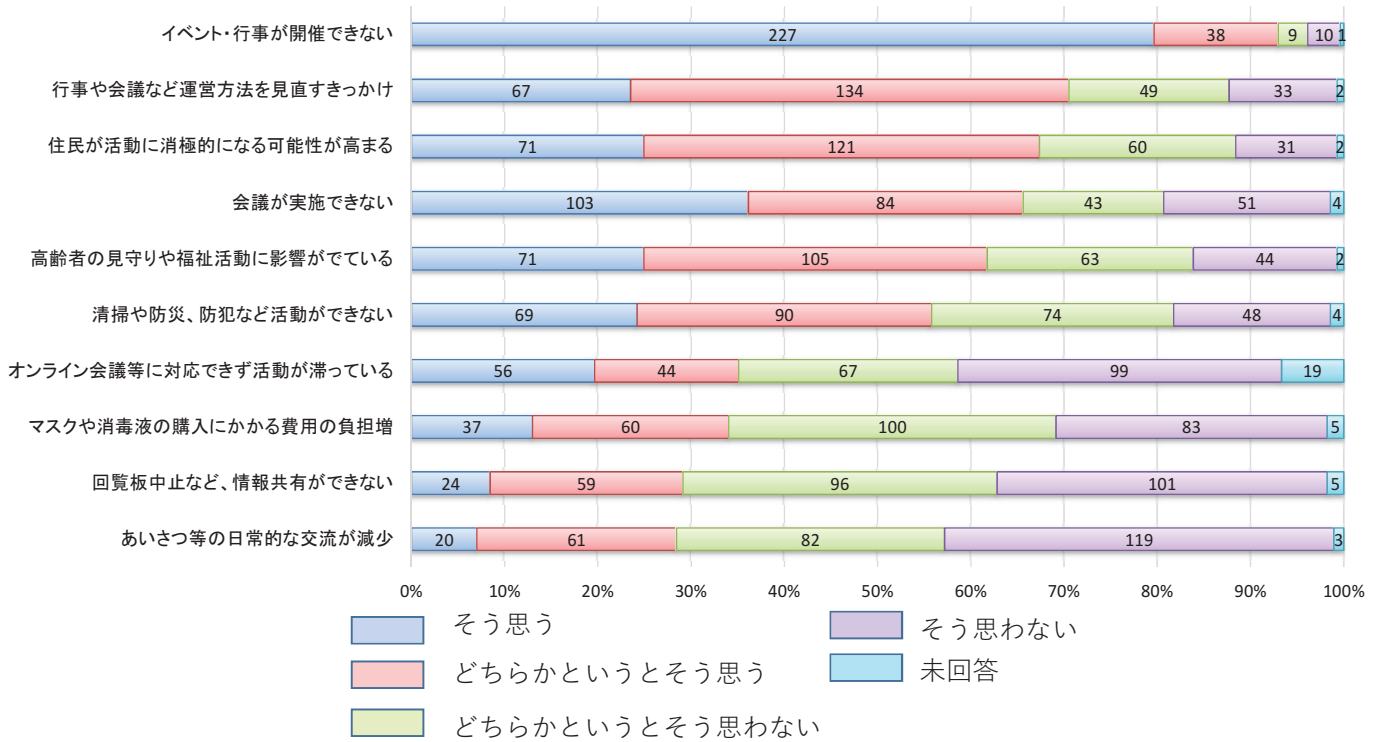


### 〔駿河区〕





## 〔清水区〕

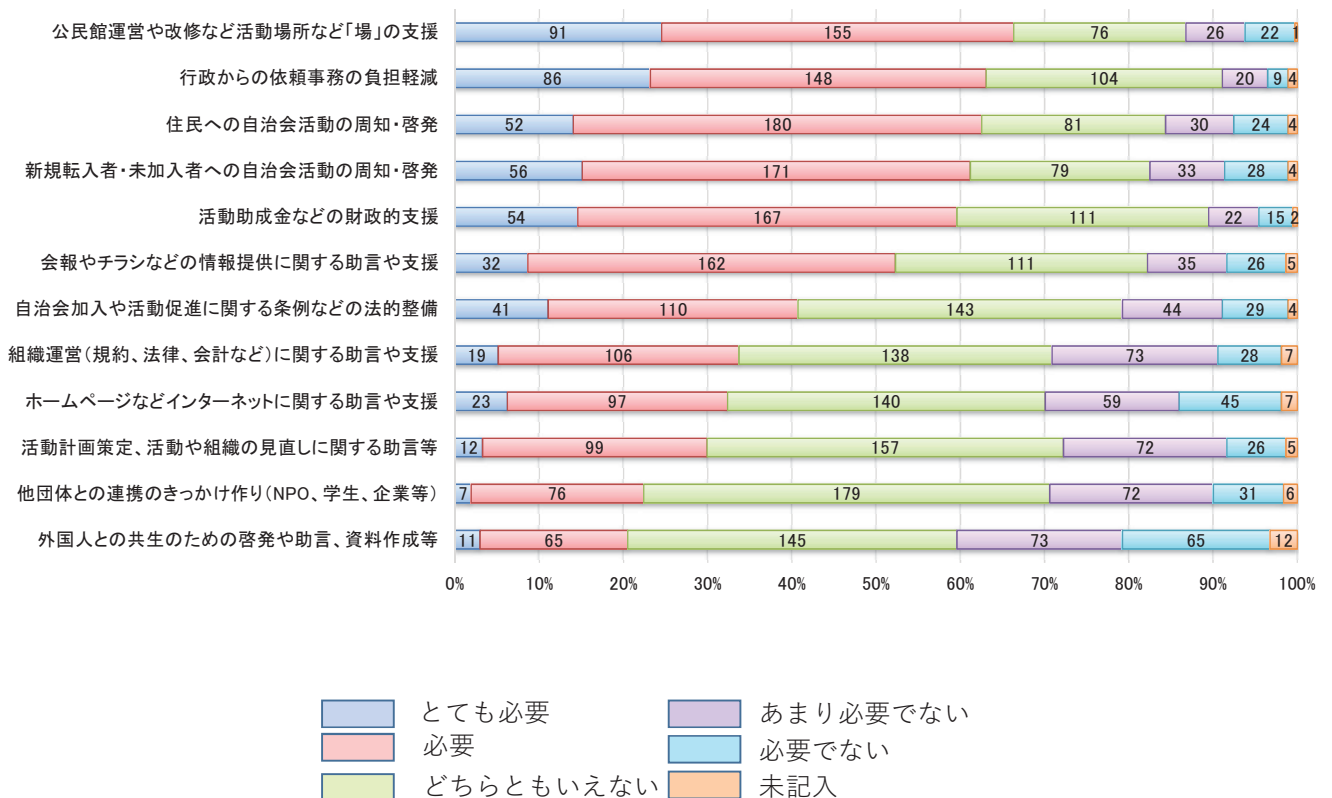


### 【新型コロナウイルスの影響】

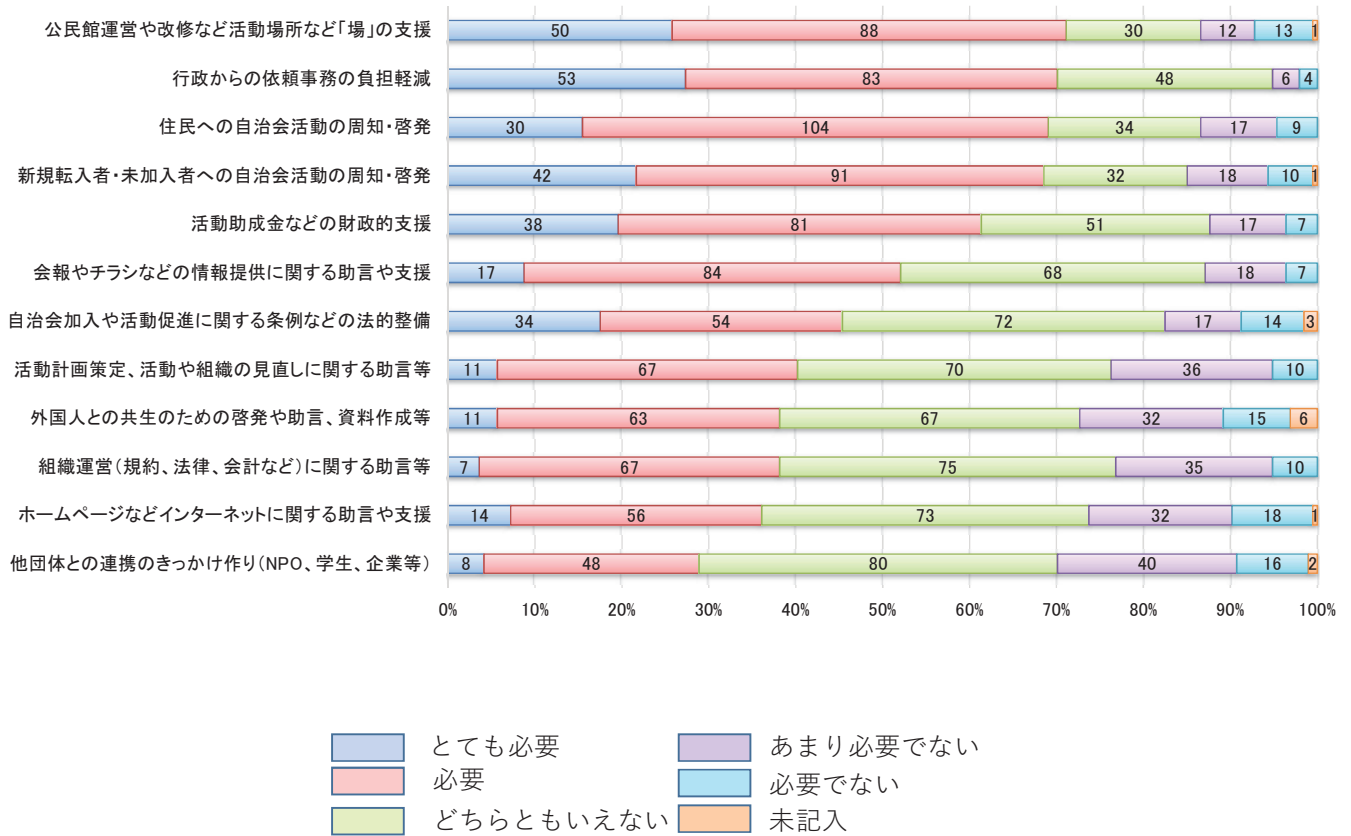
- ・「イベント・行事が開催できない」「会議が実施できない」など、上位は3区とも共通であった。
- ・3区の自治会でほぼ同じ傾向といえる。

## 問8 自治会・町内会が、行政や外部組織から必要だと思う支援はなんですか？

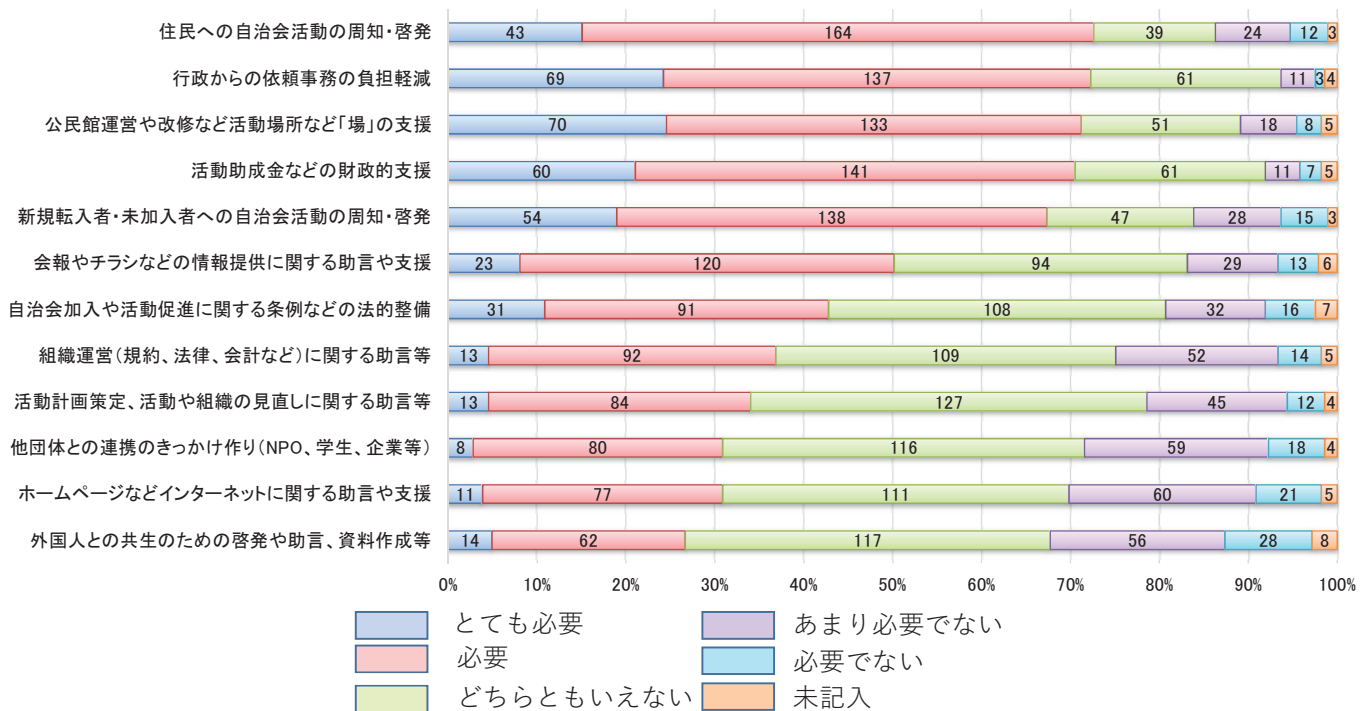
### 〔葵区〕



## 〔駿河区〕



## 〔清水区〕

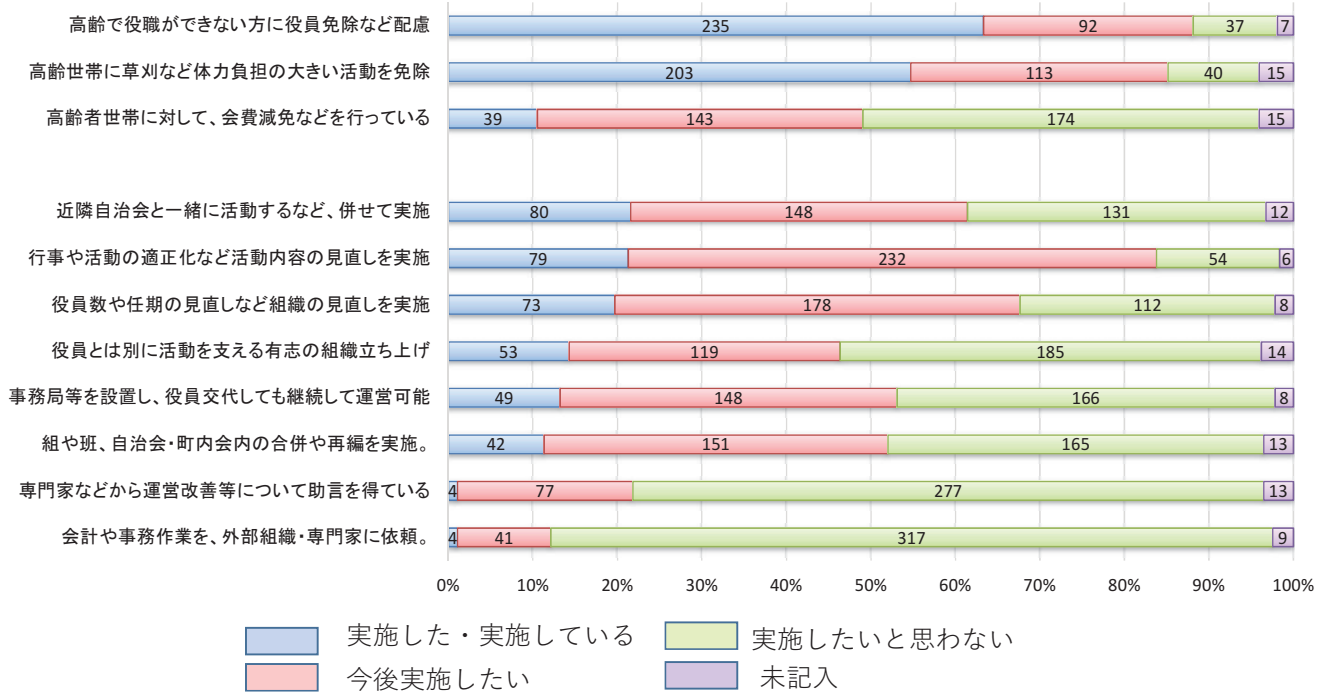


### 【行政・外部組織に求める支援】

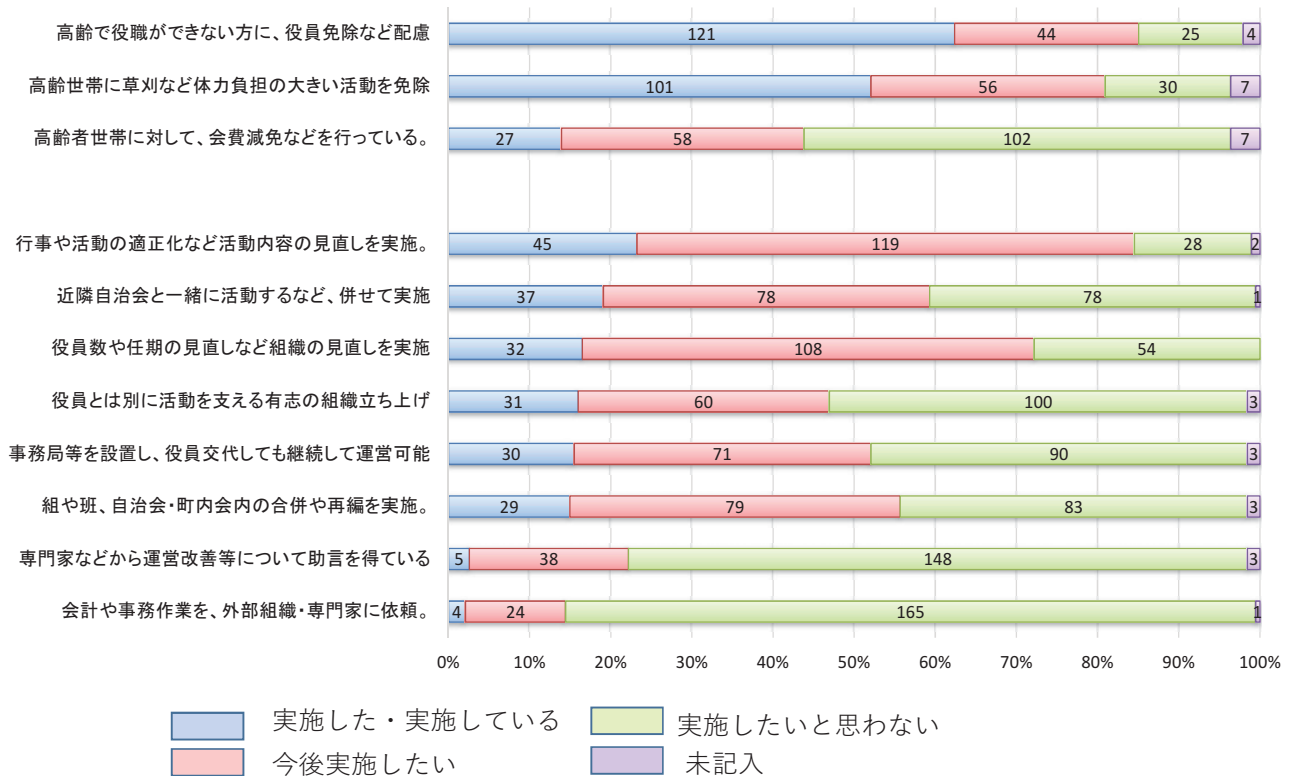
- ・「場の支援」「行政からの依頼事務負担軽減」「住民への自治会活動の周知」「財政的支援」「未加入者への自治会活動の周知」をあげた自治会が多く、これは3区とも共通であった。
- ・駿河区では「外国人との共生のための助言等」をあげた自治会の割合が他の区と比較して多かった。
- ・清水区では、「活動に対する財政支援」をあげた自治会の割合が他の区と比較して多かった。

問9 自治会・町内会活動の見直しのために考えられる、下記の活動を行っていますか？

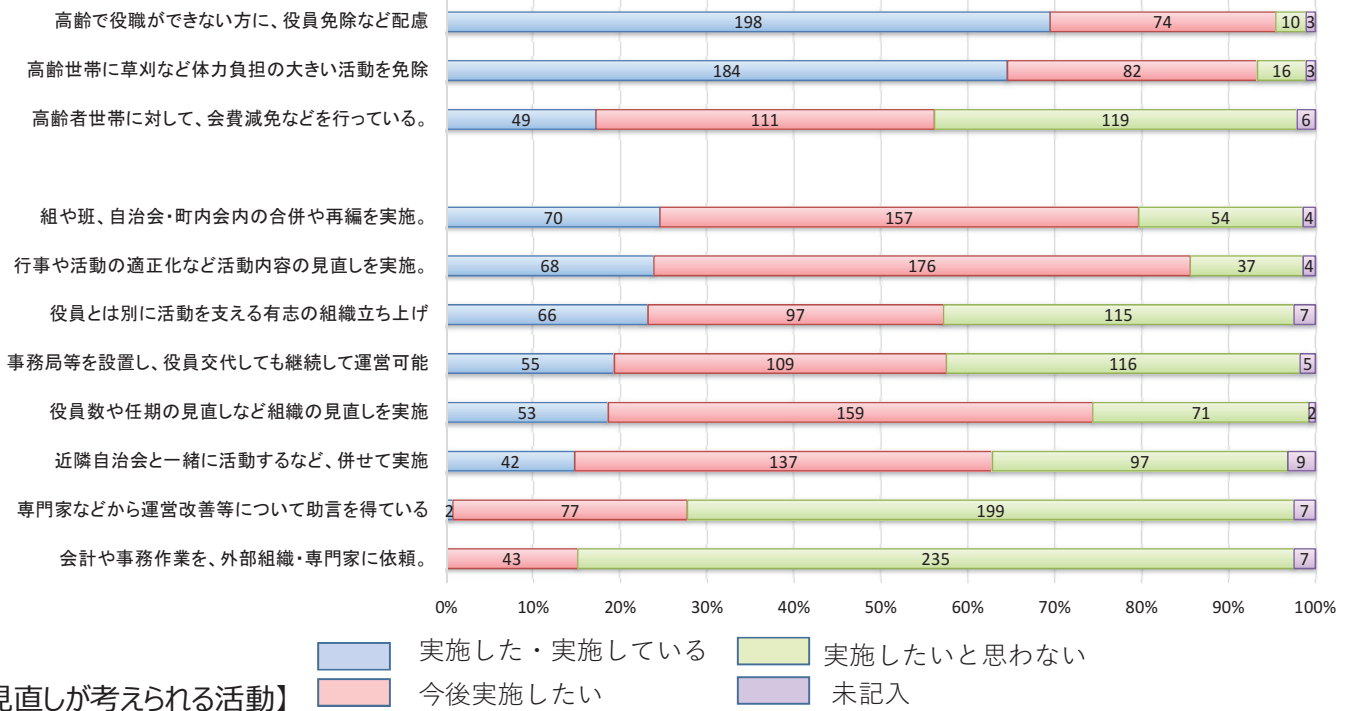
〔葵 区〕



〔駿河区〕



## 〔清水区〕

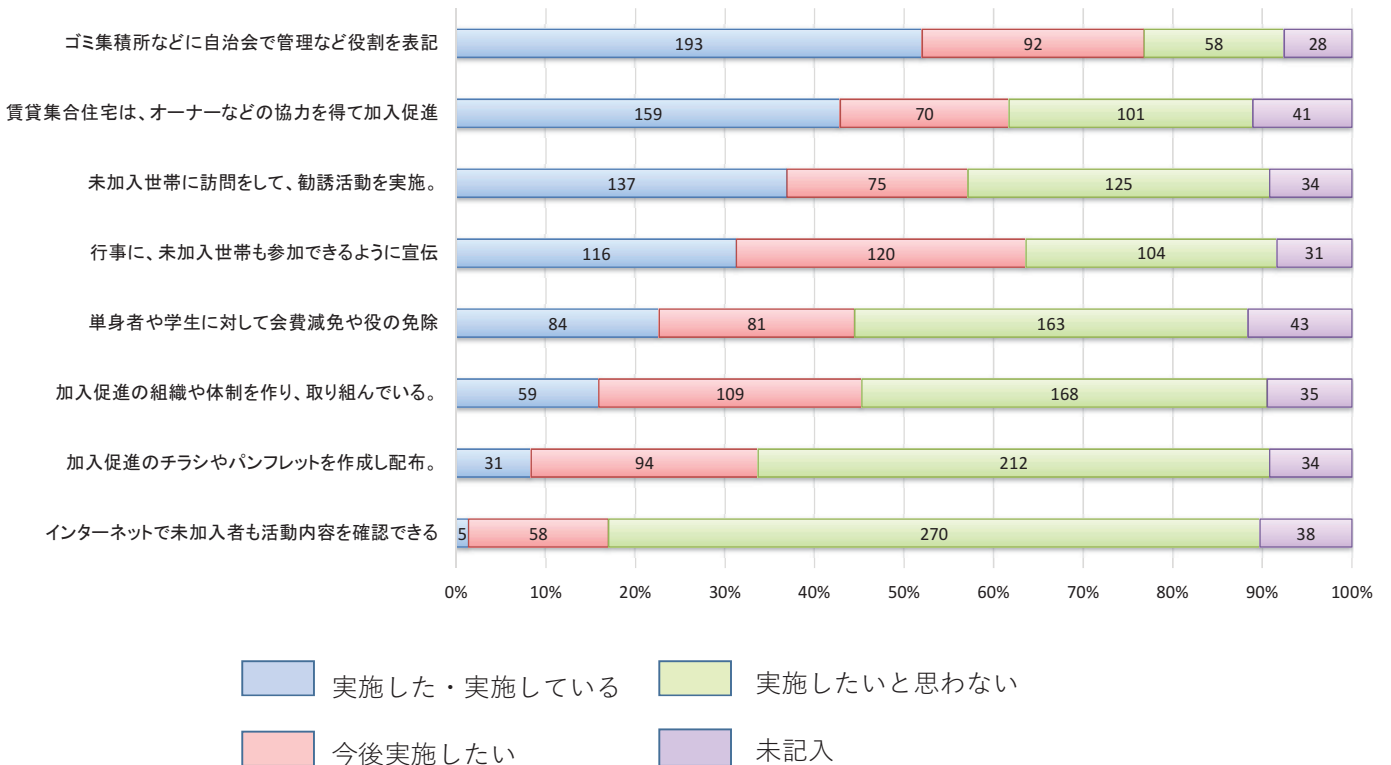


### 【見直しが考えられる活動】

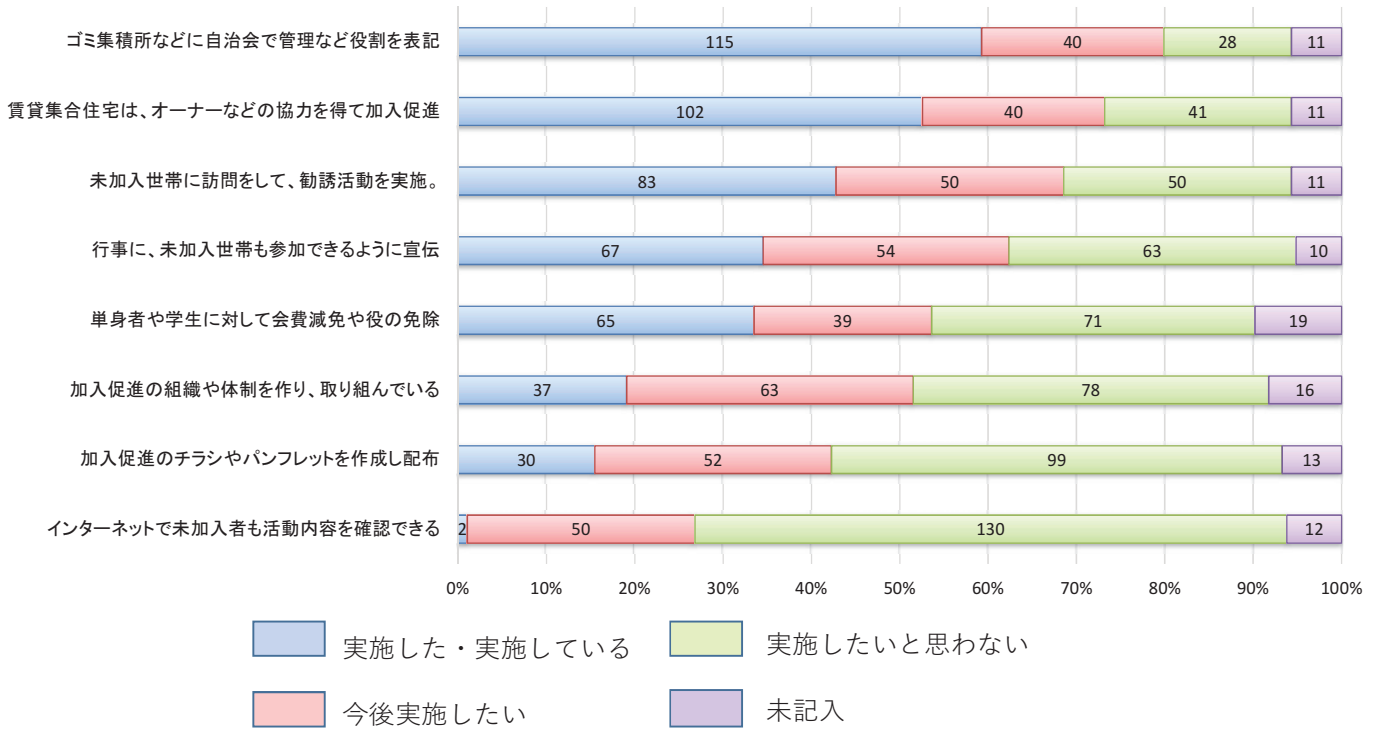
- ・高齢者に対する配慮については、実施している自治会の割合が、清水区が他の区と比較して多いことが伺える。
- ・3区とも行事や活動の適正化などの見直しを今後実施したいとの回答であり、そのほかの項目もほぼ3区とも同様であった。
- ・そのなかでは、「組や班、自治会などの合併や再編」について実施したいと回答した自治会の割合が清水区が多い結果であった。

## 問10 自治会・町内会活動への加入促進のための下記の活動を行っていますか？

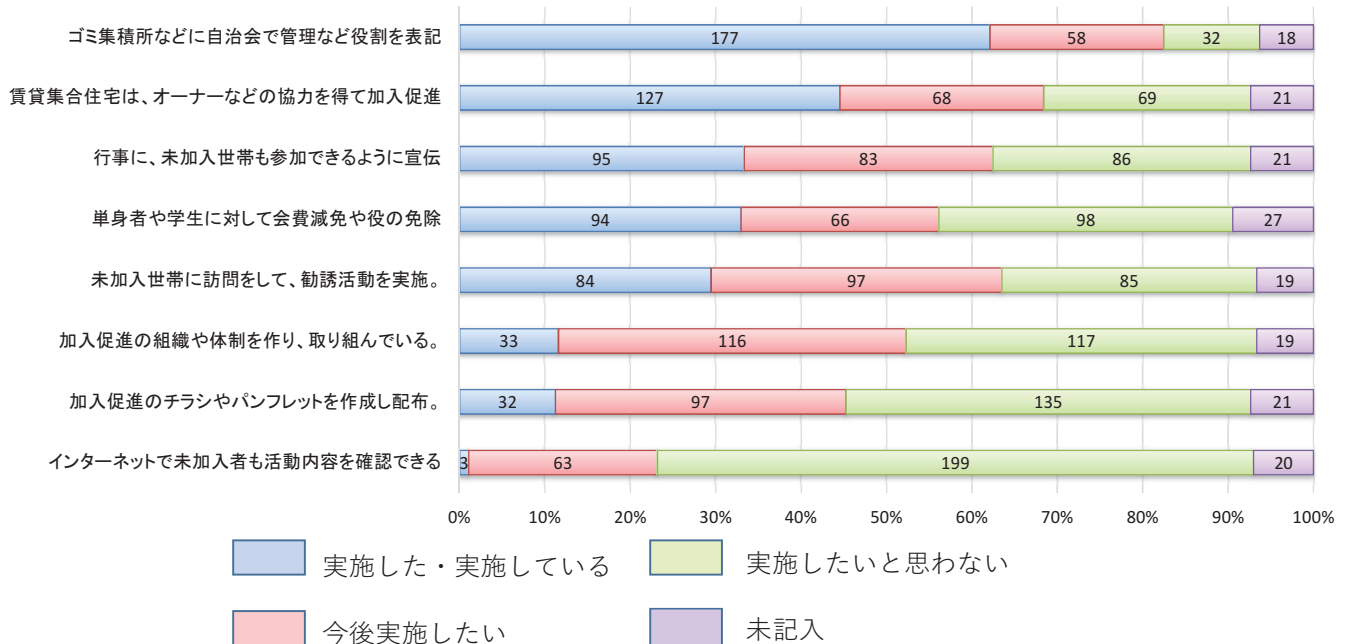
### 〔葵区〕



## 〔駿河区〕



## 〔清水区〕

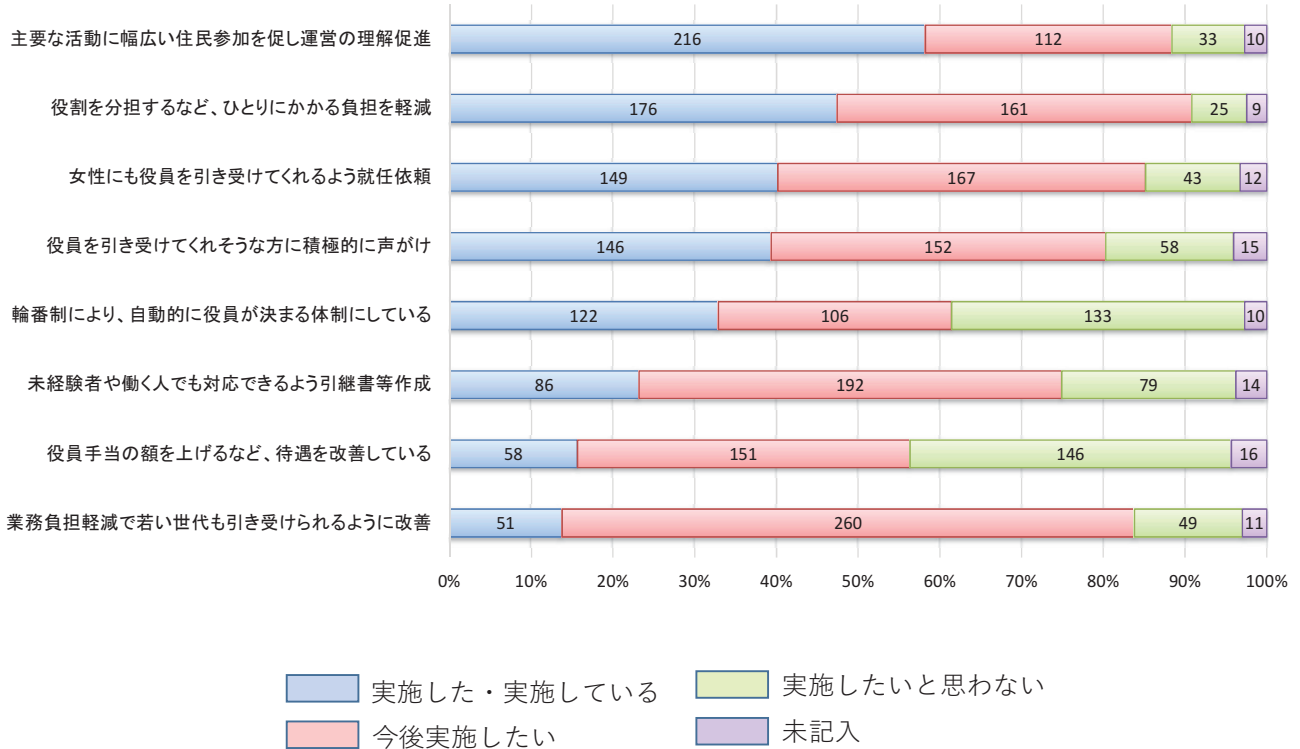


### 【加入促進のための活動】

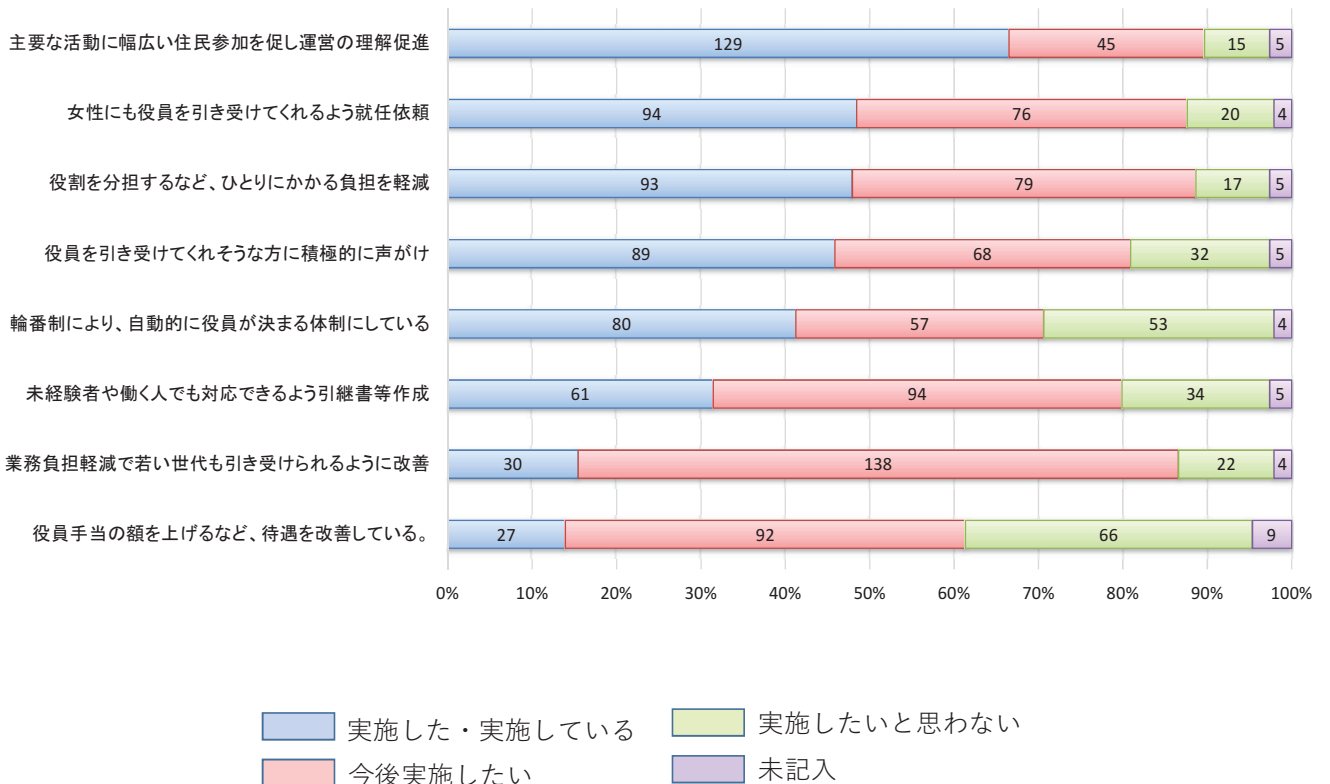
- ・3区ともほぼ同様の傾向である。
- ・その中では、「賃貸住宅のオーナーなどの協力を得ている」「未加入世帯訪問して勧誘」を実施している自治会が多いのが駿河区であった。
- ・「加入促進の組織や体制をつくり取り組む」を今後実施したいと考える自治会の割合が多いのは清水区であった。

問11 自治会・町内会の担い手確保のための下記の活動を行っていますか？

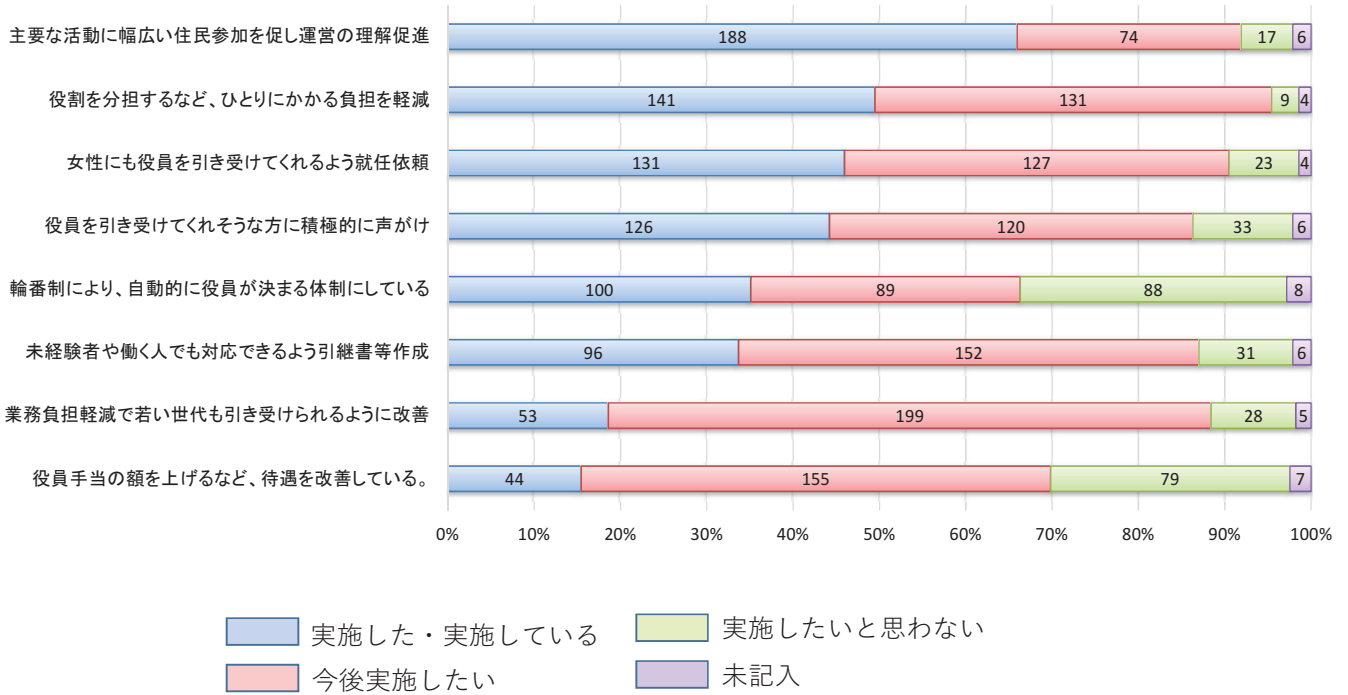
〔葵 区〕



〔駿河区〕



〔清水区〕

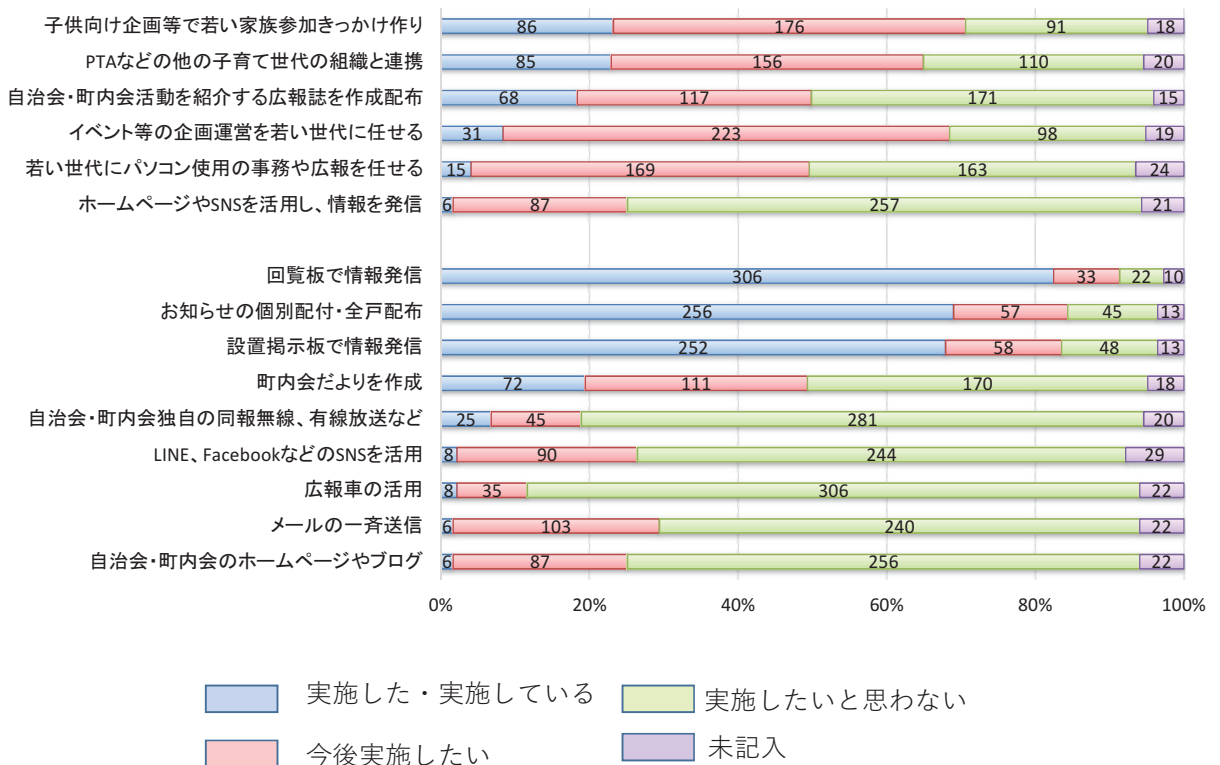


【担い手確保のための活動】

- ・3区ともほぼ同様の傾向であった。
- ・そのなかでも特徴的なのは、「役員手当など待遇改善」を今後実施したいと回答した自治会の割合が多いのは清水区であった。
- ・全体的に、駿河区、清水区と比較して、葵区の自治会が各活動に取り組んでいる割合が小さいことがわかる。

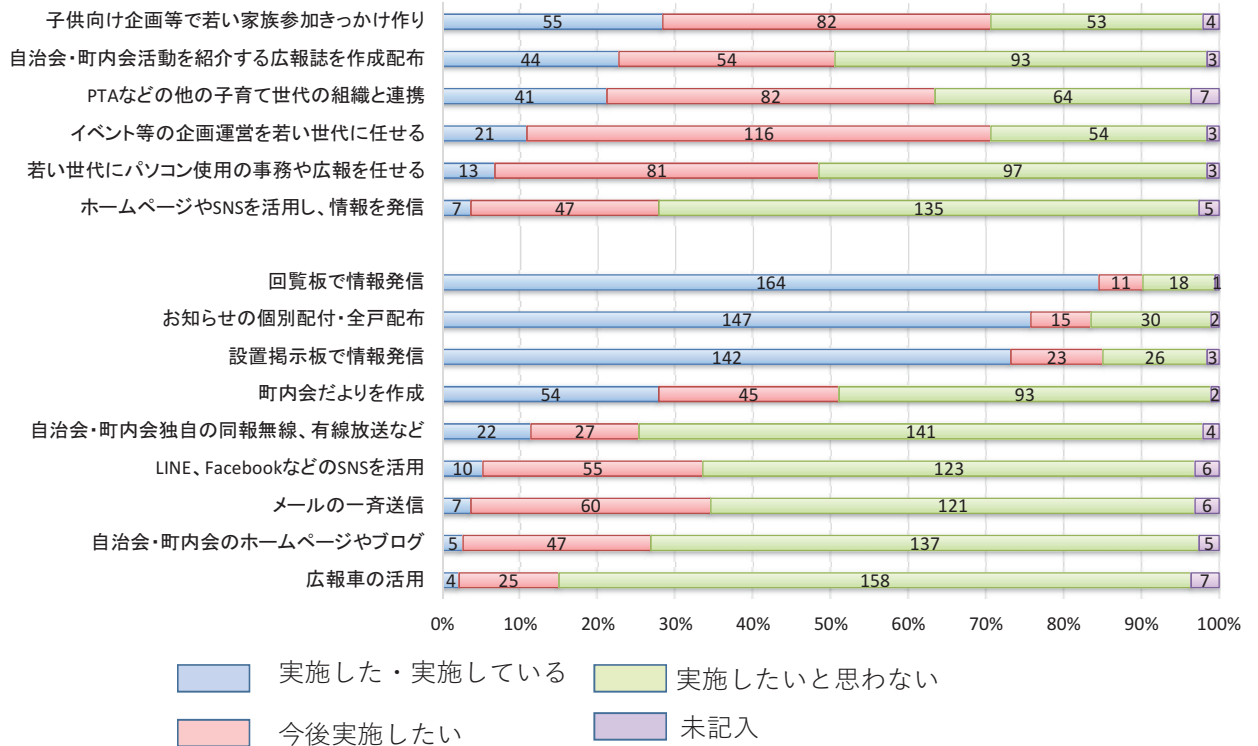
問13 自治会・町内会活動への関心を高めたり、幅広い世代の参加を促したりする取組について

〔葵区〕

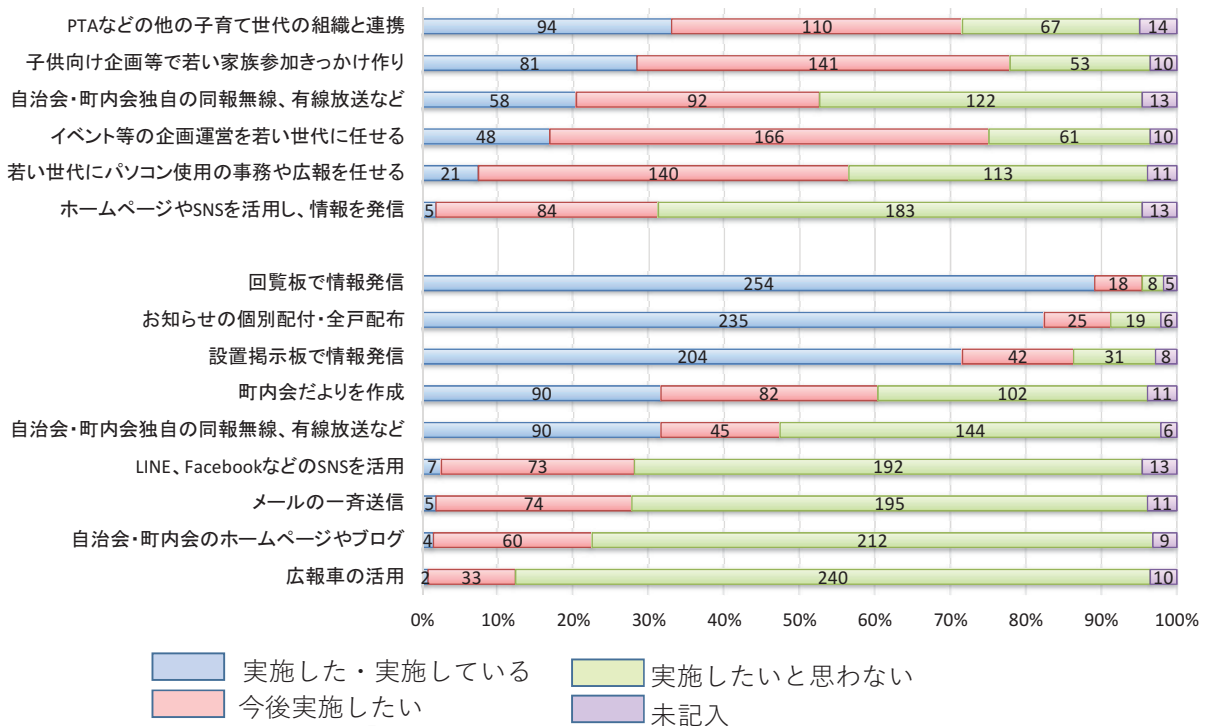




## 〔駿河区〕



## 〔清水区〕



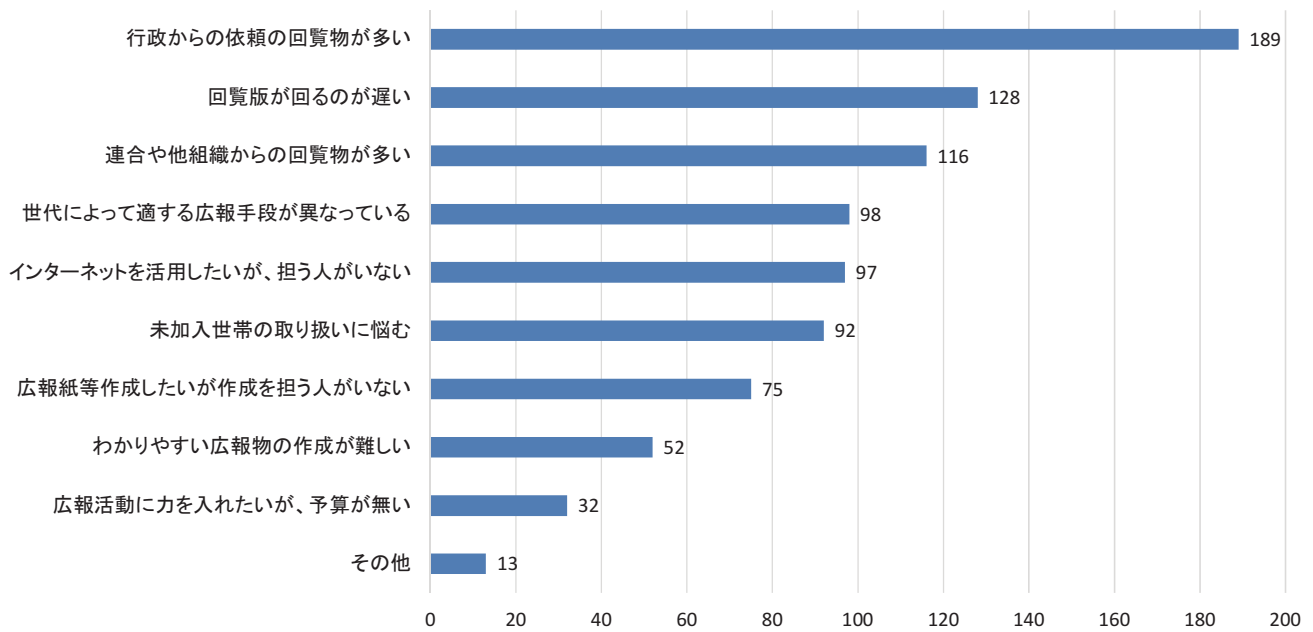
### 【自治会活動への関心を高めたりする取組】

- ・3区で大きな違いは無く、ほぼ同様の傾向がみられた。
- ・そのなかでは、「PTAなどの子育て世代の組織と連携」を実施していると回答している自治会の割合が多いのが清水区であった。

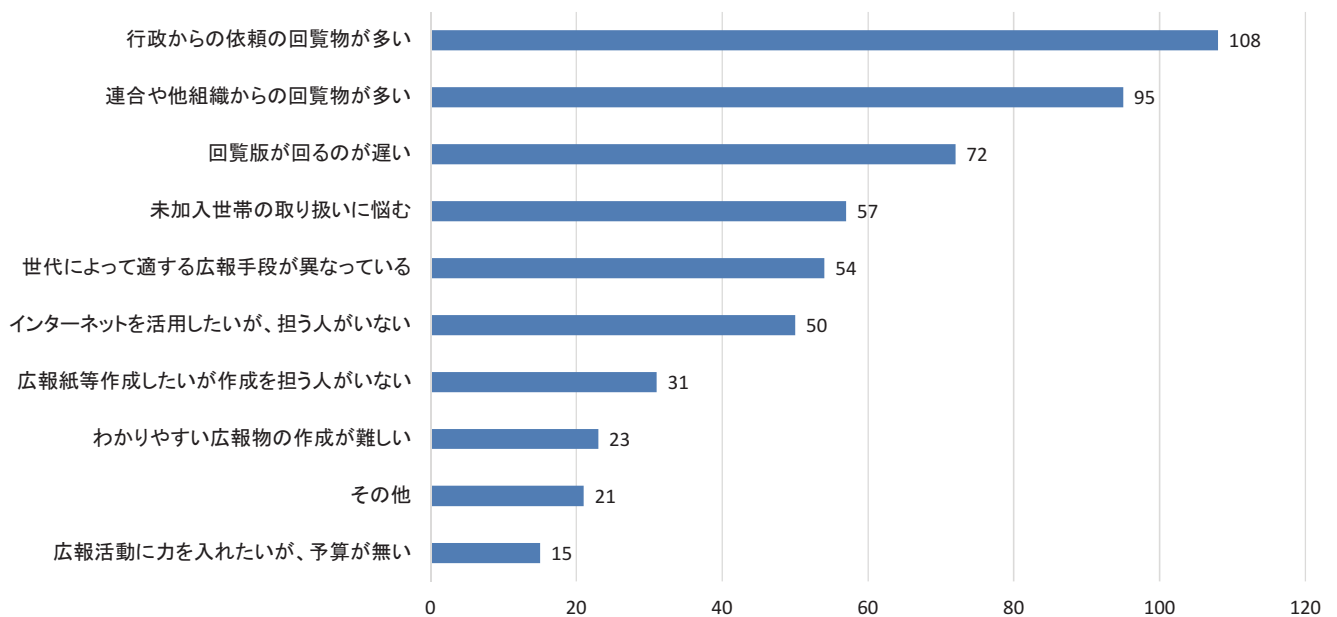


## 問 1 4 自治会・町内会における情報伝達や広報活動について、感じている課題

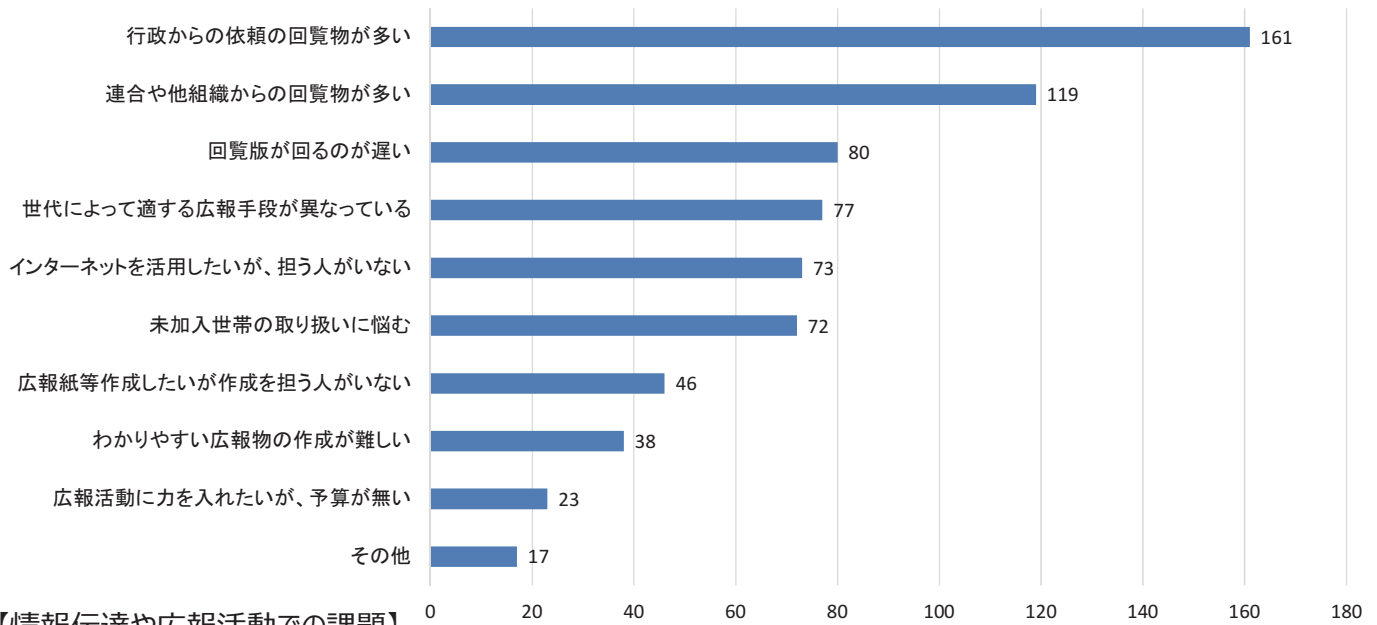
### 〔葵 区〕



### 〔駿河区〕



## 〔清水区〕



### 【情報伝達や広報活動での課題】

- ・3区で大きな違いは無く、ほぼ同様の傾向がみられた。
- ・その中では、「未加入世帯の取り扱いに悩む」という回答が、比較的上位にきているのが駿河区であった。

### 【3区別分析 総括】

- ・アンケート結果としては、概ね3区ともほぼ同様の傾向であった。
- ・一方で、基礎的な情報として、規模や定例会の頻度などに区ごとの特徴がみられた。
- ・3区で特徴がみられた項目についても、自治会の加入世帯の規模によるところも影響していると考えられる。